くらしやすいまちづくりに関する
アンケート調査報告書

（泉南市民人権意識調査報告書）

泉　南　市

平成２５年３月

目　　次

Ⅰ．調査の概要 ･･ 1
　１．調査の目的 ･･ 1
　２．調査項目 ･･ 1
　３．調査設計 ･･ 1
　４．回収結果 ･･ 1
　５．報告書の見方 ･･ 2
　６．調査の精度 ･･ 2
　７．調査実施にあたって ･･ 2

Ⅱ．調査結果の概要 ･･ 3

Ⅲ．調査結果の詳細 ･･ 7
　１．回答者の属性 ･･ 7
　　（１）性別 ･･ 7
　　（２）年齢 ･･ 7
　　（３）市内居住期間 ･･ 8
　　（４）最終学歴 ･･ 8
　　（５）職業 ･･ 9
　　（６）現在の暮らし向き ･･ 9
　２．さまざまな人権問題に関する考え方について ･･････････････････････････････ 10
　　（１）さまざまな人権侵害に関する考え方 ･･････････････････････････････････ 10
　３．差別や人権尊重に関する意識や考え方について ･･････････････････････････ 16
　　（１）差別に関する基本的な認識 ･･ 16
　　（２）結婚を考える際に重視する条件 ･･････････････････････････････････････ 22
　　（３）結婚相手の状況によりとる態度の違い ･･････････････････････････････ 28
　　（４）住宅を選ぶ際の忌避意識 ･･ 36
　４．人権侵害を受けた経験について ･･ 39
　　（１）過去５年間に人権侵害を感じたことの有無 ･･････････････････････････ 39
　　（２）人権侵害と感じた内容 ･･ 41
　　（３）人権侵害を受けたと感じたときの対応 ･･････････････････････････････ 44
　　（４）人権侵害を受けたと感じたときに一番最初に行った対応による解決状況･･･ 47
　５．同和問題や人権に関する学習について ･･････････････････････････････････ 48
　　（１）学校教育における同和問題に関する学習の状況 ･･････････････････････ 48
　　（２）小・中・高校以外の場での人権学習の状況 ･･････････････････････････ 52

６．自尊感情、対人関係における受容感 ･････････････････････････････････････ 57
（１）自尊感情 ･･･ 57
（２）対人関係における受容感 ･･･ 58
７．同和地区に対する差別問題について ･････････････････････････････････････ 59
（１）同和問題をはじめて知ったきっかけ ･････････････････････････････････ 59
◆同和問題について知っている人の同和地区に対する差別の現状認識 ･････････ 61
（２）同和地区や同和出身者への差別意識 ･････････････････････････････････ 61
（３）同和地区に対するイメージ ･･･ 63
（４）同和地区出身者に対する差別の現状認識 ･････････････････････････････ 66
（５）同和地区の人たちに対する結婚差別の現状認識 ･････････････････････････ 70
（６）同和地区に対する差別的な発言や行動についての見聞き状況 ･････････････ 74
（７）同和地区出身の友人や知人の有無 ･････････････････････････････････････ 81
（８）同和地区やその住民との関わり ･････････････････････････････････････ 83
８．人権に関する言葉や施設など認知状況等について ･････････････････････････ 85
（１）人権に関する宣言や条例などの認知状況 ･････････････････････････････ 85
（２）人権について推進している組織や施設の認知状況 ･････････････････････ 89
９．人権問題や人権教育・啓発に対する意見・要望（自由記述） ･････････････ 91

Ⅰ．調査の概要

Ⅰ．調査の概要

１．調査の目的

この調査は、市民の人権問題に関する意識等を把握し、今後の人権行政を推進していくうえで基礎資料を得ることを目的として実施した。

２．調査項目

（１） 回答者の属性（問 21～問 26）
（２） さまざまな人権問題に関する考え方について（問１）
（３） 差別や人権尊重に関する意識や考え方について（問２～問５）
（４） 人権侵害を受けた経験について（問６）
（５） 同和問題や人権に関する学習について（問７～問８）
（６） 自尊感情、対人関係における受容感（問９～問 10）
（７） 同和地区に対する差別問題について（問 11～問 18）
（８） 人権に関する言葉や施設など認知状況等について（問 19～問 20）
（９） 人権問題や人権教育・啓発に対する意見・要望（自由記述）

３．調査設計

（１）調査地域：泉南市全域
（２）調査対象：泉南市に居住する満 16 歳以上の男女 3,000 人
（３）調査方法：郵送配布、郵送回収
※調査期間中に、はがきによる督促状を１回送付
（４）調査期間：平成 24 年 11 月 22 日（木）～平成 24 年 12 月３日（月）

４．回収結果

発送数	回収数		有効回答数	有効回答率
		うち無効票		
３，０００件	１，１９６件	６件	１，１９０件	３９．７％

５．報告書の見方

（１） 回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してある。小数点第２位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0%にならない場合がある。

（２） 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0%を超える。なお、図表上の「ＭＡ%」という表記は複数回答（Multiple Answer の略）を、「○ＬＡ%」という表記は、回答数を制限した複数回答（Limited Answer の略）を、それぞれ意味する。

（３） 回答があっても、小数点第２位を四捨五入して 0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記している場合がある。

（４） 図表において、コンピューター入力の都合上、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。

（５） 年代別集計結果の 10・20 歳代については、分析に必要なｎ数を得るため、標本数を多く設定（各々100 人追加）し回答を得たものである。

６．調査の精度

この調査は標本調査であり、今回得られた結果から泉南市全体としての意見を推測することができる。この場合、標本誤差は次の式により近似値を求めることができる。

$$\varepsilon = \pm 2\sqrt{\frac{P(100-P)}{n}}$$

ε＝標本誤差　ｎ＝回答者数（1,190 人）　Ｐ＝回答比率

【標本誤差】

回答比率（Ｐ）	標本誤差（ε）
１０%または９０%	±１．７%
２０%または８０%	±２．３%
３０%または７０%	±２．７%
４０%または６０%	±２．８%
５０%	±２．９%

７．調査実施にあたって

調査項目の検討及び、集計結果の分析、考察にあたっては、次の３人の学識経験者の方にご協力頂いた。（五十音順、敬称略）

阿久澤　麻理子（大阪市立大学大学院創造都市研究科　教授）
石元　清英（関西大学社会学部　教授）
神原　文子（神戸学院大学人文学部　教授）

Ⅱ．調査結果の概要

Ⅱ．調査結果の概要

◆さまざまな人権問題に関する考え方について（問１）

社会的少数派層の人権については､｢犯罪被害者の氏名などを関係者の了解なしに報道すること」や「ホテルや旅館がハンセン病回復者などの宿泊を断ること」「外国人であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否すること」に対し問題と思う割合が７割以上を占める。また､｢障がい者であることを理由に､マンションなど住宅の入居を拒否すること」や「景気の悪化などを理由に、外国人労働者を解雇すること」に対して問題であるとする回答も７割以上を占めている。

男女共同参画に関する市民の認識状況については､「親の世話や介護は、女性の役割」に反対する割合が 90.9%を占めるのに対し､「子どもが３歳くらいまでは母親の手で育てるべき」に同意する割合が 78.4%を占めている。一方､「結婚しないで子どもを産んでもよい」や「男同士、女同士の結婚を認めるべき」については反対割合が５割を超える。

子どもの人権については､｢保護者が子どものしつけのために､ときには体罰を加えること」が必要と思う割合は 59.9%である一方､「教師が子どもの指導のために、体罰を加えること」を問題に思わない割合は 60.2%となっている。

◆差別や人権尊重に関する意識や考え方について（問２～問５）

（差別に関する基本的な認識）

人権問題や差別の解決にあたって市民が必要だと考えている上位の項目は､｢人権問題を解決するため、行政は努力する」や「人権問題の解決には、行政だけでなく、民間の団体と一緒になって取り組む｣｢思いやりや優しさをみんながもつ｣｢差別を受けてきた人に対しては、格差をなくすために行政の支援が必要」などである。一方､「差別だという訴えをいちいち取り上げていたらきりがない」や「差別や同和問題があることを口に出さないで、そっとしておけばよい（自然に差別はなくなる)」と回答する市民が２人に１人となっている。

権利と義務に関して市民の９割は､「権利ばかり主張して、がまんすることのできない者が増えている」と回答し､「学校では、権利より、義務を果たすことを教えるべき」「個人の権利より、地域のみんなの利益が優先されるべき」との回答が５割を超えている。

差別行為あるいは被差別については､「差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要」との回答が 74.4%占め､「差別に対して抗議や反対をすることによって、より問題が解決しにくくなることが多い」との回答も５割を超えている。さらに「差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い」と回答する市民がほぼ２人に１人となっている。

（結婚を考える際に重視する条件／結婚相手の状況によりとる態度の違い）

子どもの結婚相手が男性、女性に関係なく、結婚の際の重視条件は､「性格」や「健康状態」が上位となっている。

このような条件を満たしていても、その相手が同和地区出身者では「問題にしない」の割合が最も高くなっていものの､「親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない」の割

合も一方で高くなっている。

しかし、同和地区出身者に比べ、在日韓国・朝鮮人や障がい・病気・犯罪歴のある人では、「問題にしない」の割合は低く、「親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない」の割合が高い。親族に犯罪歴のある人がいる場合は、「考え直すように言う」の割合のほうがやや高くなっている。

（住宅を選ぶ際の忌避意識）

「避けると思う」「どちらかといえば避けると思う」を合わせた割合は、「同和地区の地域内である」が 64.1％で最も高く、次いで「小学校区が同和地区と同じ区域になる」（49.3％）となっている。「避けると思う」「どちらかといえば避けると思う」を合わせた割合は、男性に比べ女性で高くなっている。

◆人権侵害を受けた経験について（問６）

（過去５年間に人権侵害を感じたことの有無）

過去５年間に自分の人権を侵害されたと感じたことがないが 78.3％を占めている。男性で、人権を侵害されたと感じたことがある割合は、30 歳代が 15.5％と最も高く、女性の場合は、特に 16～19 歳で 22.9％と高くなっている。

（人権侵害と感じた内容）

人権侵害と感じた内容は、「あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害」（45.9％）や「プライバシーの侵害」「職場等で職務制限を通じて行ういじめや嫌がらせ」（ともに 27.6％）などが多い。

（人権侵害を受けたと感じたときの対応）

人権侵害と感じた際の対応は、「家族や友人など信頼できる人に相談した」（52.0％）や「相手に対し人権侵害であるとして注意したり、抗議した」（24.5％）が多い一方、「なにもしないでそのままにした」が 22.4％となっている。

（人権侵害を受けたと感じたときに一番最初に行った対応による解決状況）

一番最初に行った対応では、「家族や友人など信頼できる人に相談した」（24.5％）が最も高く、その対応で「何も変わらなかったので、あきらめた」が 46.3％を占めている。これに対し「解決した」は 18.5％である。

◆同和問題や人権に関する学習について（問７、問８）

（小学校から高校の間での同和問題教育の学習経験／同和問題教育の内容）

小学校から高校までの間で同和問題（部落差別）に関する教育を受けた経験があるが 51.3％を占め、その内容は、「差別してはならないという注意」（64.3％）や「江戸時代の身分制度について」（57.5％）、「結婚差別について」（51.8％）が高くなっている。

（小・中・高校以外の場での人権学習の経験／役に立った（印象に残った）学習方法・形式）

小・中・高校以外の場での人権学習を受けたことはないが 40.5％で最も高くなっている。

受けた経験のある人では、「職場の研修で受けた」が 17.6％で最も高く、職場での研修は役に立った（印象に残った）学習方法でも最も高くなっている。また、役に立った（印象に

残った）学習形式は、「教師や学識者による授業、講義・講演」や「映画・ビデオなど映像媒体を用いたもの」（ともに 24.5%）、「差別を受けている当事者や、それを支援する団体等の職員による授業、講義・講演」（19.7%）が高くなっている。

◆同和地区に対する差別問題について（問 11～問 18／同和問題を知っている人のみ）

（同和地区や同和出身者への差別意識）

同和地区や同和地区出身者に対し、「差別意識は薄まりつつあるが、まだ残っている」が 55.8%と最も高く、「差別意識はさらに強くなっている」（1.0%）と「差別意識は現在もあまり変わらず残っている」（14.3%）を合わせると、同和問題について知っている人の 71.1%は、差別が残っていると考えている。これに対し、「差別意識はもはや残っていない」の割合は、70 歳以上の年代で高い。

（同和地区に対するイメージ）

「いまでも行政から特別な扱いを受け、優遇されている」「同和問題を口実に、不当な利益を得ようとしている個人や団体がいる」「なにか問題が起こると、集団で行動することが多い」への回答が半数前後を占める。

（同和地区出身者に対する就職差別の認識状況／就職差別の解決についての見方）

同和地区出身により就職で「ほとんど不利になることはない」が 24.8%に対し、「たまに不利になることがある」が 14.5%、「しばしば不利になることがある」が 7.0%で、不利となるとの認識も２割となっている。

「しばしば不利になることがある」「たまに不利になることがある」と回答した人の 58.3%は、就職差別について「かなりなくすことができる」と回答し、「完全になくせる」（4.5%）と合わせた割合は 62.8%を占める。

（同和地区出身者に対する結婚差別の認識状況／結婚差別の解決についての見方）

同和地区出身により結婚について「たまに反対されることがある」が 26.2%で最も高く、「しばしば反対されることがある」（15.6%）と合わせた割合は 41.8%となっている。

「しばしば反対されることがある」「たまに反対されることがある」と回答した人の 52.7%は、結婚差別を「かなりなくすことができる」と回答し、「完全になくせる」（4.7%）と合わせた割合は 57.4%を占めている。

（同和地区に対する差別的な発言や行動を見聞きした経験／見聞きした経路／感想）

同和地区に対する差別的な発言や行動を見聞きした経験がある人は 61.6%で、その内容は、「同和対策の不公平」（17.4%）、「同和地区の人はこわい」（15.4%）、「同和地区の人とは、結婚してはいけない（結婚できない）」（11.9%）が高くなっている。50～70 歳代では「同和対策の不公平」の割合が高いが、10・20 歳代の各年代では「見聞きしたことはない」が過半数を占める。

差別的な発言や行動を見聞きした経路は、「家族」（19.8%）や「近所の人」（14.9%）、「友人」（14.8%）、「テレビや新聞、雑誌などのマスメディア」（12.0%）が上位である。男性は「職場の人」、女性は「家族」の割合が高い。

差別的な発言や行動を見聞きした時、「そういう見方もあるのかと思った」（53.8%）が最も高くなっているのに対し、「反発・疑問を感じた」は 18.1%となっている。10・20 歳代で

は、「とくになにも思わなかった」が、40 歳代と 80 歳以上では「そのとおりと思った」がそれぞれ高くなっている。また、「反発・疑問を感じた」は 10・20 歳代と 40～60 歳代で２割台を占め、「そういう見方もあるのかと思った」は 70 歳代が 61.2%で最も高くなっている。

（同和地区出身の友人や知人の有無／同和地区やその住民との関わり）

同和地区出身の友人や知人が「いない、またはわからない」が 55.0%と過半数を占めるのに対し、「親しいとはいえないが、いる」は 25.4%、「親しく付き合っている人がいる」は 10.7%となっている。「親しいとはいえないが、いる」「親しく付き合っている人がいる」「家族・親族がいる」を合わせた割合は、50 歳代が 51.5%で最も高く、40～70 歳代では４割以上を占める。

同和地区やその住民と何らかの関わりがある人は 45.9%で、「同和地区やその近くに住んでいたことがある」（17.5%）や「盆踊りやまつりなど、同和地区との交流事業やイベントに参加したことがある」（15.8%）、「同和地区内の施設（人権センターや隣保館など）を利用したことがある」（14.4%）で関わりを持った経験のある割合が高い。

◆人権に関する言葉や施設など認知状況等について（問 19、問 20）

（人権に関する宣言や条例などの認知状況）

「どんな内容か知っている」割合は、「個人情報保護法」（41.6%）が 11 項目中、最も高くなっている。また、認知率は、「世界人権宣言」「児童虐待の防止等に関する法律」が６割台、「交通バリアフリー法」は約５割を占める。

（人権に関する宣言や条例などの認知状況）

「知らない」の割合は、「男女共同参画ルーム（ステップ）」が 74.4%で最も高く、次いで「人権協会」（72.9%）、「人権擁護委員」（66.0%）、「人権啓発推進協議会」（64.0%）となっている。一方、「実際にたずねたことがある」割合は、「青少年センター」が 9.7%、「人権ふれあいセンター」が 5.8%で、どちらとも認知率では５割を超えている。

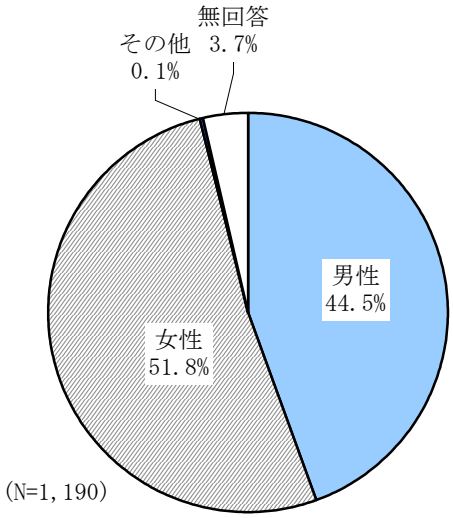
Ⅲ. 調査結果の詳細

Ⅲ．調査結果の詳細

１．回答者の属性

（１）性別

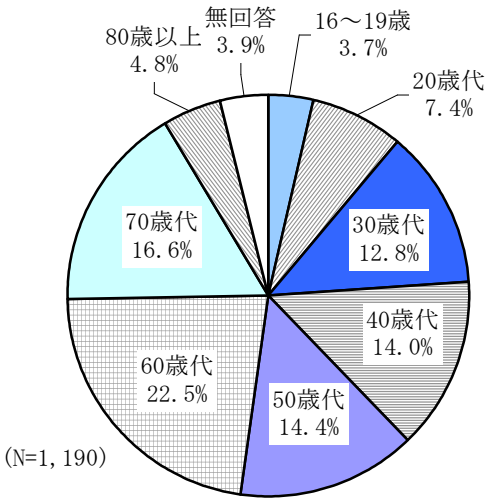
【図表１－１　性別】



回答者の性別は、「女性」が 51.8%、「男性」が 44.5%となっている。（図表１－１）

（２）年齢

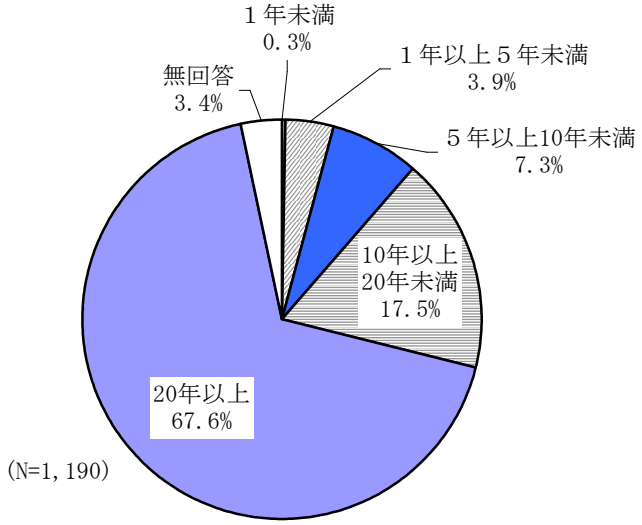
【図表１－２　年齢】



回答者の年齢は、「60 歳代」の割合が 22.5%で最も高く、次いで「70 歳代」（16.6%）、「50 歳代」（14.4%）の順で高くなっている。（図表１－２）

（３）市内居住期間

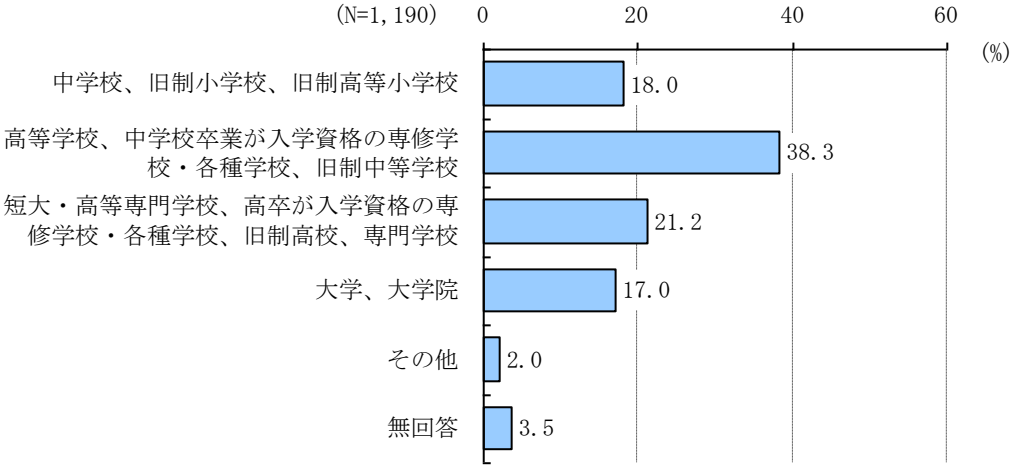
【図表１－３　市内居住期間】



回答者の市内居住期間は、「20 年以上」の割合が 67.6%と過半数を占めている。これに次いで「10 年以上 20 年未満」が 17.5%で、10 年以上の居住者が 85.1%を占める。（図表１－３）

（４）最終学歴

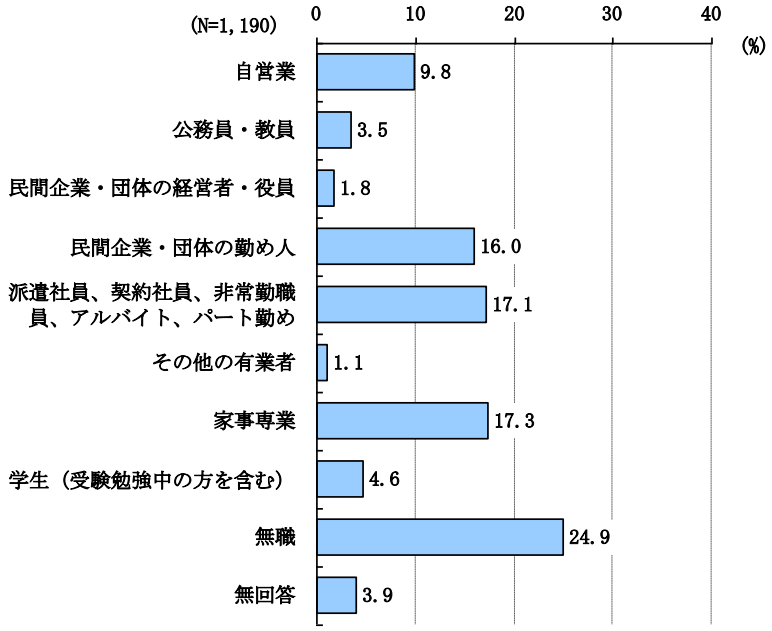
【図表１－４　最終学歴】



回答者の最終学歴は、「高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校」の割合が 38.3%と最も高い。これに次いで「短大・高等専門学校、高卒が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高校、専門学校」が 21.2%、「中学校、旧制小学校、旧制高等小学校」が 18.0%となっている。（図表１－４）

（５）職業

【図表１－５　職業】

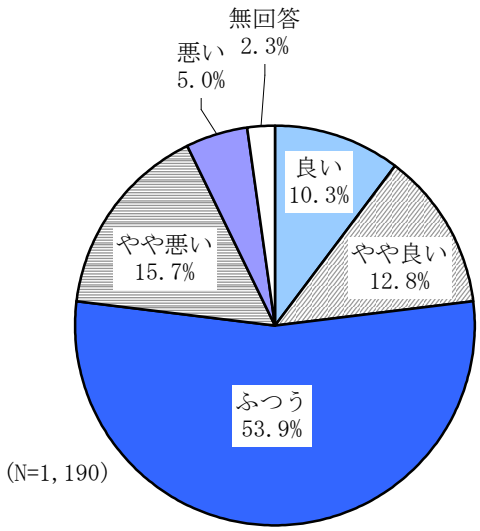


回答者の職業は、「無職」の割合が 24.9％で最も高く、次いで「家事専業」（17.3％）となっており、学生を含む無業者は 46.8％となっている。

一方、自営業を含む有業者は全体の 49.3％で、そのうち「派遣社員、契約社員、非常勤職員、アルバイト、パート勤め」の割合が 17.1％で高く、次いで「民間企業・団体の勤め人」が 16.0％で僅差で続いている。（図表１－５）

（６）現在の暮らし向き

【図表１－６　現在の暮らし向き】



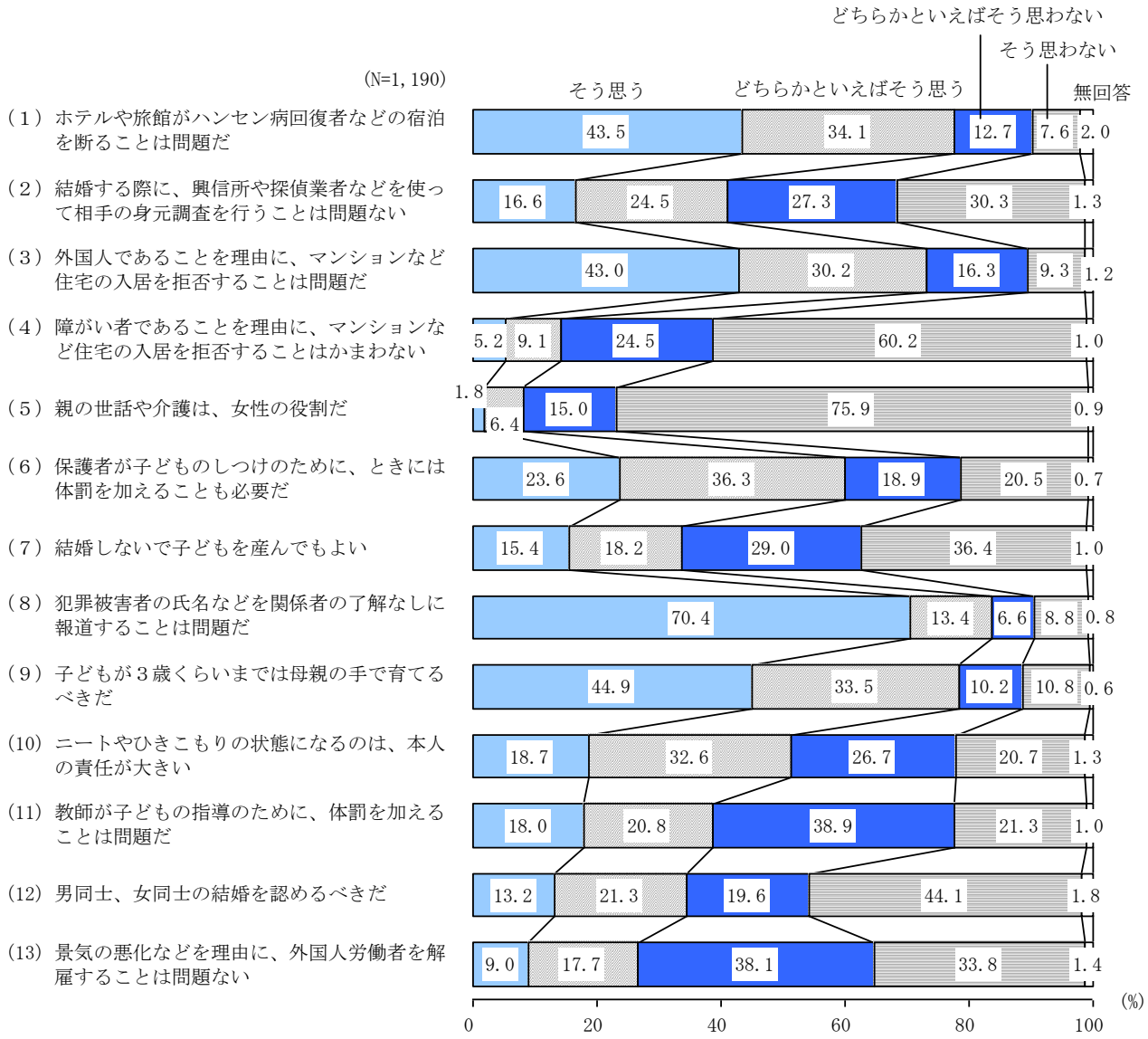
暮らし向きは、「ふつう」が 53.9％と最も高い。「良い」「やや良い」は合わせて 23.1％に対し、「悪い」「やや悪い」は 20.7％となっている。（図表１－６）

２．さまざまな人権問題に関する考え方について

（１）さまざまな人権侵害に関する考え方

問１　あなたは、次の（１）～（13）の行為や意見について、どのように思いますか。すべてのことがらについて、あなたのお考えにもっとも近いものをお答えください。（それぞれ１つに○）

【図表２－１　さまざまな人権侵害に関する考え方】



＜全体＞

社会的少数派層の人権については、〔（８）犯罪被害者の氏名などを関係者の了解なしに報道することは問題だ〕に対し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が 83.8%を占め最も高くなっている。〔（１）ホテルや旅館がハンセン病回復者などの宿泊を断ることは問題だ〕〔(外国人であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否することは問題だ)〕に対しても「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が７割を超えている。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の割合は、〔（４）障がい者であることを理由に、マン

ションなど住宅の入居を拒否することはかまわない)〕では 84.7%、〔(13) 景気の悪化などを理由に、外国人労働者を解雇することは問題ない〕では 71.9%を占めている。(図表２－１)

男女共同参画に関する市民の認識状況については、〔(５) 親の世話や介護は、女性の役割だ〕に対し、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」が 90.9%で最も高くなっているが、〔(９) 子どもが３歳くらいまでは母親の手で育てるべきだ〕に対しては、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が 78.4%を占めている。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の割合は、〔(７) 結婚しないで子どもを産んでもよい〕(65.4%)、〔(12) 男同士、女同士の結婚を認めるべきだ〕(63.7%) では５割を超える。(図表２－１)

子どもの人権については、〔(６) 保護者が子どものしつけのために、ときには体罰を加えることも必要だ〕に対し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が 59.9%となっているが、〔(11) 教師が子どもの指導のために、体罰を加えることは問題だ〕に対しては、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の割合は 60.2%となっている。(図表２－１)

＜性別＞

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が男女間で比較的差がある項目をみると、男性では、〔(６) 保護者が子どものしつけのために、ときには体罰を加えることも必要だ〕と〔(10) ニートやひきこもりの状態になるのは、本人の責任が大きい〕が女性に比べて８ポイント以上高くなっている。(図表２－１－１)

一方、女性では、〔(３) 外国人であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否することは問題だ〕が男性に比べ 5.8 ポイント、〔(11〕教師が子どもの指導のために、体罰を加えることは問題だ〕と〔(12) 男同士、女同士の結婚を認めるべきだ〕は、男性に比べ 10 ポイント以上高くなっている。(図表２－１－１)

＜年代別＞

〔(３) 外国人であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否することは問題だ〕や〔(12) 男同士、女同士の結婚を認めるべきだ〕の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合は若年層ほど高くなっている。(図表２－１－１)

これに対し、〔(６) 保護者が子どものしつけのために、ときには体罰を加えることも必要だ〕や〔(13) 景気の悪化などを理由に、外国人労働者を解雇することは問題ない〕の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合は高年層ほど高い傾向がみられる。(図表２－１－１)

【図表２－１－１　性別・年代別　さまざまな人権侵害に関する考え方①】

（１）ホテルや旅館がハンセン病回復者などの宿泊を断ることは問題だ

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	256	151	66	46	10
		100.0	48.4	28.5	12.5	8.7	1.9
	女性	616	241	244	79	41	11
		100.0	39.1	39.6	12.8	6.7	1.8
年代別	16～19歳	70	26	28	9	6	1
		100.0	37.1	40.0	12.9	8.6	1.4
	20歳代	112	50	38	14	7	3
		100.0	44.6	33.9	12.5	6.3	2.7
	30歳代	152	54	60	19	16	3
		100.0	35.5	39.5	12.5	10.5	2.0
	40歳代	167	82	51	24	9	1
		100.0	49.1	30.5	14.4	5.4	0.6
	50歳代	171	71	71	22	6	1
		100.0	41.5	41.5	12.9	3.5	0.6
	60歳代	268	128	89	30	16	5
		100.0	47.8	33.2	11.2	6.0	1.9
	70歳代	197	80	62	23	28	4
		100.0	40.6	31.5	11.7	14.2	2.0
	80歳以上	57	24	14	10	5	4
		100.0	42.1	24.6	17.5	8.8	7.0

（２）結婚する際に、興信所や探偵業者などを使って相手の身元調査を行うことは問題ない

（上段：人、下段：％）

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	99	118	126	179	7
		100.0	18.7	22.3	23.8	33.8	1.3
	女性	616	91	163	192	164	6
		100.0	14.8	26.5	31.2	26.6	1.0
年代別	16～19歳	70	10	10	26	23	1
		100.0	14.3	14.3	37.1	32.9	1.4
	20歳代	112	20	33	28	30	1
		100.0	17.9	29.5	25.0	26.8	0.9
	30歳代	152	24	43	38	46	1
		100.0	15.8	28.3	25.0	30.3	0.7
	40歳代	167	25	41	50	50	1
		100.0	15.0	24.6	29.9	29.9	0.6
	50歳代	171	26	35	55	55	－
		100.0	15.2	20.5	32.2	32.2	－
	60歳代	268	36	72	70	87	3
		100.0	13.4	26.9	26.1	32.5	1.1
	70歳代	197	40	42	53	57	5
		100.0	20.3	21.3	26.9	28.9	2.5
	80歳以上	57	14	16	12	13	2
		100.0	24.6	28.1	21.1	22.8	3.5

（３）外国人であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否することは問題だ

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	226	144	85	64	10
		100.0	42.7	27.2	16.1	12.1	1.9
	女性	616	263	203	102	45	3
		100.0	42.7	33.0	16.6	7.3	0.5
年代別	16～19歳	70	49	13	5	2	1
		100.0	70.0	18.6	7.1	2.9	1.4
	20歳代	112	56	37	12	5	2
		100.0	50.0	33.0	10.7	4.5	1.8
	30歳代	152	60	50	30	11	1
		100.0	39.5	32.9	19.7	7.2	0.7
	40歳代	167	64	60	30	13	－
		100.0	38.3	35.9	18.0	7.8	－
	50歳代	171	64	61	31	15	－
		100.0	37.4	35.7	18.1	8.8	－
	60歳代	268	120	77	44	23	4
		100.0	44.8	28.7	16.4	8.6	1.5
	70歳代	197	84	50	28	30	5
		100.0	42.6	25.4	14.2	15.2	2.5
	80歳以上	57	21	13	9	13	1
		100.0	36.8	22.8	15.8	22.8	1.8

（４）障がい者であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否することはかまわない

（上段：人、下段：％）

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	32	38	111	341	7
		100.0	6.0	7.2	21.0	64.5	1.3
	女性	616	23	65	173	350	5
		100.0	3.7	10.6	28.1	56.8	0.8
年代別	16～19歳	70	7	6	23	34	－
		100.0	10.0	8.6	32.9	48.6	－
	20歳代	112	8	9	29	66	－
		100.0	7.1	8.0	25.9	58.9	－
	30歳代	152	10	24	48	69	1
		100.0	6.6	15.8	31.6	45.4	0.7
	40歳代	167	8	14	44	101	－
		100.0	4.8	8.4	26.3	60.5	－
	50歳代	171	9	21	43	96	2
		100.0	5.3	12.3	25.1	56.1	1.2
	60歳代	268	8	15	54	188	3
		100.0	3.0	5.6	20.1	70.1	1.1
	70歳代	197	5	13	43	131	5
		100.0	2.5	6.6	21.8	66.5	2.5
	80歳以上	57	4	6	12	34	1
		100.0	7.0	10.5	21.1	59.6	1.8

【図表２－１－１　性別・年代別　さまざまな人権侵害に関する考え方②】

（５）親の世話や介護は、女性の役割だ

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	10	29	86	398	6
		100.0	1.9	5.5	16.3	75.2	1.1
	女性	616	9	40	88	474	5
		100.0	1.5	6.5	14.3	76.9	0.8
年代別	16～19歳	70	－	5	12	53	－
		100.0	－	7.1	17.1	75.7	－
	20歳代	112	－	7	13	92	－
		100.0	－	6.3	11.6	82.1	－
	30歳代	152	－	9	33	110	－
		100.0	－	5.9	21.7	72.4	－
	40歳代	167	3	8	19	135	2
		100.0	1.8	4.8	11.4	80.8	1.2
	50歳代	171	－	6	23	142	－
		100.0	－	3.5	13.5	83.0	－
	60歳代	268	3	22	35	204	4
		100.0	1.1	8.2	13.1	76.1	1.5
	70歳代	197	11	9	39	134	4
		100.0	5.6	4.6	19.8	68.0	2.0
	80歳以上	57	2	6	9	39	1
		100.0	3.5	10.5	15.8	68.4	1.8

（６）保護者が子どものしつけのために、ときには体罰を加えることも必要だ

（上段：人、下段：％）

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	162	180	84	97	6
		100.0	30.6	34.0	15.9	18.3	1.1
	女性	616	112	235	132	135	2
		100.0	18.2	38.1	21.4	21.9	0.3
年代別	16～19歳	70	10	22	17	21	－
		100.0	14.3	31.4	24.3	30.0	－
	20歳代	112	21	35	25	31	－
		100.0	18.8	31.3	22.3	27.7	－
	30歳代	152	33	50	40	28	1
		100.0	21.7	32.9	26.3	18.4	0.7
	40歳代	167	33	64	32	38	－
		100.0	19.8	38.3	19.2	22.8	－
	50歳代	171	28	74	31	37	1
		100.0	16.4	43.3	18.1	21.6	0.6
	60歳代	268	70	99	48	48	3
		100.0	26.1	36.9	17.9	17.9	1.1
	70歳代	197	74	60	30	31	2
		100.0	37.6	30.5	15.2	15.7	1.0
	80歳以上	57	16	22	7	11	1
		100.0	28.1	38.6	12.3	19.3	1.8

（７）結婚しないで子どもを産んでもよい

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	82	97	140	204	6
		100.0	15.5	18.3	26.5	38.6	1.1
	女性	616	92	114	191	215	4
		100.0	14.9	18.5	31.0	34.9	0.6
年代別	16～19歳	70	5	16	23	26	－
		100.0	7.1	22.9	32.9	37.1	－
	20歳代	112	29	30	25	26	2
		100.0	25.9	26.8	22.3	23.2	1.8
	30歳代	152	44	42	35	31	－
		100.0	28.9	27.6	23.0	20.4	－
	40歳代	167	29	33	53	52	－
		100.0	17.4	19.8	31.7	31.1	－
	50歳代	171	22	26	59	61	3
		100.0	12.9	15.2	34.5	35.7	1.8
	60歳代	268	29	49	78	110	2
		100.0	10.8	18.3	29.1	41.0	0.7
	70歳代	197	20	22	53	99	3
		100.0	10.2	11.2	26.9	50.3	1.5
	80歳以上	57	5	6	16	29	1
		100.0	8.8	10.5	28.1	50.9	1.8

（８）犯罪被害者の氏名などを関係者の了解なしに報道することは問題だ

（上段：人、下段：％）

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	373	64	35	51	6
		100.0	70.5	12.1	6.6	9.6	1.1
	女性	616	435	90	39	49	3
		100.0	70.6	14.6	6.3	8.0	0.5
年代別	16～19歳	70	45	15	4	6	－
		100.0	64.3	21.4	5.7	8.6	－
	20歳代	112	73	19	10	10	－
		100.0	65.2	17.0	8.9	8.9	－
	30歳代	152	102	20	13	17	－
		100.0	67.1	13.2	8.6	11.2	－
	40歳代	167	123	25	5	13	1
		100.0	73.7	15.0	3.0	7.8	0.6
	50歳代	171	132	19	10	9	1
		100.0	77.2	11.1	5.8	5.3	0.6
	60歳代	268	182	37	21	26	2
		100.0	67.9	13.8	7.8	9.7	0.7
	70歳代	197	138	22	11	22	4
		100.0	70.1	11.2	5.6	11.2	2.0
	80歳以上	57	42	5	5	4	1
		100.0	73.7	8.8	8.8	7.0	1.8

【図表２－１－１　性別・年代別　さまざまな人権侵害に関する考え方③】

（９）子どもが３歳くらいまでは母親の手で育てるべきだ

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	234	172	52	69	2
		100.0	44.2	32.5	9.8	13.0	0.4
	女性	616	279	215	63	55	4
		100.0	45.3	34.9	10.2	8.9	0.6
年代別	16～19歳	70	32	21	10	7	－
		100.0	45.7	30.0	14.3	10.0	－
	20歳代	112	31	45	15	20	1
		100.0	27.7	40.2	13.4	17.9	0.9
	30歳代	152	43	62	24	22	1
		100.0	28.3	40.8	15.8	14.5	0.7
	40歳代	167	64	59	20	24	－
		100.0	38.3	35.3	12.0	14.4	－
	50歳代	171	79	65	15	12	－
		100.0	46.2	38.0	8.8	7.0	－
	60歳代	268	124	81	28	34	1
		100.0	46.3	30.2	10.4	12.7	0.4
	70歳代	197	119	59	6	10	3
		100.0	60.4	29.9	3.0	5.1	1.5
	80歳以上	57	34	14	5	3	1
		100.0	59.6	24.6	8.8	5.3	1.8

（10）ニートやひきこもりの状態になるのは、本人の責任が大きい

（上段：人、下段：％）

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	111	186	124	101	7
		100.0	21.0	35.2	23.4	19.1	1.3
	女性	616	99	192	182	137	6
		100.0	16.1	31.2	29.5	22.2	1.0
年代別	16～19歳	70	14	22	26	8	－
		100.0	20.0	31.4	37.1	11.4	－
	20歳代	112	29	28	27	28	－
		100.0	25.9	25.0	24.1	25.0	－
	30歳代	152	28	52	44	27	1
		100.0	18.4	34.2	28.9	17.8	0.7
	40歳代	167	21	64	48	34	－
		100.0	12.6	38.3	28.7	20.4	－
	50歳代	171	24	58	52	36	1
		100.0	14.0	33.9	30.4	21.1	0.6
	60歳代	268	40	86	69	69	4
		100.0	14.9	32.1	25.7	25.7	1.5
	70歳代	197	49	63	42	39	4
		100.0	24.9	32.0	21.3	19.8	2.0
	80歳以上	57	16	15	15	8	3
		100.0	28.1	26.3	26.3	14.0	5.3

（11）教師が子どもの指導のために、体罰を加えることは問題だ

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	83	87	209	144	6
		100.0	15.7	16.4	39.5	27.2	1.1
	女性	616	122	154	239	97	4
		100.0	19.8	25.0	38.8	15.7	0.6
年代別	16～19歳	70	22	16	19	13	－
		100.0	31.4	22.9	27.1	18.6	－
	20歳代	112	26	32	31	21	2
		100.0	23.2	28.6	27.7	18.8	1.8
	30歳代	152	20	39	66	27	－
		100.0	13.2	25.7	43.4	17.8	－
	40歳代	167	24	39	75	29	－
		100.0	14.4	23.4	44.9	17.4	－
	50歳代	171	28	33	72	36	2
		100.0	16.4	19.3	42.1	21.1	1.2
	60歳代	268	50	47	100	68	3
		100.0	18.7	17.5	37.3	25.4	1.1
	70歳代	197	34	39	71	50	3
		100.0	17.3	19.8	36.0	25.4	1.5
	80歳以上	57	13	11	24	8	1
		100.0	22.8	19.3	42.1	14.0	1.8

（12）男同士、女同士の結婚を認めるべきだ

（上段：人、下段：％）

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	56	83	98	281	11
		100.0	10.6	15.7	18.5	53.1	2.1
	女性	616	96	160	122	231	7
		100.0	15.6	26.0	19.8	37.5	1.1
年代別	16～19歳	70	14	19	20	17	－
		100.0	20.0	27.1	28.6	24.3	－
	20歳代	112	27	41	14	30	－
		100.0	24.1	36.6	12.5	26.8	－
	30歳代	152	37	49	25	39	2
		100.0	24.3	32.2	16.4	25.7	1.3
	40歳代	167	22	54	33	57	1
		100.0	13.2	32.3	19.8	34.1	0.6
	50歳代	171	25	48	34	60	4
		100.0	14.6	28.1	19.9	35.1	2.3
	60歳代	268	22	25	63	153	5
		100.0	8.2	9.3	23.5	57.1	1.9
	70歳代	197	10	20	35	128	4
		100.0	5.1	10.2	17.8	65.0	2.0
	80歳以上	57	2	6	7	40	2
		100.0	3.5	10.5	12.3	70.2	3.5

【図表２－１－１　性別・年代別　さまざまな人権侵害に関する考え方④】

(13) 景気の悪化などを理由に、外国人労働者を解雇することは問題ない

（上段：人、下段：%）

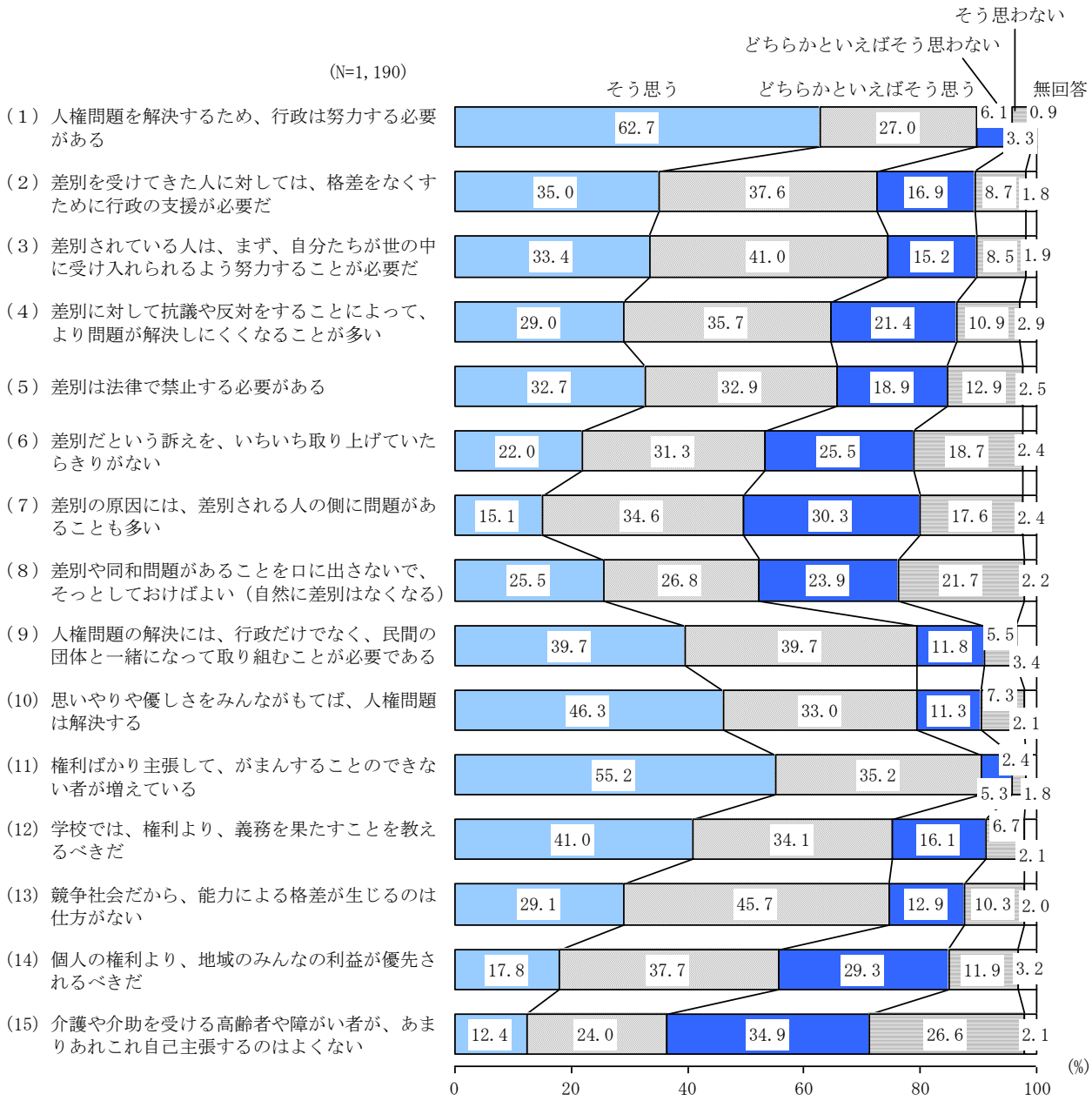
		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529 100.0	53 10.0	99 18.7	181 34.2	189 35.7	7 1.3
	女性	616 100.0	48 7.8	105 17.0	258 41.9	198 32.1	7 1.1
年代別	16～19歳	70 100.0	5 7.1	8 11.4	26 37.1	31 44.3	－ －
	20歳代	112 100.0	6 5.4	18 16.1	49 43.8	39 34.8	－ －
	30歳代	152 100.0	10 6.6	33 21.7	62 40.8	45 29.6	2 1.3
	40歳代	167 100.0	18 10.8	26 15.6	66 39.5	56 33.5	1 0.6
	50歳代	171 100.0	11 6.4	35 20.5	64 37.4	58 33.9	3 1.8
	60歳代	268 100.0	26 9.7	43 16.0	105 39.2	91 34.0	3 1.1
	70歳代	197 100.0	23 11.7	32 16.2	62 31.5	76 38.6	4 2.0
	80歳以上	57 100.0	7 12.3	18 31.6	20 35.1	11 19.3	1 1.8

３．差別や人権尊重に関する意識や考え方について

（１）差別に関する基本的な認識

問２　一般的に「人権問題」や「差別」というものについて、あなたはどのようなお考えをお持ちですか。次にあげる（１）～（15）のすべてについてお答えください。（それぞれ１つに○）

【図表３－１　差別に関する基本的な認識】



＜全体＞

人権問題や差別の解決にあたっての市民の考え方をみると、〔（１）人権問題を解決するため、行政は努力する必要がある〕に対し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が 89.7%を占めている。また、これに次いで「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合は、〔（９）人権問題の解決には、行政だけでなく、民間の団体と一緒になって取り組む

ことが必要である〕(79.4%) や〔(10) 思いやりや優しさをみんながもてば、人権問題は解決する〕(79.3%)、〔(２) 差別を受けてきた人に対しては、格差をなくすために行政の支援が必要だ〕(72.6%) では７割を超え高くなっている。一方、〔(６) 差別だという訴えをいちいち取り上げていたらきりがない〕(53.3%) や〔(８) 差別や同和問題があることを口に出さないで、そっとしておけばよい (自然に差別はなくなる)〕(52.3%) に対して「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答する市民が２人に１人となっている。(図表３－１)

権利と義務に関する考え方については、〔(11) 権利ばかり主張して、がまんすることのできない者が増えている〕に対し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が 90.4% を占めている。また、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合は、〔(12) 学校では、権利より、義務を果たすことを教えるべきだ〕では 75.1%、〔(14) 個人の権利より、地域のみんなの利益が優先されるべき〕では 55.5% とそれぞれ５割を超えている。(図表３－１)

差別行為あるいは被差別に関する考え方については、〔(３) 差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ〕に対し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が 74.4% 占め、〔(４) 差別に対して抗議や反対をすることによって、より問題が解決しにくくなることが多い〕に対しても「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が 64.7% となっている。さらに〔(７) 差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い〕(49.7%) に対して市民のほぼ２人に１人は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答している。(図表３－１)

＜性別＞

男性では、〔(７) 差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い〕と〔(12) 学校では、権利より、義務を果たすことを教えるべきだ〕が女性に比べ約６ポイント、〔(14) 個人の権利より、地域みんなの利益が優先されるべきだ〕と〔(15) 介護や介助を受ける高齢者や障がい者が、あまりあれこれ自己主張するのはよくない〕は女性に比べ約８ポイント高くなっている。

一方、女性では、〔(６) 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない〕が男性に比べ 6.8 ポイント高い。(図表３－１－１)

＜年代別＞

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合は、〔(１) 人権問題を解決するため、行政は努力をする必要がある〕と〔(９) 人権問題の解決には、行政だけでなく、民間の団体と一緒になって取り組むことが必要である〕では、若年層ほど高い割合になっている。

一方、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合は、〔(３) 差別をされている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ〕、〔(４) 差別に対して抗議や反対することによって、より問題が解決しにくくなることが多い〕、〔(８) 差別や同和問題があることを口に出さないで、そっとしておけばよい (自然に差別はなくなる)〕では高年層になるほど高く、特に〔(15) 介護や介助を受ける高齢者や障がい者が、あまりあれこれ自己主張するのはよくない〕では若年層に比べ 70 歳以上の年代が 20 ポイント以上高くなっている。(図表３－１－１)

【図表３－１－１　性別・年代別　差別に関する基本的な認識①】

（１）人権問題を解決するため、行政は努力する必要がある

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	344	126	31	25	3
		100.0	65.0	23.8	5.9	4.7	0.6
	女性	616	374	185	39	12	6
		100.0	60.7	30.0	6.3	1.9	1.0
年代別	16～19歳	70	46	19	3	2	－
		100.0	65.7	27.1	4.3	2.9	－
	20歳代	112	77	28	4	3	－
		100.0	68.8	25.0	3.6	2.7	－
	30歳代	152	89	52	6	5	－
		100.0	58.6	34.2	3.9	3.3	－
	40歳代	167	103	49	12	3	－
		100.0	61.7	29.3	7.2	1.8	－
	50歳代	171	109	48	10	3	1
		100.0	63.7	28.1	5.8	1.8	0.6
	60歳代	268	172	60	21	10	5
		100.0	64.2	22.4	7.8	3.7	1.9
	70歳代	197	119	56	12	9	1
		100.0	60.4	28.4	6.1	4.6	0.5
	80歳以上	57	36	13	4	2	2
		100.0	63.2	22.8	7.0	3.5	3.5

（２）差別を受けてきた人に対しては、格差をなくすために行政の支援が必要だ

（上段：人、下段：%）

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	203	179	86	54	7
		100.0	38.4	33.8	16.3	10.2	1.3
	女性	616	196	253	107	48	12
		100.0	31.8	41.1	17.4	7.8	1.9
年代別	16～19歳	70	31	26	11	2	－
		100.0	44.3	37.1	15.7	2.9	－
	20歳代	112	39	48	17	8	－
		100.0	34.8	42.9	15.2	7.1	－
	30歳代	152	36	62	30	21	3
		100.0	23.7	40.8	19.7	13.8	2.0
	40歳代	167	49	74	29	15	－
		100.0	29.3	44.3	17.4	9.0	－
	50歳代	171	67	55	35	11	3
		100.0	39.2	32.2	20.5	6.4	1.8
	60歳代	268	90	105	41	24	8
		100.0	33.6	39.2	15.3	9.0	3.0
	70歳代	197	76	70	30	18	3
		100.0	38.6	35.5	15.2	9.1	1.5
	80歳以上	57	26	16	7	6	2
		100.0	45.6	28.1	12.3	10.5	3.5

（３）差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	192	214	66	47	10
		100.0	36.3	40.5	12.5	8.9	1.9
	女性	616	186	260	109	51	10
		100.0	30.2	42.2	17.7	8.3	1.6
年代別	16～19歳	70	25	23	15	7	－
		100.0	35.7	32.9	21.4	10.0	－
	20歳代	112	26	51	19	16	－
		100.0	23.2	45.5	17.0	14.3	－
	30歳代	152	33	73	29	15	2
		100.0	21.7	48.0	19.1	9.9	1.3
	40歳代	167	44	77	31	14	1
		100.0	26.3	46.1	18.6	8.4	0.6
	50歳代	171	46	80	24	18	3
		100.0	26.9	46.8	14.0	10.5	1.8
	60歳代	268	92	102	42	27	5
		100.0	34.3	38.1	15.7	10.1	1.9
	70歳代	197	92	75	19	5	6
		100.0	46.7	38.1	9.6	2.5	3.0
	80歳以上	57	33	14	5	2	3
		100.0	57.9	24.6	8.8	3.5	5.3

（４）差別に対して抗議や反対をすることによって、より問題が解決しにくくなることが多い

（上段：人、下段：%）

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	154	174	123	68	10
		100.0	29.1	32.9	23.3	12.9	1.9
	女性	616	171	238	126	59	22
		100.0	27.8	38.6	20.5	9.6	3.6
年代別	16～19歳	70	15	25	25	2	3
		100.0	21.4	35.7	35.7	2.9	4.3
	20歳代	112	26	41	33	12	－
		100.0	23.2	36.6	29.5	10.7	－
	30歳代	152	41	53	37	18	3
		100.0	27.0	34.9	24.3	11.8	2.0
	40歳代	167	46	60	39	20	2
		100.0	27.5	35.9	23.4	12.0	1.2
	50歳代	171	34	69	40	19	9
		100.0	19.9	40.4	23.4	11.1	5.3
	60歳代	268	77	89	59	35	8
		100.0	28.7	33.2	22.0	13.1	3.0
	70歳代	197	80	67	22	23	5
		100.0	40.6	34.0	11.2	11.7	2.5
	80歳以上	57	17	23	10	4	3
		100.0	29.8	40.4	17.5	7.0	5.3

【図表３－１－１　性別・年代別　差別に関する基本的な認識②】

（５）差別は法律で禁止する必要がある

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	181	166	90	84	8
		100.0	34.2	31.4	17.0	15.9	1.5
	女性	616	189	209	130	67	21
		100.0	30.7	33.9	21.1	10.9	3.4
年代別	16～19歳	70	23	29	15	3	－
		100.0	32.9	41.4	21.4	4.3	－
	20歳代	112	32	34	29	15	2
		100.0	28.6	30.4	25.9	13.4	1.8
	30歳代	152	34	54	39	23	2
		100.0	22.4	35.5	25.7	15.1	1.3
	40歳代	167	50	58	37	20	2
		100.0	29.9	34.7	22.2	12.0	1.2
	50歳代	171	53	67	29	16	6
		100.0	31.0	39.2	17.0	9.4	3.5
	60歳代	268	95	83	39	44	7
		100.0	35.4	31.0	14.6	16.4	2.6
	70歳代	197	81	52	29	28	7
		100.0	41.1	26.4	14.7	14.2	3.6
	80歳以上	57	18	15	14	6	4
		100.0	31.6	26.3	24.6	10.5	7.0

（６）差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない

（上段：人、下段：％）

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	115	145	142	118	9
		100.0	21.7	27.4	26.8	22.3	1.7
	女性	616	131	213	158	96	18
		100.0	21.3	34.6	25.6	15.6	2.9
年代別	16～19歳	70	10	26	23	11	－
		100.0	14.3	37.1	32.9	15.7	－
	20歳代	112	25	35	32	19	1
		100.0	22.3	31.3	28.6	17.0	0.9
	30歳代	152	31	53	44	22	2
		100.0	20.4	34.9	28.9	14.5	1.3
	40歳代	167	35	47	48	36	1
		100.0	21.0	28.1	28.7	21.6	0.6
	50歳代	171	24	58	51	32	6
		100.0	14.0	33.9	29.8	18.7	3.5
	60歳代	268	57	72	70	63	6
		100.0	21.3	26.9	26.1	23.5	2.2
	70歳代	197	54	65	39	32	7
		100.0	27.4	33.0	19.8	16.2	3.6
	80歳以上	57	20	13	11	9	4
		100.0	35.1	22.8	19.3	15.8	7.0

（７）差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	89	190	149	94	7
		100.0	16.8	35.9	28.2	17.8	1.3
	女性	616	80	207	205	107	17
		100.0	13.0	33.6	33.3	17.4	2.8
年代別	16～19歳	70	6	20	36	8	－
		100.0	8.6	28.6	51.4	11.4	－
	20歳代	112	11	36	41	24	－
		100.0	9.8	32.1	36.6	21.4	－
	30歳代	152	23	51	48	26	4
		100.0	15.1	33.6	31.6	17.1	2.6
	40歳代	167	19	45	62	39	2
		100.0	11.4	26.9	37.1	23.4	1.2
	50歳代	171	12	66	55	33	5
		100.0	7.0	38.6	32.2	19.3	2.9
	60歳代	268	45	94	74	49	6
		100.0	16.8	35.1	27.6	18.3	2.2
	70歳代	197	46	77	45	25	4
		100.0	23.4	39.1	22.8	12.7	2.0
	80歳以上	57	10	21	17	6	3
		100.0	17.5	36.8	29.8	10.5	5.3

（８）差別や同和問題があることを口に出さないで、そっとしておけばよい（自然に差別はなくなる）

（上段：人、下段：％）

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	130	130	126	135	8
		100.0	24.6	24.6	23.8	25.5	1.5
	女性	616	151	181	151	118	15
		100.0	24.5	29.4	24.5	19.2	2.4
年代別	16～19歳	70	5	23	25	16	1
		100.0	7.1	32.9	35.7	22.9	1.4
	20歳代	112	15	28	36	33	－
		100.0	13.4	25.0	32.1	29.5	－
	30歳代	152	21	46	49	34	2
		100.0	13.8	30.3	32.2	22.4	1.3
	40歳代	167	33	44	54	35	1
		100.0	19.8	26.3	32.3	21.0	0.6
	50歳代	171	26	50	43	46	6
		100.0	15.2	29.2	25.1	26.9	3.5
	60歳代	268	82	66	50	64	6
		100.0	30.6	24.6	18.7	23.9	2.2
	70歳代	197	80	53	31	28	5
		100.0	40.6	26.9	15.7	14.2	2.5
	80歳以上	57	25	13	11	5	3
		100.0	43.9	22.8	19.3	8.8	5.3

【図表３－１－１　性別・年代別　差別に関する基本的な認識③】

（９）人権問題の解決には、行政だけでなく、民間の団体と一緒になって取り組むことが必要である

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	241	186	57	35	10
		100.0	45.6	35.2	10.8	6.6	1.9
	女性	616	214	272	80	27	23
		100.0	34.7	44.2	13.0	4.4	3.7
年代別	16～19歳	70	30	28	10	1	1
		100.0	42.9	40.0	14.3	1.4	1.4
	20歳代	112	55	47	5	3	2
		100.0	49.1	42.0	4.5	2.7	1.8
	30歳代	152	47	76	22	5	2
		100.0	30.9	50.0	14.5	3.3	1.3
	40歳代	167	68	70	23	5	1
		100.0	40.7	41.9	13.8	3.0	0.6
	50歳代	171	59	68	23	12	9
		100.0	34.5	39.8	13.5	7.0	5.3
	60歳代	268	106	101	34	18	9
		100.0	39.6	37.7	12.7	6.7	3.4
	70歳代	197	90	66	19	16	6
		100.0	45.7	33.5	9.6	8.1	3.0
	80歳以上	57	24	20	6	3	4
		100.0	42.1	35.1	10.5	5.3	7.0

（10）思いやりや優しさをみんながもてば、人権問題は解決する

（上段：人、下段：％）

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	258	157	63	40	11
		100.0	48.8	29.7	11.9	7.6	2.1
	女性	616	269	225	64	45	13
		100.0	43.7	36.5	10.4	7.3	2.1
年代別	16～19歳	70	35	24	6	5	－
		100.0	50.0	34.3	8.6	7.1	－
	20歳代	112	48	41	17	6	－
		100.0	42.9	36.6	15.2	5.4	－
	30歳代	152	70	54	14	11	3
		100.0	46.1	35.5	9.2	7.2	2.0
	40歳代	167	70	64	21	11	1
		100.0	41.9	38.3	12.6	6.6	0.6
	50歳代	171	65	61	25	18	2
		100.0	38.0	35.7	14.6	10.5	1.2
	60歳代	268	124	86	30	18	10
		100.0	46.3	32.1	11.2	6.7	3.7
	70歳代	197	106	52	20	14	5
		100.0	53.8	26.4	10.2	7.1	2.5
	80歳以上	57	30	17	3	4	3
		100.0	52.6	29.8	5.3	7.0	5.3

（11）権利ばかり主張して、がまんすることのできない者が増えている

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	305	182	22	14	6
		100.0	57.7	34.4	4.2	2.6	1.1
	女性	616	328	223	38	14	13
		100.0	53.2	36.2	6.2	2.3	2.1
年代別	16～19歳	70	40	22	8	－	－
		100.0	57.1	31.4	11.4	－	－
	20歳代	112	52	50	8	2	－
		100.0	46.4	44.6	7.1	1.8	－
	30歳代	152	87	53	7	2	3
		100.0	57.2	34.9	4.6	1.3	2.0
	40歳代	167	86	64	11	4	2
		100.0	51.5	38.3	6.6	2.4	1.2
	50歳代	171	99	59	6	3	4
		100.0	57.9	34.5	3.5	1.8	2.3
	60歳代	268	147	93	15	10	3
		100.0	54.9	34.7	5.6	3.7	1.1
	70歳代	197	123	58	7	5	4
		100.0	62.4	29.4	3.6	2.5	2.0
	80歳以上	57	32	17	2	3	3
		100.0	56.1	29.8	3.5	5.3	5.3

（12）学校では、権利より、義務を果たすことを教えるべきだ

（上段：人、下段：％）

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	243	171	65	42	8
		100.0	45.9	32.3	12.3	7.9	1.5
	女性	616	225	222	121	34	14
		100.0	36.5	36.0	19.6	5.5	2.3
年代別	16～19歳	70	15	37	14	3	1
		100.0	21.4	52.9	20.0	4.3	1.4
	20歳代	112	27	38	37	8	2
		100.0	24.1	33.9	33.0	7.1	1.8
	30歳代	152	49	62	31	7	3
		100.0	32.2	40.8	20.4	4.6	2.0
	40歳代	167	62	64	33	8	－
		100.0	37.1	38.3	19.8	4.8	－
	50歳代	171	69	57	27	15	3
		100.0	40.4	33.3	15.8	8.8	1.8
	60歳代	268	109	89	41	24	5
		100.0	40.7	33.2	15.3	9.0	1.9
	70歳代	197	110	58	15	9	5
		100.0	55.8	29.4	7.6	4.6	2.5
	80歳以上	57	37	10	4	3	3
		100.0	64.9	17.5	7.0	5.3	5.3

【図表３－１－１　性別・年代別　差別に関する基本的な認識④】

(13) 競争社会だから、能力による格差が生じるのは仕方がない

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	164	238	64	57	6
		100.0	31.0	45.0	12.1	10.8	1.1
	女性	616	167	289	83	60	17
		100.0	27.1	46.9	13.5	9.7	2.8
年代別	16～19歳	70	19	39	8	3	1
		100.0	27.1	55.7	11.4	4.3	1.4
	20歳代	112	33	45	21	12	1
		100.0	29.5	40.2	18.8	10.7	0.9
	30歳代	152	45	77	17	10	3
		100.0	29.6	50.7	11.2	6.6	2.0
	40歳代	167	47	82	20	18	－
		100.0	28.1	49.1	12.0	10.8	－
	50歳代	171	42	88	20	18	3
		100.0	24.6	51.5	11.7	10.5	1.8
	60歳代	268	82	108	40	32	6
		100.0	30.6	40.3	14.9	11.9	2.2
	70歳代	197	63	85	19	25	5
		100.0	32.0	43.1	9.6	12.7	2.5
	80歳以上	57	16	25	9	3	4
		100.0	28.1	43.9	15.8	5.3	7.0

(14) 個人の権利より、地域のみんなの利益が優先されるべきだ

（上段：人、下段：％）

調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
529	120	198	141	60	10
100.0	22.7	37.4	26.7	11.3	1.9
616	76	242	196	76	26
100.0	12.3	39.3	31.8	12.3	4.2
70	12	27	27	3	1
100.0	17.1	38.6	38.6	4.3	1.4
112	18	34	45	13	2
100.0	16.1	30.4	40.2	11.6	1.8
152	13	76	48	13	2
100.0	8.6	50.0	31.6	8.6	1.3
167	26	59	59	17	6
100.0	15.6	35.3	35.3	10.2	3.6
171	22	67	50	24	8
100.0	12.9	39.2	29.2	14.0	4.7
268	41	95	78	47	7
100.0	15.3	35.4	29.1	17.5	2.6
197	59	71	38	21	8
100.0	29.9	36.0	19.3	10.7	4.1
57	15	26	9	4	3
100.0	26.3	45.6	15.8	7.0	5.3

(15) 介護や介助を受ける高齢者や障がい者が、あまりあれこれ自己主張するのはよくない

（上段：人、下段：％）

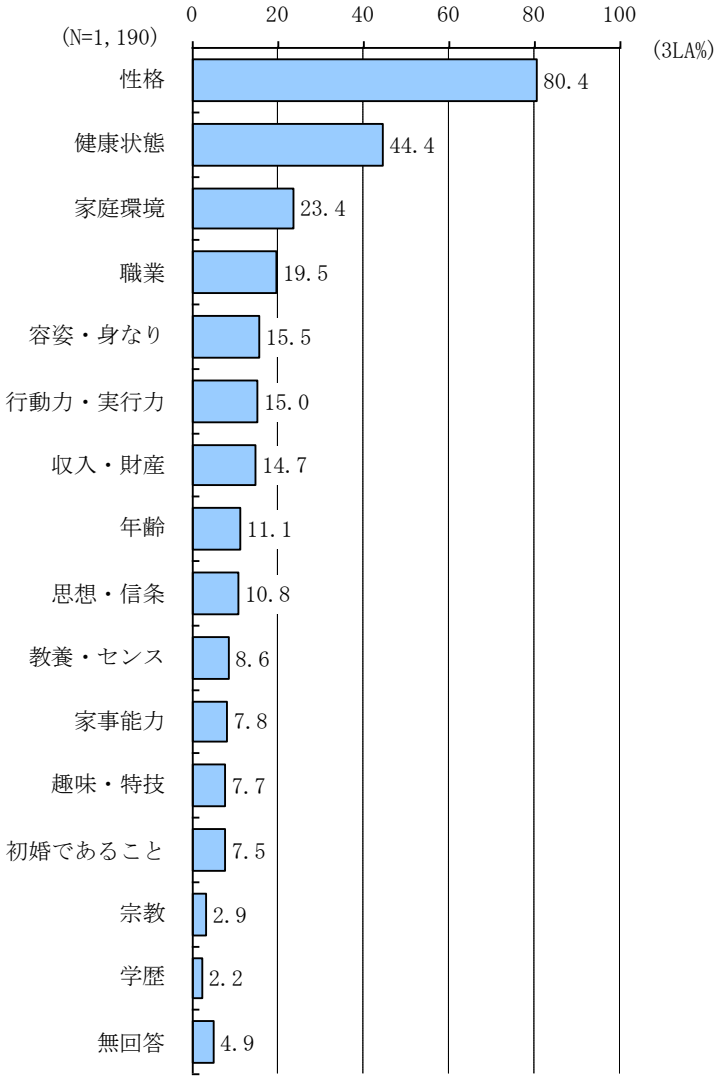
		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	529	70	143	168	139	9
		100.0	13.2	27.0	31.8	26.3	1.7
	女性	616	66	133	240	162	15
		100.0	10.7	21.6	39.0	26.3	2.4
年代別	16～19歳	70	2	18	32	17	1
		100.0	2.9	25.7	45.7	24.3	1.4
	20歳代	112	7	16	45	43	1
		100.0	6.3	14.3	40.2	38.4	0.9
	30歳代	152	9	37	67	36	3
		100.0	5.9	24.3	44.1	23.7	2.0
	40歳代	167	9	30	72	56	－
		100.0	5.4	18.0	43.1	33.5	－
	50歳代	171	11	33	71	52	4
		100.0	6.4	19.3	41.5	30.4	2.3
	60歳代	268	32	68	89	73	6
		100.0	11.9	25.4	33.2	27.2	2.2
	70歳代	197	53	64	40	34	6
		100.0	26.9	32.5	20.3	17.3	3.0
	80歳以上	57	19	20	12	3	3
		100.0	33.3	35.1	21.1	5.3	5.3

（２）結婚を考える際に重視する条件

問３　結婚相手を考える際に、どのような条件を重視しますか（しましたか）。あなたご自身の結婚の場合と、お子さんの結婚の場合（相手の性別に）とに分けて選んでください。お子さんがいらっしゃらない方も、未婚のお子さんがいると想定してお答えください。

①自分の場合

【図表３－２①　結婚を考える際に重視する条件（自分の場合）】



＜全体＞

回答者自身が結婚を考える際の重視する条件は、「性格」の割合が 80.4%で最も高く、次いで「健康状態」(44.4%) で、以下「家庭環境」(23.4%)、「職業」(19.5%)、「容姿・身なり」(15.5%)、「行動力・実行力」(15.0%)、「収入・財産」(14.7%) の順で高い。(図表３－２①)

＜性別＞

男性では女性に比べ「容姿・身なり」が 13.8 ポイント差、「家事能力」は 12.3 ポイント差

で高いのに対し、女性では「職業」が男性に比べ 18.6 ポイント高くなっている。また、「収入・財産」は男性に比べ 15.7 ポイント、「行動力・実行力」は 10.7 ポイント高い。（図表３－２①－１）

【図表３－２①－１　性別　結婚を考える際に重視する条件（自分の場合）】

（上段：人、下段：％）

	調査数（N）	性格	健康状態	家庭環境	職業	容姿・身なり	行動力・実行力	収入・財産	年齢	思想・信条	教養・センス	家事能力	趣味・特技	初婚であること	宗教	学歴	無回答
男性	529	444	246	123	49	122	48	33	70	69	60	76	51	42	10	8	20
	100.0	83.9	46.5	23.3	9.3	23.1	9.1	6.2	13.2	13.0	11.3	14.4	9.6	7.9	1.9	1.5	3.8
女性	616	487	269	142	172	57	122	135	55	59	41	13	40	43	22	18	31
	100.0	79.1	43.7	23.1	27.9	9.3	19.8	21.9	8.9	9.6	6.7	2.1	6.5	7.0	3.6	2.9	5.0

＜性年代＞

男性の場合、「性格」「容姿・身なり」「教養・センス」「趣味・特技」は若年層ほど高く、16～19 歳では「家事能力」が他の年代に比べ高い。また、「健康状態」や「家庭環境」は高年層ほど高い傾向がみられる。一方、女性の場合、「性格」「行動力・実行力」「収入・財産」は若年層ほど高く、男性同様、「健康状態」や「家庭環境」は高年層ほど高い（図表３－２①－２）

【図表３－２①－２　性年代別　結婚を考える際に重視する条件（自分の場合）】

〈男性〉

（上段：人、下段：％）

	調査数（N）	性格	健康状態	家庭環境	職業	容姿・身なり	行動力・実行力	収入・財産	年齢	思想・信条	教養・センス	家事能力	趣味・特技	初婚であること	宗教	学歴	無回答
16～19歳	35	32	7	3	2	11	5	1	6	5	8	14	9	1	1	－	－
	100.0	91.4	20.0	8.6	5.7	31.4	14.3	2.9	17.1	14.3	22.9	40.0	25.7	2.9	2.9	－	－
20歳代	49	43	7	10	3	20	6	3	6	8	9	8	11	2	3	－	2
	100.0	87.8	14.3	20.4	6.1	40.8	12.2	6.1	12.2	16.3	18.4	16.3	22.4	4.1	6.1	－	4.1
30歳代	58	54	11	5	1	21	6	－	7	16	11	11	10	2	1	－	2
	100.0	93.1	19.0	8.6	1.7	36.2	10.3	－	12.1	27.6	19.0	19.0	17.2	3.4	1.7	－	3.4
40歳代	77	68	23	20	7	23	7	4	14	13	9	10	9	4	1	1	3
	100.0	88.3	29.9	26.0	9.1	29.9	9.1	5.2	18.2	16.9	11.7	13.0	11.7	5.2	1.3	1.3	3.9
50歳代	65	56	26	15	4	16	5	6	10	14	8	10	5	3	1	－	1
	100.0	86.2	40.0	23.1	6.2	24.6	7.7	9.2	15.4	21.5	12.3	15.4	7.7	4.6	1.5	－	1.5
60歳代	139	121	88	37	17	27	10	5	19	13	9	14	6	15	1	3	4
	100.0	87.1	63.3	26.6	12.2	19.4	7.2	3.6	13.7	9.4	6.5	10.1	4.3	10.8	0.7	2.2	2.9
70歳代	103	71	70	28	16	13	9	14	12	4	10	14	5	13	2	2	5
	100.0	68.9	68.0	27.2	15.5	12.6	8.7	13.6	11.7	3.9	9.7	13.6	4.9	12.6	1.9	1.9	4.9
80歳以上	28	19	16	11	2	3	1	－	4	2	1	1	－	2	2	2	3
	100.0	67.9	57.1	39.3	7.1	10.7	3.6	－	14.3	7.1	3.6	3.6	－	7.1	7.1	7.1	10.7

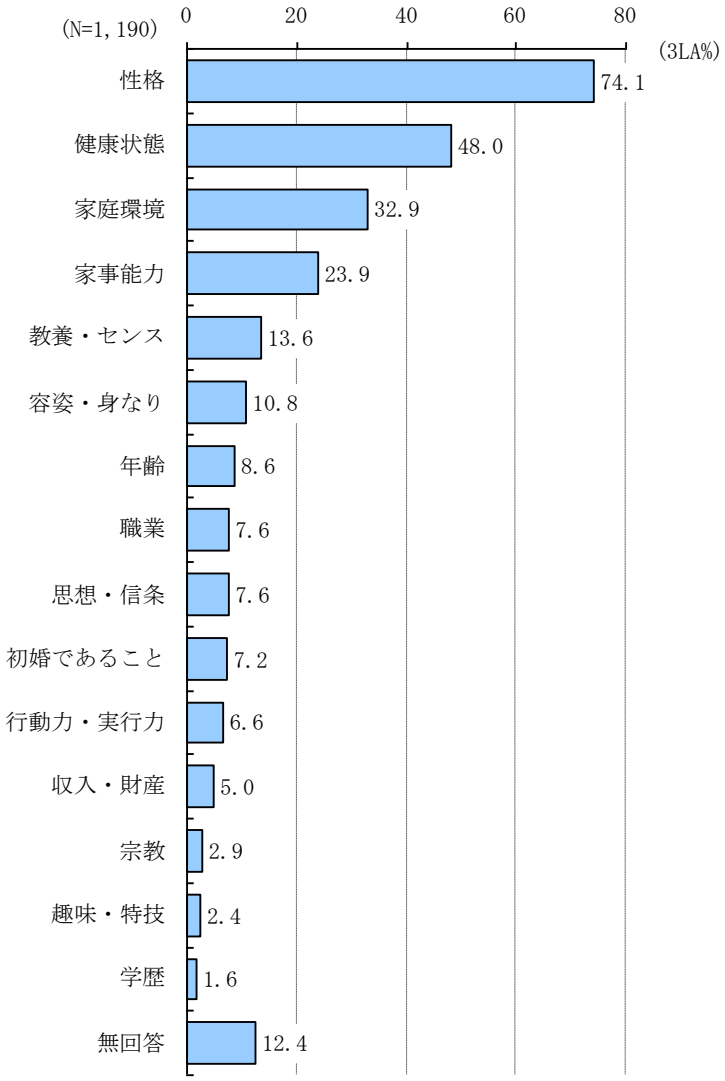
〈女性〉

（上段：人、下段：％）

	調査数（N）	性格	健康状態	家庭環境	職業	容姿・身なり	行動力・実行力	収入・財産	年齢	思想・信条	教養・センス	家事能力	趣味・特技	初婚であること	宗教	学歴	無回答
16～19歳	35	31	11	6	7	3	11	13	2	4	4	3	1	1	2	2	1
	100.0	88.6	31.4	17.1	20.0	8.6	31.4	37.1	5.7	11.4	11.4	8.6	2.9	2.9	5.7	5.7	2.9
20歳代	62	51	17	11	10	7	18	24	6	10	9	3	4	5	7	－	1
	100.0	82.3	27.4	17.7	16.1	11.3	29.0	38.7	9.7	16.1	14.5	4.8	6.5	8.1	11.3	－	1.6
30歳代	94	84	30	19	20	9	28	21	6	17	5	3	11	7	3	2	2
	100.0	89.4	31.9	20.2	21.3	9.6	29.8	22.3	6.4	18.1	5.3	3.2	11.7	7.4	3.2	2.1	2.1
40歳代	90	82	28	19	22	13	15	29	7	7	9	3	7	6	2	5	－
	100.0	91.1	31.1	21.1	24.4	14.4	16.7	32.2	7.8	7.8	10.0	3.3	7.8	6.7	2.2	5.6	－
50歳代	106	94	51	18	32	11	24	22	7	12	4	2	9	7	3	1	2
	100.0	88.7	48.1	17.0	30.2	10.4	22.6	20.8	6.6	11.3	3.8	1.9	8.5	6.6	2.8	0.9	1.9
60歳代	129	93	65	28	45	11	20	23	19	10	9	－	6	9	4	6	7
	100.0	72.1	50.4	21.7	34.9	8.5	15.5	17.8	14.7	7.8	7.0	－	4.7	7.0	3.1	4.7	5.4
70歳代	92	57	56	36	30	4	12	7	8	1	3	－	3	8	1	3	12
	100.0	62.0	60.9	39.1	32.6	4.3	13.0	7.6	8.7	1.1	3.3	－	3.3	8.7	1.1	3.3	13.0
80歳以上	29	14	16	9	8	2	2	2	3	－	1	1	－	2	1	1	6
	100.0	48.3	55.2	31.0	27.6	6.9	6.9	6.9	10.3	－	3.4	3.4	－	6.9	3.4	3.4	20.7

②子どもの結婚相手が女性の場合

図表３－２②　結婚を考える際に重視する条件（子どもの結婚相手が女性の場合）】



＜全体＞

子どもの結婚相手が女性の場合に重視する条件は、「性格」の割合が 74.1%で最も高い。これに次いで「健康状態」(48.0%）で、以下「家庭環境」(32.9%)、「家事能力」(23.9%)、「教養・センス」(13.6%)、「容姿・身なり」(10.8%）の順で高い。(図表３－２②)

＜性別＞

男女とも「性格」の割合が７割台で最も高く、これに次いで「健康状態」「家庭環境」の順で高くなっている。(図表３－２②－１)

【図表３－２②－１　性別　結婚を考える際に重視する条件（子どもの結婚相手が女性の場合）】

（上段：人、下段：％）

	調査数（N）	性格	健康状態	家庭環境	家事能力	教養・センス	容姿・身なり	年齢	職業	思想・信条	初婚であること	行動力・実行力	収入・財産	宗教	趣味・特技	学歴	無回答
男性	529	402	268	172	120	82	64	53	39	47	45	30	20	13	14	9	50
	100.0	76.0	50.7	32.5	22.7	15.5	12.1	10.0	7.4	8.9	8.5	5.7	3.8	2.5	2.6	1.7	9.5
女性	616	451	284	209	154	77	61	48	47	41	37	41	36	20	12	10	89
	100.0	73.2	46.1	33.9	25.0	12.5	9.9	7.8	7.6	6.7	6.0	6.7	5.8	3.2	1.9	1.6	14.4

＜性年代別＞

男性の場合は、「家事能力」が若年層ほど高く、20 歳代は「教養・センス」、30～60 歳代では「性格」が他の年代と比べ高くなっている。また、「健康状態」や「家庭環境」は高年層ほど高い。（図表３－２②－２）

一方、女性では「性格」「家事能力」が若年層ほど高く、50～70 歳代では「健康状態」が他の年代に比べ高くなっている。（図表３－２②－２）

【図表３－２②－２　性年代別　結婚を考える際に重視する条件（子どもの結婚相手が女性の場合）】

〈男性〉

（上段：人、下段：％）

	調査数（N）	性格	健康状態	家庭環境	家事能力	教養・センス	容姿・身なり	年齢	職業	思想・信条	初婚であること	行動力・実行力	収入・財産	宗教	趣味・特技	学歴	無回答
16～19歳	35	24	8	9	15	6	3	7	4	3	2	5	1	2	2	－	4
	100.0	68.6	22.9	25.7	42.9	17.1	8.6	20.0	11.4	8.6	5.7	14.3	2.9	5.7	5.7	－	11.4
20歳代	49	34	11	14	20	14	9	8	6	7	6	2	3	2	3	－	2
	100.0	69.4	22.4	28.6	40.8	28.6	18.4	16.3	12.2	14.3	12.2	4.1	6.1	4.1	6.1	－	4.1
30歳代	58	46	18	11	17	12	8	5	6	12	5	7	2	2	2	1	6
	100.0	79.3	31.0	19.0	29.3	20.7	13.8	8.6	10.3	20.7	8.6	12.1	3.4	3.4	3.4	1.7	10.3
40歳代	77	62	27	23	11	11	11	14	11	9	8	6	5	1	3	3	6
	100.0	80.5	35.1	29.9	14.3	14.3	14.3	18.2	14.3	11.7	10.4	7.8	6.5	1.3	3.9	3.9	7.8
50歳代	65	53	28	20	16	10	7	2	7	5	4	－	4	2	1	－	8
	100.0	81.5	43.1	30.8	24.6	15.4	10.8	3.1	10.8	7.7	6.2	－	6.2	3.1	1.5	－	12.3
60歳代	139	114	96	56	27	16	13	11	6	10	10	10	2	1	－	1	9
	100.0	82.0	69.1	40.3	19.4	11.5	9.4	7.9	4.3	7.2	7.2	7.2	1.4	0.7	－	0.7	6.5
70歳代	103	72	66	35	23	17	11	13	1	4	10	1	3	2	4	2	12
	100.0	69.9	64.1	34.0	22.3	16.5	10.7	12.6	1.0	3.9	9.7	1.0	2.9	1.9	3.9	1.9	11.7
80歳以上	28	14	18	12	3	1	5	2	1	1	2	1	－	2	－	2	4
	100.0	50.0	64.3	42.9	10.7	3.6	17.9	7.1	3.6	3.6	7.1	3.6	－	7.1	－	7.1	14.3

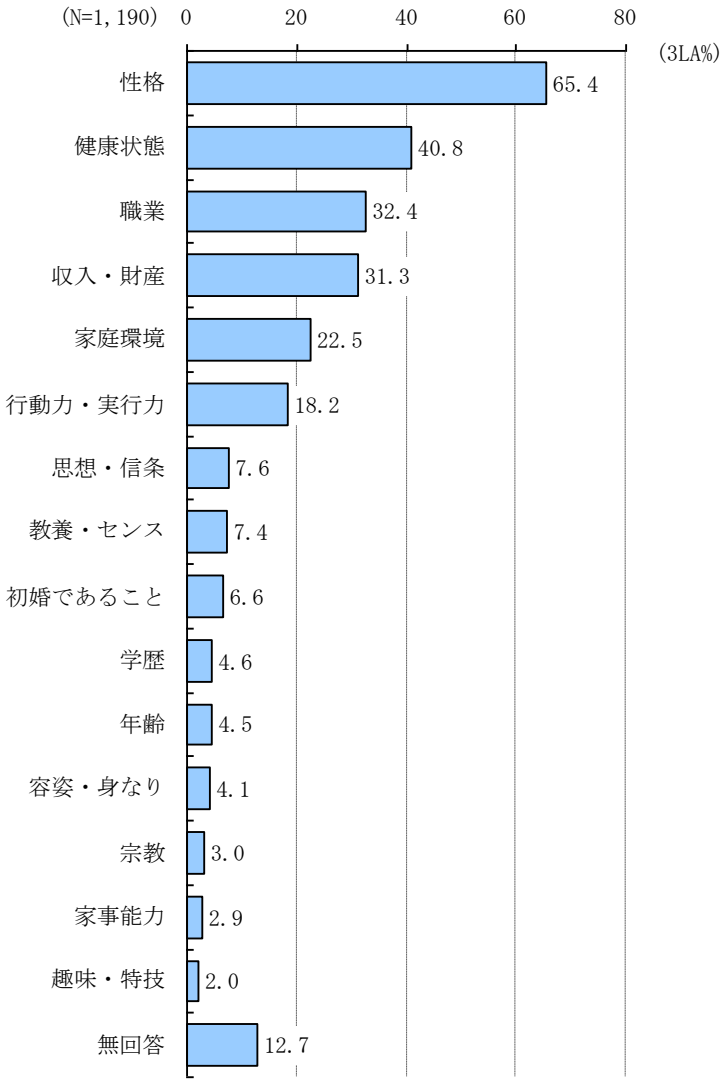
〈女性〉

（上段：人、下段：％）

	調査数（N）	性格	健康状態	家庭環境	家事能力	教養・センス	容姿・身なり	年齢	職業	思想・信条	初婚であること	行動力・実行力	収入・財産	宗教	趣味・特技	学歴	無回答
16～19歳	35	27	8	8	17	6	3	2	3	4	2	4	6	3	3	－	3
	100.0	77.1	22.9	22.9	48.6	17.1	8.6	5.7	8.6	11.4	5.7	11.4	17.1	8.6	8.6	－	8.6
20歳代	62	47	19	18	22	17	9	3	7	6	4	4	7	6	1	－	4
	100.0	75.8	30.6	29.0	35.5	27.4	14.5	4.8	11.3	9.7	6.5	6.5	11.3	9.7	1.6	－	6.5
30歳代	94	75	33	35	32	9	6	9	6	17	8	9	8	4	4	2	7
	100.0	79.8	35.1	37.2	34.0	9.6	6.4	9.6	6.4	18.1	8.5	9.6	8.5	4.3	4.3	2.1	7.4
40歳代	90	72	34	36	23	10	14	5	7	9	5	6	4	3	3	2	10
	100.0	80.0	37.8	40.0	25.6	11.1	15.6	5.6	7.8	10.0	5.6	6.7	4.4	3.3	3.3	2.2	11.1
50歳代	106	86	55	37	21	14	13	9	4	2	8	6	5	3	2	1	15
	100.0	81.1	51.9	34.9	19.8	13.2	12.3	8.5	3.8	1.9	7.5	5.7	4.7	2.8	1.9	0.9	14.2
60歳代	129	91	72	40	27	10	12	14	9	3	4	9	4	1	－	2	24
	100.0	70.5	55.8	31.0	20.9	7.8	9.3	10.9	7.0	2.3	3.1	7.0	3.1	0.8	－	1.6	18.6
70歳代	92	55	55	35	18	11	4	6	9	－	7	5	5	1	1	3	17
	100.0	59.8	59.8	38.0	19.6	12.0	4.3	6.5	9.8	－	7.6	5.4	5.4	1.1	1.1	3.3	18.5
80歳以上	29	14	11	5	5	3	3	1	3	1	1	1	2	1	－	－	10
	100.0	48.3	37.9	17.2	17.2	10.3	10.3	3.4	10.3	3.4	3.4	3.4	6.9	3.4	－	－	34.5

③子どもの結婚相手が男性の場合

【図表３－２③　結婚を考える際に重視する条件（子どもの結婚相手が男性の場合）】



＜全体＞

子どもの結婚相手が男性の場合に重視する条件は、「性格」の割合が 65.4%で最も高い。これに、次いで「健康状態」(40.8%）で、以下「職業」(32.4%)、「収入・財産」(31.3%)、「家庭環境」(22.5%)、「行動力・実行力」(18.2%）の順で高い。(図表３－２③)

＜性別＞

男女とも「性格」が６割台で最も高く、次いで「健康状態」となっている。続いて、男性では「職業」が、女性では「収入・財産」の各割合が高い。(図表３－２③－１)

【図表３－２③－１　性別　結婚を考える際に重視する条件（子どもの相手が男性の場合）】

（上段：人、下段：%）

	調査数（N）	性格	健康状態	職業	収入・財産	家庭環境	行動力・実行力	思想・信条	教養・センス	初婚であること	学歴	年齢	容姿・身なり	宗教	家事能力	趣味・特技	無回答
男性	529	343	214	177	159	118	107	47	52	32	23	27	25	11	13	11	60
	100.0	64.8	40.5	33.5	30.1	22.3	20.2	8.9	9.8	6.0	4.3	5.1	4.7	2.1	2.5	2.1	11.3
女性	616	412	252	195	203	141	102	40	35	42	30	25	21	23	18	11	83
	100.0	66.9	40.9	31.7	33.0	22.9	16.6	6.5	5.7	6.8	4.9	4.1	3.4	3.7	2.9	1.8	13.5

＜性年代別＞

男性の場合は、「思想・信条」が若年層ほど高く、20 歳代は「教養・センス」、30 歳代では「容姿・身なり」が他の年代と比べ高くなっている。また、「健康状態」は高年層ほど高く、80 歳以上では「家庭環境」が他の年代に比べ高い。（図表３－２③－２）

一方、女性の場合、「収入・財産」「行動力・実行力」「思想・信条」「家事能力」が若年層ほど高いのに対し、「健康状態」や「学歴」は高年層ほど高くなっている。（図表３－２③－２）

【図表３－２③－２　性年代別　結婚を考える際に重視する条件（子どもの相手が男性の場合）】

〈男性〉

（上段：人、下段：%）

	調査数（N）	性格	健康状態	職業	収入・財産	家庭環境	行動力・実行力	思想・信条	教養・センス	初婚であること	学歴	年齢	容姿・身なり	宗教	家事能力	趣味・特技	無回答
16～19歳	35	22	4	12	11	1	9	4	8	3	2	2	1	1	4	2	6
	100.0	62.9	11.4	34.3	31.4	2.9	25.7	11.4	22.9	8.6	5.7	5.7	2.9	2.9	11.4	5.7	17.1
20歳代	49	38	10	17	19	9	6	7	5	6	1	2	10	2	3	4	2
	100.0	77.6	20.4	34.7	38.8	18.4	12.2	14.3	10.2	12.2	2.0	4.1	20.4	4.1	6.1	8.2	4.1
30歳代	58	44	18	19	14	9	18	9	9	5	－	4	6	3	－	3	3
	100.0	75.9	31.0	32.8	24.1	15.5	31.0	15.5	15.5	8.6	－	6.9	10.3	5.2	－	5.2	5.2
40歳代	77	54	19	29	27	19	10	9	8	5	5	5	5	1	1	3	8
	100.0	70.1	24.7	37.7	35.1	24.7	13.0	11.7	10.4	6.5	6.5	6.5	6.5	1.3	1.3	3.9	10.4
50歳代	65	49	28	17	21	20	8	5	6	2	－	3	－	2	2	2	7
	100.0	75.4	43.1	26.2	32.3	30.8	12.3	7.7	9.2	3.1	－	4.6	－	3.1	3.1	3.1	10.8
60歳代	139	93	72	47	39	33	25	11	8	4	4	8	3	2	3	－	18
	100.0	66.9	51.8	33.8	28.1	23.7	18.0	7.9	5.8	2.9	2.9	5.8	2.2	1.4	2.2	－	12.9
70歳代	103	52	51	42	31	20	31	4	10	6	10	5	1	－	1	1	12
	100.0	50.5	49.5	40.8	30.1	19.4	30.1	3.9	9.7	5.8	9.7	4.9	1.0	－	1.0	1.0	11.7
80歳以上	28	10	15	6	6	11	7	1	－	4	2	－	－	1	－	－	5
	100.0	35.7	53.6	21.4	21.4	39.3	25.0	3.6	－	14.3	7.1	－	－	3.6	－	－	17.9

〈女性〉

（上段：人、下段：%）

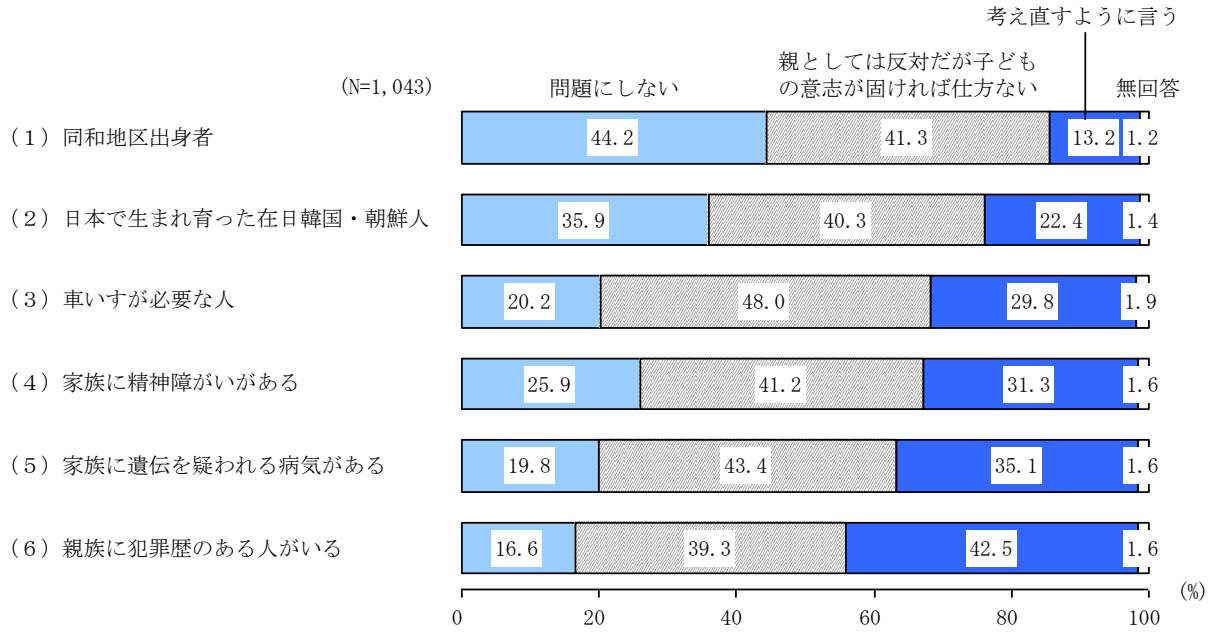
	調査数（N）	性格	健康状態	職業	収入・財産	家庭環境	行動力・実行力	思想・信条	教養・センス	初婚であること	学歴	年齢	容姿・身なり	宗教	家事能力	趣味・特技	無回答
16～19歳	35	25	10	11	17	8	9	4	3	－	－	－	1	3	4	1	3
	100.0	71.4	28.6	31.4	48.6	22.9	25.7	11.4	8.6	－	－	－	2.9	8.6	11.4	2.9	8.6
20歳代	62	45	12	20	30	14	10	7	7	4	1	6	4	7	4	1	4
	100.0	72.6	19.4	32.3	48.4	22.6	16.1	11.3	11.3	6.5	1.6	9.7	6.5	11.3	6.5	1.6	6.5
30歳代	94	62	31	24	36	25	24	10	3	6	2	4	－	2	3	－	16
	100.0	66.0	33.0	25.5	38.3	26.6	25.5	10.6	3.2	6.4	2.1	4.3	－	2.1	3.2	－	17.0
40歳代	90	72	23	30	38	25	13	8	6	5	4	3	7	5	3	3	6
	100.0	80.0	25.6	33.3	42.2	27.8	14.4	8.9	6.7	5.6	4.4	3.3	7.8	5.6	3.3	3.3	6.7
50歳代	106	84	50	30	38	19	17	5	7	12	2	2	5	3	4	1	9
	100.0	79.2	47.2	28.3	35.8	17.9	16.0	4.7	6.6	11.3	1.9	1.9	4.7	2.8	3.8	0.9	8.5
60歳代	129	76	67	45	33	27	20	5	4	8	9	5	5	4	2	2	22
	100.0	58.9	51.9	34.9	25.6	20.9	15.5	3.9	3.1	6.2	7.0	3.9	3.9	3.1	1.6	1.6	17.1
70歳代	92	49	49	31	19	22	13	2	5	5	9	7	－	－	1	2	18
	100.0	53.3	53.3	33.7	20.7	23.9	14.1	2.2	5.4	5.4	9.8	7.6	－	－	1.1	2.2	19.6
80歳以上	29	14	14	9	2	7	3	－	2	3	3	1	－	1	－	1	6
	100.0	48.3	48.3	31.0	6.9	24.1	10.3	－	6.9	10.3	10.3	3.4	－	3.4	－	3.4	20.7

（３）結婚相手の状況によりとる態度の違い

問４　問３で選んだ条件を満たしているお子さんの結婚相手が、次のような人であった場合、あなたはどのような態度をとると思いますか。（○はそれぞれ１つずつ）

①結婚相手が女性の場合

【図表３－３①　結婚相手の状況によりとる態度の違い（相手が女性の場合）】



＜全体＞

問３で子ども結婚相手が女性の場合に重視する条件として「性格」(74.1%）が最も高かったが、その結婚相手の状況により結婚に対しとる態度の違いをみた。

相手が女性の場合、〔（１）同和地区出身者〕では「問題にしない」(44.2%）が最も高くなっているが、「親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない」も 41.3%で４割を占めている。(図表３－３①)

同和地区出身者に比べ、在日韓国・朝鮮人や障がい・病気・犯罪歴のある人では、「問題にしない」の割合は低く、「親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない」の割合が高い。ただし、〔（６）親族に犯罪歴のある人がいる〕の場合は、「考え直すように言う」(42.5%）のほうが「親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない」の割合をやや上回っている。(図表３－３①)

＜性別＞

〔（１）同和地区出身者〕の場合、男性では「問題にしない」の割合（48.4%）が、女性では「親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない」の割合（43.6%）が、それぞれ最も高くなっている。(図表３－３①－１)

〔（２）日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人〕や〔（３）車いすが必要な人〕、〔（４）家族に精神障がいがある〕、〔（５）家族に遺伝を疑われる病気がある〕では、男女とも「親として

は反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない」の割合が最も高くなっている。

〔（６）親族に犯罪歴のある人がいる〕では、男性は「親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない」が 42.2%で最も高いのに対し、女性は「考え直すように言う」（48.4%）が最も高くなっている。（図表３－３①－１）

【図表３－３①－１　性別　結婚相手の状況によりとる態度の違い（相手が女性の場合）】

（１）同和地区出身者

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
男性	479	232	181	65	1
	100.0	48.4	37.8	13.6	0.2
女性	527	217	230	72	8
	100.0	41.2	43.6	13.7	1.5

（２）日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
男性	479	174	191	111	3
	100.0	36.3	39.9	23.2	0.6
女性	527	191	211	116	9
	100.0	36.2	40.0	22.0	1.7

（３）車いすが必要な人

（上段：人、下段：%）

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
男性	479	107	213	157	2
	100.0	22.3	44.5	32.8	0.4
女性	527	99	271	144	13
	100.0	18.8	51.4	27.3	2.5

（４）家族に精神障がいがある

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
男性	479	139	199	139	2
	100.0	29.0	41.5	29.0	0.4
女性	527	124	216	175	12
	100.0	23.5	41.0	33.2	2.3

（５）家族に遺伝を疑われる病気がある

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
男性	479	105	207	165	2
	100.0	21.9	43.2	34.4	0.4
女性	527	94	232	189	12
	100.0	17.8	44.0	35.9	2.3

（６）親族に犯罪歴のある人がいる

（上段：人、下段：%）

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
男性	479	101	202	174	2
	100.0	21.1	42.2	36.3	0.4
女性	527	69	191	255	12
	100.0	13.1	36.2	48.4	2.3

＜性年代別＞

男性の場合、いずれの項目も若年層ほど「問題にしない」の割合が高く、高年層ほど「考え直すように言う」の割合が高くなっている。（図表３－３①－２）

女性の場合も、いずれの項目も若年層ほど「問題にしない」が高くなっている。〔（５）家族に遺伝を疑われる病気がある〕では、20 歳代の「問題にしない」の割合が他の年代に比べ高くなっている。一方、〔（１）同和地区出身者〕を除いた項目では、高年層ほど「考え直すように言う」の割合が高くなっている。（図表３－３①－３）

【図表３－３①－２　性年代別　結婚相手の状況によりとる態度の違い（相手が女性の場合）】

〈男性〉

（1）同和地区出身者

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	31	22	7	2	－
	100.0	71.0	22.6	6.5	－
20歳代	47	31	13	3	－
	100.0	66.0	27.7	6.4	－
30歳代	52	39	9	4	－
	100.0	75.0	17.3	7.7	－
40歳代	71	36	18	17	－
	100.0	50.7	25.4	23.9	－
50歳代	57	25	25	7	－
	100.0	43.9	43.9	12.3	－
60歳代	130	58	58	14	－
	100.0	44.6	44.6	10.8	－
70歳代	91	31	48	11	1
	100.0	34.1	52.7	12.1	1.1
80歳以上	24	7	9	8	－
	100.0	29.2	37.5	33.3	－

（2）日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	31	15	11	5	－
	100.0	48.4	35.5	16.1	－
20歳代	47	21	16	10	－
	100.0	44.7	34.0	21.3	－
30歳代	52	21	22	9	－
	100.0	40.4	42.3	17.3	－
40歳代	71	28	24	19	－
	100.0	39.4	33.8	26.8	－
50歳代	57	24	21	12	－
	100.0	42.1	36.8	21.1	－
60歳代	130	49	57	24	－
	100.0	37.7	43.8	18.5	－
70歳代	91	21	41	26	3
	100.0	23.1	45.1	28.6	3.3
80歳以上	24	5	9	10	－
	100.0	20.8	37.5	41.7	－

（3）車いすが必要な人

（上段：人、下段：％）

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	31	19	8	4	－
	100.0	61.3	25.8	12.9	－
20歳代	47	21	15	11	－
	100.0	44.7	31.9	23.4	－
30歳代	52	18	26	8	－
	100.0	34.6	50.0	15.4	－
40歳代	71	23	25	23	－
	100.0	32.4	35.2	32.4	－
50歳代	57	13	25	19	－
	100.0	22.8	43.9	33.3	－
60歳代	130	19	68	43	－
	100.0	14.6	52.3	33.1	－
70歳代	91	7	42	40	2
	100.0	7.7	46.2	44.0	2.2
80歳以上	24	2	10	12	－
	100.0	8.3	41.7	50.0	－

（4）家族に精神障がいがある

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	31	16	12	3	－
	100.0	51.6	38.7	9.7	－
20歳代	47	22	16	9	－
	100.0	46.8	34.0	19.1	－
30歳代	52	26	15	11	－
	100.0	50.0	28.8	21.2	－
40歳代	71	27	24	20	－
	100.0	38.0	33.8	28.2	－
50歳代	57	19	25	13	－
	100.0	33.3	43.9	22.8	－
60歳代	130	25	70	35	－
	100.0	19.2	53.8	26.9	－
70歳代	91	14	35	40	2
	100.0	15.4	38.5	44.0	2.2
80歳以上	24	1	10	13	－
	100.0	4.2	41.7	54.2	－

（5）家族に遺伝を疑われる病気がある

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	31	12	13	6	－
	100.0	38.7	41.9	19.4	－
20歳代	47	17	19	11	－
	100.0	36.2	40.4	23.4	－
30歳代	52	17	25	10	－
	100.0	32.7	48.1	19.2	－
40歳代	71	24	25	22	－
	100.0	33.8	35.2	31.0	－
50歳代	57	17	21	19	－
	100.0	29.8	36.8	33.3	－
60歳代	130	20	71	39	－
	100.0	15.4	54.6	30.0	－
70歳代	91	5	37	47	2
	100.0	5.5	40.7	51.6	2.2
80歳以上	24	1	7	16	－
	100.0	4.2	29.2	66.7	－

（6）親族に犯罪歴のある人がいる

（上段：人、下段：％）

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	31	8	12	11	－
	100.0	25.8	38.7	35.5	－
20歳代	47	17	17	13	－
	100.0	36.2	36.2	27.7	－
30歳代	52	18	22	12	－
	100.0	34.6	42.3	23.1	－
40歳代	71	19	25	27	－
	100.0	26.8	35.2	38.0	－
50歳代	57	16	20	21	－
	100.0	28.1	35.1	36.8	－
60歳代	130	20	65	45	－
	100.0	15.4	50.0	34.6	－
70歳代	91	9	41	39	2
	100.0	9.9	45.1	42.9	2.2
80歳以上	24	－	9	15	－
	100.0	－	37.5	62.5	－

【図表３－３①－３　性年代別　結婚相手の状況によりとる態度の違い（相手が女性の場合）】

〈女性〉

（１）同和地区出身者

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	32	21	11	－	－
	100.0	65.6	34.4	－	－
20歳代	58	38	13	7	－
	100.0	65.5	22.4	12.1	－
30歳代	87	49	27	10	1
	100.0	56.3	31.0	11.5	1.1
40歳代	80	31	42	7	－
	100.0	38.8	52.5	8.8	－
50歳代	91	32	48	9	2
	100.0	35.2	52.7	9.9	2.2
60歳代	105	40	45	17	3
	100.0	38.1	42.9	16.2	2.9
70歳代	75	17	36	20	2
	100.0	22.7	48.0	26.7	2.7
80歳以上	19	3	14	2	－
	100.0	15.8	73.7	10.5	－

（２）日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	32	22	7	3	－
	100.0	68.8	21.9	9.4	－
20歳代	58	35	13	10	－
	100.0	60.3	22.4	17.2	－
30歳代	87	43	27	16	1
	100.0	49.4	31.0	18.4	1.1
40歳代	80	30	34	16	－
	100.0	37.5	42.5	20.0	－
50歳代	91	27	45	17	2
	100.0	29.7	49.5	18.7	2.2
60歳代	105	31	49	22	3
	100.0	29.5	46.7	21.0	2.9
70歳代	75	14	29	29	3
	100.0	18.7	38.7	38.7	4.0
80歳以上	19	2	11	6	－
	100.0	10.5	57.9	31.6	－

（３）車いすが必要な人

（上段：人、下段：％）

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	32	14	14	4	－
	100.0	43.8	43.8	12.5	－
20歳代	58	21	28	9	－
	100.0	36.2	48.3	15.5	－
30歳代	87	18	49	18	2
	100.0	20.7	56.3	20.7	2.3
40歳代	80	18	45	16	1
	100.0	22.5	56.3	20.0	1.3
50歳代	91	18	46	25	2
	100.0	19.8	50.5	27.5	2.2
60歳代	105	13	55	33	4
	100.0	12.4	52.4	31.4	3.8
70歳代	75	4	34	33	4
	100.0	5.3	45.3	44.0	5.3
80歳以上	19	2	8	9	－
	100.0	10.5	42.1	47.4	－

（４）家族に精神障がいがある

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	32	16	12	4	－
	100.0	50.0	37.5	12.5	－
20歳代	58	30	18	10	－
	100.0	51.7	31.0	17.2	－
30歳代	87	18	41	26	2
	100.0	20.7	47.1	29.9	2.3
40歳代	80	14	38	27	1
	100.0	17.5	47.5	33.8	1.3
50歳代	91	24	39	26	2
	100.0	26.4	42.9	28.6	2.2
60歳代	105	24	40	37	4
	100.0	22.9	38.1	35.2	3.8
70歳代	75	9	25	38	3
	100.0	12.0	33.3	50.7	4.0
80歳以上	19	3	7	9	－
	100.0	15.8	36.8	47.4	－

（５）家族に遺伝を疑われる病気がある

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	32	6	21	5	－
	100.0	18.8	65.6	15.6	－
20歳代	58	23	21	14	－
	100.0	39.7	36.2	24.1	－
30歳代	87	24	42	20	1
	100.0	27.6	48.3	23.0	1.1
40歳代	80	10	43	26	1
	100.0	12.5	53.8	32.5	1.3
50歳代	91	11	44	33	3
	100.0	12.1	48.4	36.3	3.3
60歳代	105	18	41	42	4
	100.0	17.1	39.0	40.0	3.8
70歳代	75	7	25	40	3
	100.0	9.3	33.3	53.3	4.0
80歳以上	19	2	4	13	－
	100.0	10.5	21.1	68.4	－

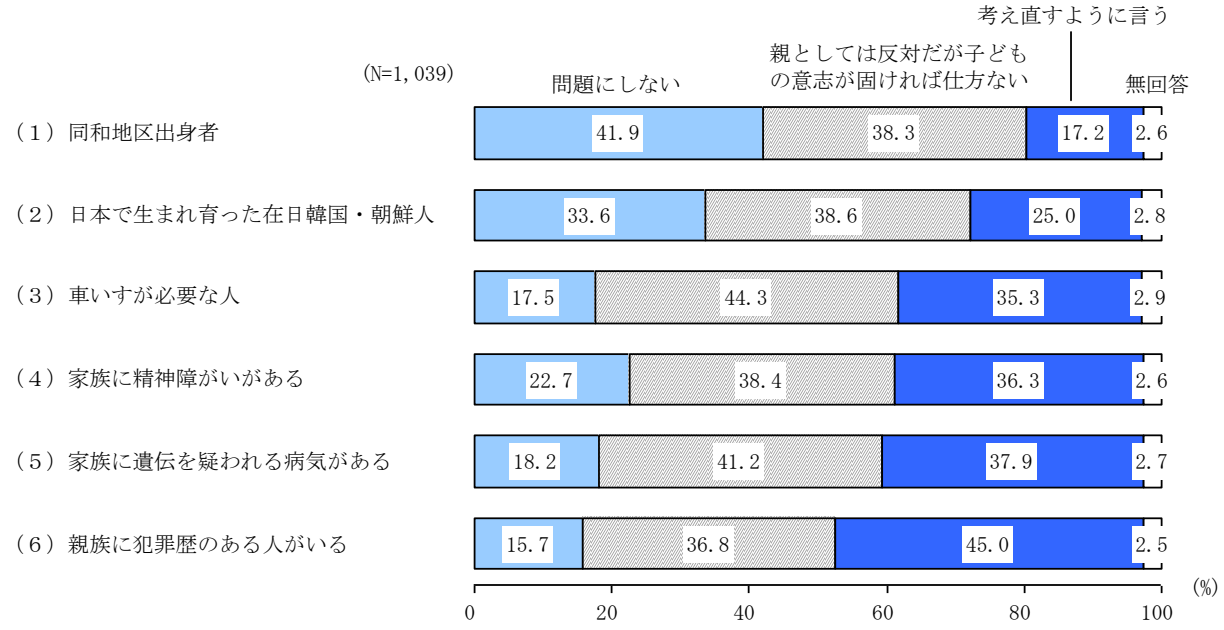
（６）親族に犯罪歴のある人がいる

（上段：人、下段：％）

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	32	7	8	17	－
	100.0	21.9	25.0	53.1	－
20歳代	58	18	15	25	－
	100.0	31.0	25.9	43.1	－
30歳代	87	10	41	35	1
	100.0	11.5	47.1	40.2	1.1
40歳代	80	10	32	37	1
	100.0	12.5	40.0	46.3	1.3
50歳代	91	11	40	37	3
	100.0	12.1	44.0	40.7	3.3
60歳代	105	15	38	48	4
	100.0	14.3	36.2	45.7	3.8
70歳代	75	6	17	49	3
	100.0	8.0	22.7	65.3	4.0
80歳以上	19	－	4	15	－
	100.0	－	21.1	78.9	－

②結婚相手が男性の場合

【図表３－３②　結婚相手の状況によりとる態度の違い（相手が男性の場合）】



＜全体＞

問３で子ども結婚相手が男性の場合に重視する条件として「性格」(65.4%）が最も高かったが、その結婚相手の状況により結婚に対しとる態度の違いをみた。

相手が男性の場合、〔（１）同和地区出身者〕では「問題にしない」(41.9%）が最も高くねているが、「親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない」(38.3%）もほぼ４割を占めている。(図表３－３②)

「親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない」の割合は、〔（２）日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人〕(38.6%)、〔（３）車いすが必要な人〕(44.3%)、〔（４）家族に精神障がいがある〕(38.4%)、〔（５）家族に遺伝を疑われる病気がある〕(41.2%）の各項目で高く、同和地区出身者に比べ「問題にしない」の割合はいずれも低くなっている。

一方、〔（６）親族に犯罪歴のある人がいる〕では、「考え直すように言う」(45.0%）のほうが最も高くなっている。(図表３－３②)

＜性別＞

〔（１）同和地区出身者〕の場合、男性では「問題にしない」が 45.8%を占めるのに対し、女性では「親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない」(40.5%）が最も高い。

〔（２）日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人〕や〔（３）車いすが必要な人〕、〔（４）家族に精神障がいがある〕、〔（５）家族に遺伝を疑われる病気がある〕では、男女とも「親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない」の割合が最も高くなっている。(図表３－３②－１)

〔（６）親族に犯罪歴のある人がいる〕の場合は、男性では「親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない」が 39.9%となっているのに対し、女性では「考え直すように言う」

が 50.7%で半数を占めている。（図表３－３②－１）

【図表３－３②－１　性別　結婚相手の状況によりとる態度の違い（相手が男性の場合）】

（上段：人、下段：%）

（1）同和地区出身者

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
男性	469	215	165	84	5
	100.0	45.8	35.2	17.9	1.1
女性	533	209	216	92	16
	100.0	39.2	40.5	17.3	3.0

（2）日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
男性	469	159	181	122	7
	100.0	33.9	38.6	26.0	1.5
女性	533	181	206	128	18
	100.0	34.0	38.6	24.0	3.4

（3）車いすが必要な人

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
男性	469	92	200	171	6
	100.0	19.6	42.6	36.5	1.3
女性	533	88	243	182	20
	100.0	16.5	45.6	34.1	3.8

（4）家族に精神障がいがある

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
男性	469	124	179	160	6
	100.0	26.4	38.2	34.1	1.3
女性	533	107	206	203	17
	100.0	20.1	38.6	38.1	3.2

（5）家族に遺伝を疑われる病気がある

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
男性	469	99	184	179	7
	100.0	21.1	39.2	38.2	1.5
女性	533	84	232	200	17
	100.0	15.8	43.5	37.5	3.2

（6）親族に犯罪歴のある人がいる

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
男性	469	96	187	181	5
	100.0	20.5	39.9	38.6	1.1
女性	533	64	182	270	17
	100.0	12.0	34.1	50.7	3.2

＜性年代別＞

男性の場合、いずれの項目も若年層ほど「問題にしない」の割合が高い。一方、〔（１）同和地区出身者〕では「親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない」の割合が、〔（３）車いすが必要な人〕や〔（４）家族に精神障がいがある〕、〔（５）家族に遺伝を疑われる病気がある〕では「考え直すように言う」の割合が、それぞれ高年層ほど高くなっている。（図表３－３②－２）

女性の場合、若年層ほど〔（１）同和地区出身者〕や〔（２）日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人〕、〔（３）車いすが必要な人〕、〔（４）家族に精神障がいがある〕で「問題にしない」の割合が高くなっている。特に〔（５）家族に遺伝を疑われる病気がある〕では 20 歳代の「問題にしない」の割合が他の年代に比べ高くなっている。

一方、〔（３）車いすが必要な人〕や〔（４）家族に精神障がいがある〕、〔（５）家族に遺伝を疑われる病気がある〕で「考え直すように言う」の割合は、高年層ほど高い。（図表３－３②－３）

【図表３－３②－２　性年代別　結婚相手の状況によりとる態度の違い（相手が男性の場合）】

〈男性〉

（１）同和地区出身者

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	29	21	5	3	－
	100.0	72.4	17.2	10.3	－
20歳代	47	30	9	7	1
	100.0	63.8	19.1	14.9	2.1
30歳代	55	37	12	6	－
	100.0	67.3	21.8	10.9	－
40歳代	69	32	17	19	1
	100.0	46.4	24.6	27.5	1.4
50歳代	58	25	26	7	－
	100.0	43.1	44.8	12.1	－
60歳代	121	52	52	15	2
	100.0	43.0	43.0	12.4	1.7
70歳代	91	29	43	18	1
	100.0	31.9	47.3	19.8	1.1
80歳以上	23	6	7	10	－
	100.0	26.1	30.4	43.5	－

（２）日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	29	15	9	5	－
	100.0	51.7	31.0	17.2	－
20歳代	47	17	15	14	1
	100.0	36.2	31.9	29.8	2.1
30歳代	55	22	20	13	－
	100.0	40.0	36.4	23.6	－
40歳代	69	26	19	23	1
	100.0	37.7	27.5	33.3	1.4
50歳代	58	26	20	12	－
	100.0	44.8	34.5	20.7	－
60歳代	121	39	57	22	3
	100.0	32.2	47.1	18.2	2.5
70歳代	91	18	44	27	2
	100.0	19.8	48.4	29.7	2.2
80歳以上	23	5	6	12	－
	100.0	21.7	26.1	52.2	－

（３）車いすが必要な人

（上段：人、下段：％）

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	29	15	7	7	－
	100.0	51.7	24.1	24.1	－
20歳代	47	19	15	12	1
	100.0	40.4	31.9	25.5	2.1
30歳代	55	16	26	13	－
	100.0	29.1	47.3	23.6	－
40歳代	69	21	25	23	－
	100.0	30.4	36.2	33.3	－
50歳代	58	11	25	21	1
	100.0	19.0	43.1	36.2	1.7
60歳代	121	15	58	45	3
	100.0	12.4	47.9	37.2	2.5
70歳代	91	6	41	43	1
	100.0	6.6	45.1	47.3	1.1
80歳以上	23	2	9	12	－
	100.0	8.7	39.1	52.2	－

（４）家族に精神障がいがある

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	29	16	8	5	－
	100.0	55.2	27.6	17.2	－
20歳代	47	18	16	12	1
	100.0	38.3	34.0	25.5	2.1
30歳代	55	23	17	14	1
	100.0	41.8	30.9	25.5	1.8
40歳代	69	28	21	20	－
	100.0	40.6	30.4	29.0	－
50歳代	58	15	27	15	1
	100.0	25.9	46.6	25.9	1.7
60歳代	121	24	54	41	2
	100.0	19.8	44.6	33.9	1.7
70歳代	91	10	35	45	1
	100.0	11.0	38.5	49.5	1.1
80歳以上	23	1	9	13	－
	100.0	4.3	39.1	56.5	－

（５）家族に遺伝を疑われる病気がある

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	29	11	10	8	－
	100.0	37.9	34.5	27.6	－
20歳代	47	15	18	13	1
	100.0	31.9	38.3	27.7	2.1
30歳代	55	17	25	12	1
	100.0	30.9	45.5	21.8	1.8
40歳代	69	25	21	22	1
	100.0	36.2	30.4	31.9	1.4
50歳代	58	14	23	20	1
	100.0	24.1	39.7	34.5	1.7
60歳代	121	19	55	45	2
	100.0	15.7	45.5	37.2	1.7
70歳代	91	4	37	49	1
	100.0	4.4	40.7	53.8	1.1
80歳以上	23	1	6	16	－
	100.0	4.3	26.1	69.6	－

（６）親族に犯罪歴のある人がいる

（上段：人、下段：％）

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	29	8	10	11	－
	100.0	27.6	34.5	37.9	－
20歳代	47	14	17	15	1
	100.0	29.8	36.2	31.9	2.1
30歳代	55	16	24	15	－
	100.0	29.1	43.6	27.3	－
40歳代	69	19	20	30	－
	100.0	27.5	29.0	43.5	－
50歳代	58	14	22	21	1
	100.0	24.1	37.9	36.2	1.7
60歳代	121	20	55	44	2
	100.0	16.5	45.5	36.4	1.7
70歳代	91	11	40	39	1
	100.0	12.1	44.0	42.9	1.1
80歳以上	23	－	7	16	－
	100.0	－	30.4	69.6	－

【図表３－３②－３　性年代別　結婚相手の状況によりとる態度の違い（相手が男性の場合）】

〈女性〉

（１）同和地区出身者

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	32	20	12	－	－
	100.0	62.5	37.5	－	－
20歳代	58	37	13	8	－
	100.0	63.8	22.4	13.8	－
30歳代	78	43	24	11	－
	100.0	55.1	30.8	14.1	－
40歳代	84	29	38	15	2
	100.0	34.5	45.2	17.9	2.4
50歳代	97	32	45	15	5
	100.0	33.0	46.4	15.5	5.2
60歳代	107	35	50	17	5
	100.0	32.7	46.7	15.9	4.7
70歳代	74	21	27	23	3
	100.0	28.4	36.5	31.1	4.1
80歳以上	23	5	14	3	1
	100.0	21.7	60.9	13.0	4.3

（２）日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	32	19	9	3	1
	100.0	59.4	28.1	9.4	3.1
20歳代	58	35	13	10	－
	100.0	60.3	22.4	17.2	－
30歳代	78	36	26	15	1
	100.0	46.2	33.3	19.2	1.3
40歳代	84	28	34	20	2
	100.0	33.3	40.5	23.8	2.4
50歳代	97	28	41	23	5
	100.0	28.9	42.3	23.7	5.2
60歳代	107	33	49	20	5
	100.0	30.8	45.8	18.7	4.7
70歳代	74	11	28	32	3
	100.0	14.9	37.8	43.2	4.1
80歳以上	23	3	12	7	1
	100.0	13.0	52.2	30.4	4.3

（３）車いすが必要な人

（上段：人、下段：％）

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	32	12	11	8	1
	100.0	37.5	34.4	25.0	3.1
20歳代	58	22	26	10	－
	100.0	37.9	44.8	17.2	－
30歳代	78	13	43	22	－
	100.0	16.7	55.1	28.2	－
40歳代	84	16	39	27	2
	100.0	19.0	46.4	32.1	2.4
50歳代	97	14	43	35	5
	100.0	14.4	44.3	36.1	5.2
60歳代	107	14	49	39	5
	100.0	13.1	45.8	36.4	4.7
70歳代	74	2	30	36	6
	100.0	2.7	40.5	48.6	8.1
80歳以上	23	3	9	10	1
	100.0	13.0	39.1	43.5	4.3

（４）家族に精神障がいがある

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	32	16	10	6	－
	100.0	50.0	31.3	18.8	－
20歳代	58	26	20	12	－
	100.0	44.8	34.5	20.7	－
30歳代	78	13	41	24	－
	100.0	16.7	52.6	30.8	－
40歳代	84	14	35	33	2
	100.0	16.7	41.7	39.3	2.4
50歳代	97	20	39	33	5
	100.0	20.6	40.2	34.0	5.2
60歳代	107	22	33	47	5
	100.0	20.6	30.8	43.9	4.7
70歳代	74	6	25	39	4
	100.0	8.1	33.8	52.7	5.4
80歳以上	23	3	8	11	1
	100.0	13.0	34.8	47.8	4.3

（５）家族に遺伝を疑われる病気がある

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	32	6	19	7	－
	100.0	18.8	59.4	21.9	－
20歳代	58	21	21	16	－
	100.0	36.2	36.2	27.6	－
30歳代	78	19	37	22	－
	100.0	24.4	47.4	28.2	－
40歳代	84	11	42	29	2
	100.0	13.1	50.0	34.5	2.4
50歳代	97	10	48	34	5
	100.0	10.3	49.5	35.1	5.2
60歳代	107	15	43	44	5
	100.0	14.0	40.2	41.1	4.7
70歳代	74	7	26	37	4
	100.0	9.5	35.1	50.0	5.4
80歳以上	23	2	5	15	1
	100.0	8.7	21.7	65.2	4.3

（６）親族に犯罪歴のある人がいる

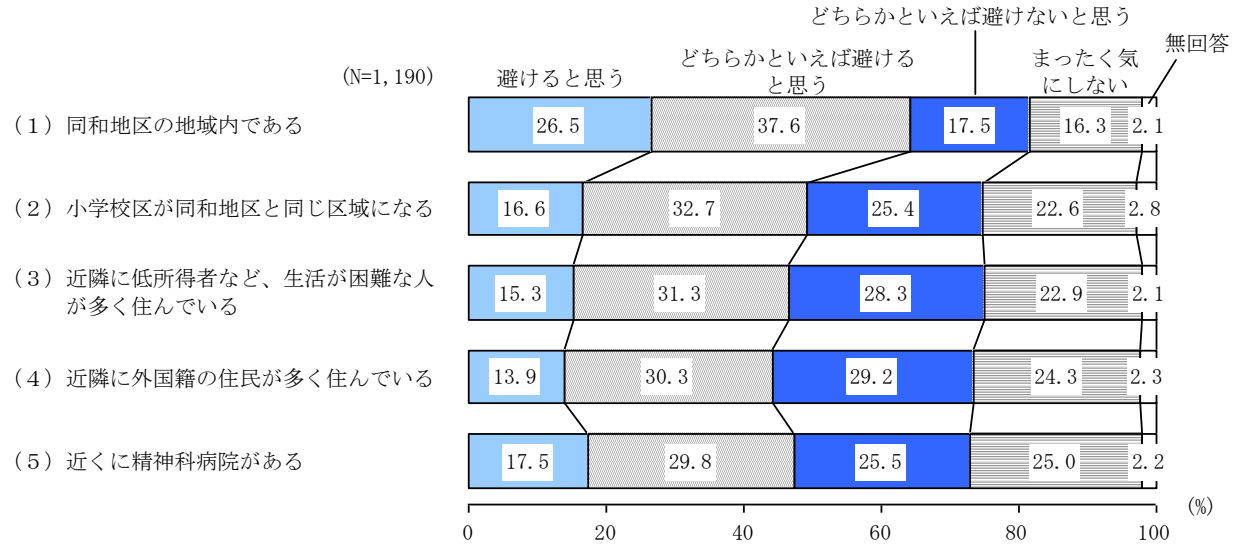
（上段：人、下段：％）

	調査数（N）	問題にしない	親としては反対だが子どもの意志が固ければ仕方ない	考え直すように言う	無回答
16～19歳	32	7	7	18	－
	100.0	21.9	21.9	56.3	－
20歳代	58	17	16	25	－
	100.0	29.3	27.6	43.1	－
30歳代	78	9	36	33	－
	100.0	11.5	46.2	42.3	－
40歳代	84	11	32	39	2
	100.0	13.1	38.1	46.4	2.4
50歳代	97	9	43	40	5
	100.0	9.3	44.3	41.2	5.2
60歳代	107	12	33	57	5
	100.0	11.2	30.8	53.3	4.7
70歳代	74	6	16	48	4
	100.0	8.1	21.6	64.9	5.4
80歳以上	23	1	3	18	1
	100.0	4.3	13.0	78.3	4.3

（４）住宅を選ぶ際の忌避意識

問５　あなたは、家を購入したり、マンションを借りたりするなど、住宅を選ぶ際に、価格や立地条件などが希望にあっていても、次のような物件の場合、避けることがあると思いますか。すべての場合についてお答えください。（それぞれ１つに○）

【図表３－４　住宅を選ぶ際の忌避意識】



＜全体＞

「避けると思う」「どちらかといえば避けると思う」を合わせた割合は、〔（１）同和地区の地域内である〕が 64.1％で最も高く、次いで〔（２）小学校区が同和地区と同じ区域になる〕（49.3％）となっている。（図表３－４）

＜性別＞

「避けると思う」「どちらかといえば避けると思う」を合わせた割合は、全ての項目で男性に比べ女性で高く、特に〔（５）近くに精神科病院がある〕では 11.4 ポイント高くなっている。（図表３－４－１）

＜年代別＞

「避けると思う」「どちらかといえば避けると思う」を合わせた割合は、〔（１）同和地区の地域内である〕と〔（２）小学校区が同和地区と同じ区域になる〕では高年層ほど高いのに対し、〔（３）近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる〕は若年層ほど高い傾向がみられる。（図表３－４－１）

【図表３－４－１　性別・年代別　住宅を選ぶ際の忌避意識①】

（１）同和地区の地域内である

		調査数（N）	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	まったく気にしない	無回答
性別	男性	529	133	192	95	101	8
		100.0	25.1	36.3	18.0	19.1	1.5
	女性	616	173	238	107	89	9
		100.0	28.1	38.6	17.4	14.4	1.5
年代別	16～19歳	70	11	28	14	16	1
		100.0	15.7	40.0	20.0	22.9	1.4
	20歳代	112	22	39	18	33	－
		100.0	19.6	34.8	16.1	29.5	－
	30歳代	152	37	57	29	28	1
		100.0	24.3	37.5	19.1	18.4	0.7
	40歳代	167	55	57	28	25	2
		100.0	32.9	34.1	16.8	15.0	1.2
	50歳代	171	51	60	31	26	3
		100.0	29.8	35.1	18.1	15.2	1.8
	60歳代	268	69	106	48	42	3
		100.0	25.7	39.6	17.9	15.7	1.1
	70歳代	197	55	76	31	30	5
		100.0	27.9	38.6	15.7	15.2	2.5
	80歳以上	57	14	27	10	3	3
		100.0	24.6	47.4	17.5	5.3	5.3

（２）小学校区が同和地区と同じ区域になる

（上段：人、下段：％）

		調査数（N）	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	まったく気にしない	無回答
性別	男性	529	82	165	134	138	10
		100.0	15.5	31.2	25.3	26.1	1.9
	女性	616	108	208	163	122	15
		100.0	17.5	33.8	26.5	19.8	2.4
年代別	16～19歳	70	8	23	17	21	1
		100.0	11.4	32.9	24.3	30.0	1.4
	20歳代	112	15	33	26	38	－
		100.0	13.4	29.5	23.2	33.9	－
	30歳代	152	26	45	46	34	1
		100.0	17.1	29.6	30.3	22.4	0.7
	40歳代	167	38	45	44	38	2
		100.0	22.8	26.9	26.3	22.8	1.2
	50歳代	171	27	60	44	37	3
		100.0	15.8	35.1	25.7	21.6	1.8
	60歳代	268	36	88	80	58	6
		100.0	13.4	32.8	29.9	21.6	2.2
	70歳代	197	34	67	44	43	9
		100.0	17.3	34.0	22.3	21.8	4.6
	80歳以上	57	13	25	7	8	4
		100.0	22.8	43.9	12.3	14.0	7.0

（３）近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる

		調査数（N）	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	まったく気にしない	無回答
性別	男性	529	74	164	140	142	9
		100.0	14.0	31.0	26.5	26.8	1.7
	女性	616	98	200	188	121	9
		100.0	15.9	32.5	30.5	19.6	1.5
年代別	16～19歳	70	16	26	16	11	1
		100.0	22.9	37.1	22.9	15.7	1.4
	20歳代	112	23	37	28	24	－
		100.0	20.5	33.0	25.0	21.4	－
	30歳代	152	33	49	40	29	1
		100.0	21.7	32.2	26.3	19.1	0.7
	40歳代	167	34	54	36	41	2
		100.0	20.4	32.3	21.6	24.6	1.2
	50歳代	171	26	54	52	37	2
		100.0	15.2	31.6	30.4	21.6	1.2
	60歳代	268	18	86	90	71	3
		100.0	6.7	32.1	33.6	26.5	1.1
	70歳代	197	27	57	58	48	7
		100.0	13.7	28.9	29.4	24.4	3.6
	80歳以上	57	8	18	19	9	3
		100.0	14.0	31.6	33.3	15.8	5.3

（４）近隣に外国籍の住民が多く住んでいる

（上段：人、下段：％）

		調査数（N）	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	まったく気にしない	無回答
性別	男性	529	76	150	161	132	10
		100.0	14.4	28.4	30.4	25.0	1.9
	女性	616	81	205	178	142	10
		100.0	13.1	33.3	28.9	23.1	1.6
年代別	16～19歳	70	6	23	22	18	1
		100.0	8.6	32.9	31.4	25.7	1.4
	20歳代	112	17	33	25	37	－
		100.0	15.2	29.5	22.3	33.0	－
	30歳代	152	31	54	39	27	1
		100.0	20.4	35.5	25.7	17.8	0.7
	40歳代	167	30	45	49	41	2
		100.0	18.0	26.9	29.3	24.6	1.2
	50歳代	171	20	57	55	37	2
		100.0	11.7	33.3	32.2	21.6	1.2
	60歳代	268	23	85	87	70	3
		100.0	8.6	31.7	32.5	26.1	1.1
	70歳代	197	28	61	53	46	9
		100.0	14.2	31.0	26.9	23.4	4.6
	80歳以上	57	9	15	19	11	3
		100.0	15.8	26.3	33.3	19.3	5.3

【図表３－４－１　性別・年代別　住宅を選ぶ際の忌避意識②】

（５）近くに精神科病院がある

（上段：人、下段：％）

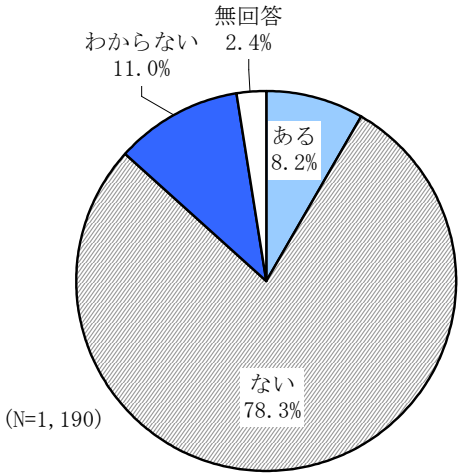
		調査数（N）	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	まったく気にしない	無回答
性別	男性	529	85	134	146	155	9
		100.0	16.1	25.3	27.6	29.3	1.7
	女性	616	118	207	150	131	10
		100.0	19.2	33.6	24.4	21.3	1.6
年代別	16～19歳	70	12	22	10	24	2
		100.0	17.1	31.4	14.3	34.3	2.9
	20歳代	112	28	33	20	30	1
		100.0	25.0	29.5	17.9	26.8	0.9
	30歳代	152	37	49	30	35	1
		100.0	24.3	32.2	19.7	23.0	0.7
	40歳代	167	38	50	43	34	2
		100.0	22.8	29.9	25.7	20.4	1.2
	50歳代	171	32	54	48	35	2
		100.0	18.7	31.6	28.1	20.5	1.2
	60歳代	268	29	78	86	73	2
		100.0	10.8	29.1	32.1	27.2	0.7
	70歳代	197	31	54	52	53	7
		100.0	15.7	27.4	26.4	26.9	3.6
	80歳以上	57	7	16	10	21	3
		100.0	12.3	28.1	17.5	36.8	5.3

４．人権侵害を受けた経験について

（１）過去５年間に人権侵害を感じたことの有無

問６　あなたは、過去５年間に自分の人権を侵害されたと感じたことがありますか。 （○は１つ）

【図表４－１　過去５年間に人権侵害を感じたことの有無】



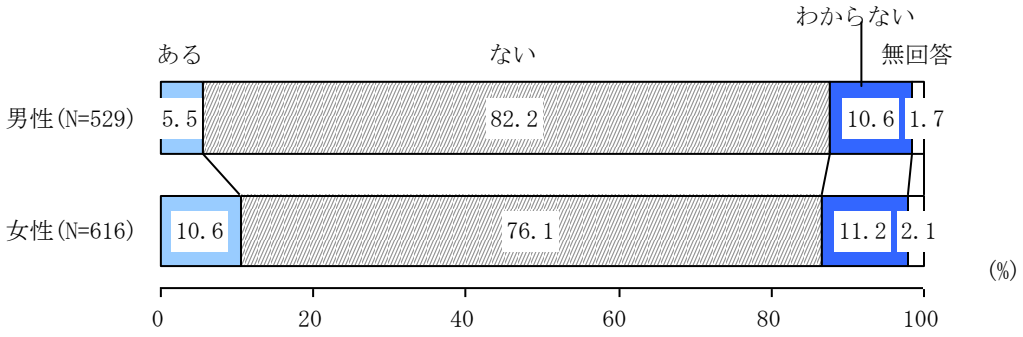
＜全体＞

過去５年間に自分の人権を侵害されたと感じたことが「ない」が 78.3%を占めているのに対し、「ある」は 8.2%と少ない。（図表４－１）

＜性別＞

過去５年間に自分の人権を侵害されたと感じたことが「ある」の割合は男性（5.5%）に比べ女性（10.6%）のほうがやや高い。（図表４－１－１）

【図表４－１－１　性別　過去５年間に人権侵害を感じたことの有無】



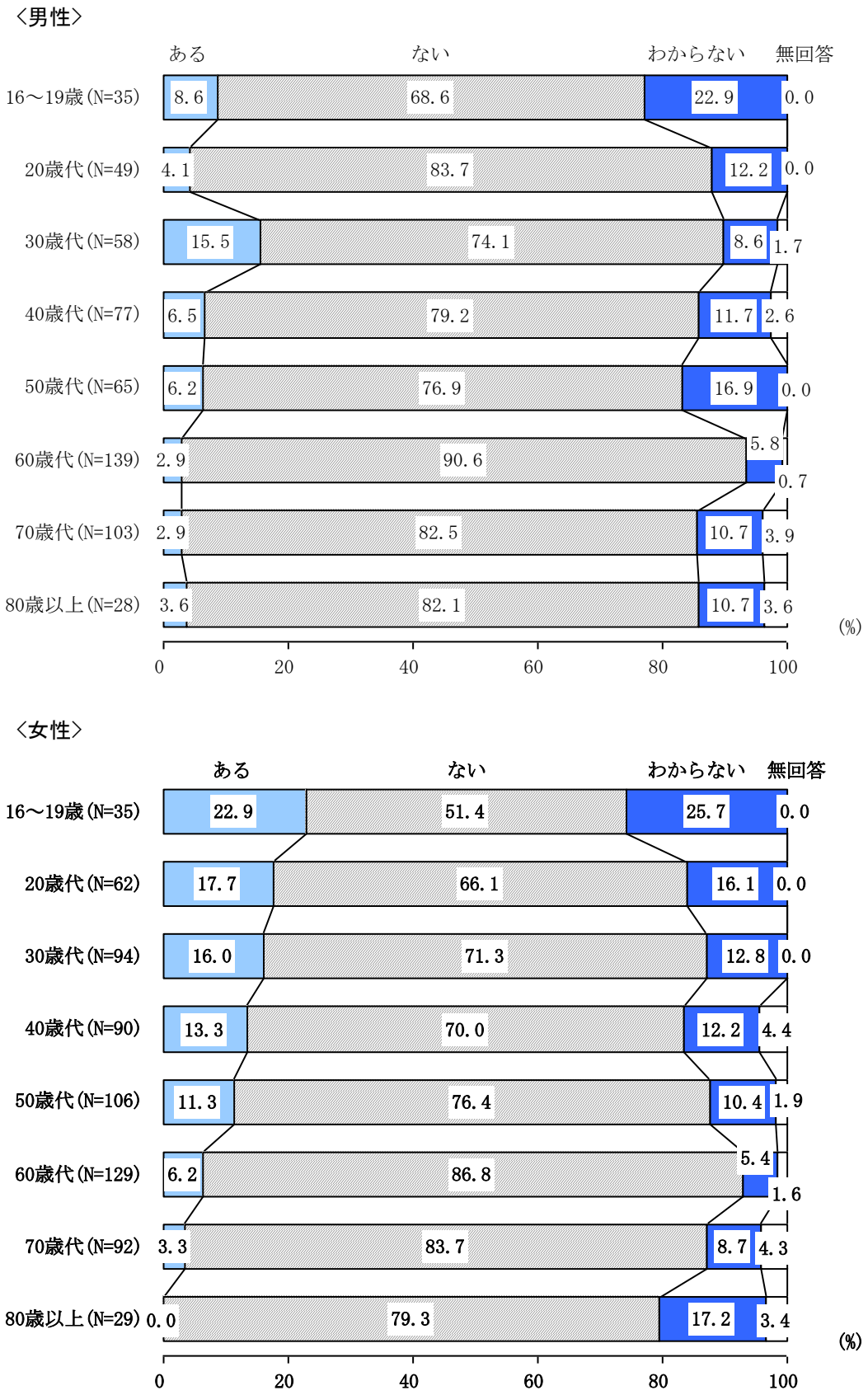
＜性年代別＞

男性の場合、自分の人権を侵害されたと感じたことが「ある」の割合は、30 歳代が 15.5%と最も高く、次いで 16～19 歳（8.6%）、40 歳代（6.5%）の順で高くなっている。

一方、女性の場合の「ある」の割合が若年層ほど高く、特に 16～19 歳では 22.9%と最も高くなっている。（図表４－１－２）

また、80 歳以上を除く各年代の「ある」の割合は男性に比べ女性のほうが高くなっている。（図表４－１－２）

【図表４－１－２　性年代別　過去５年間に人権侵害を感じたことの有無】

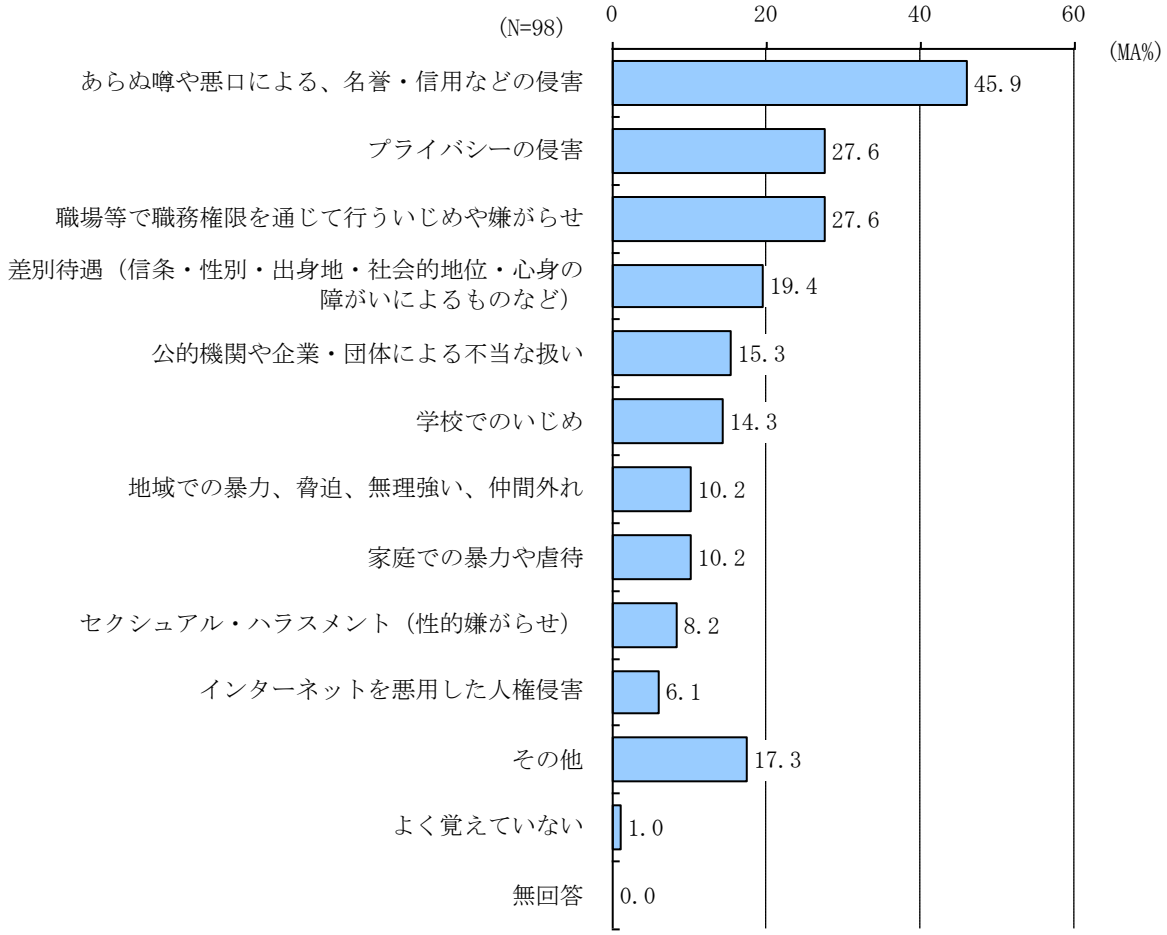


（２）人権侵害と感じた内容

問６－１　問６で「１.ある」と回答された方にお聞きします。人権を侵害されたと感じたものすべてに○を付け、その中で、あなたが最も深く傷ついた人権侵害１つに◎を付けてください。

①人権侵害と感じた内容（複数回答）

【図表４－２①　人権侵害と感じた内容】



＜全体＞

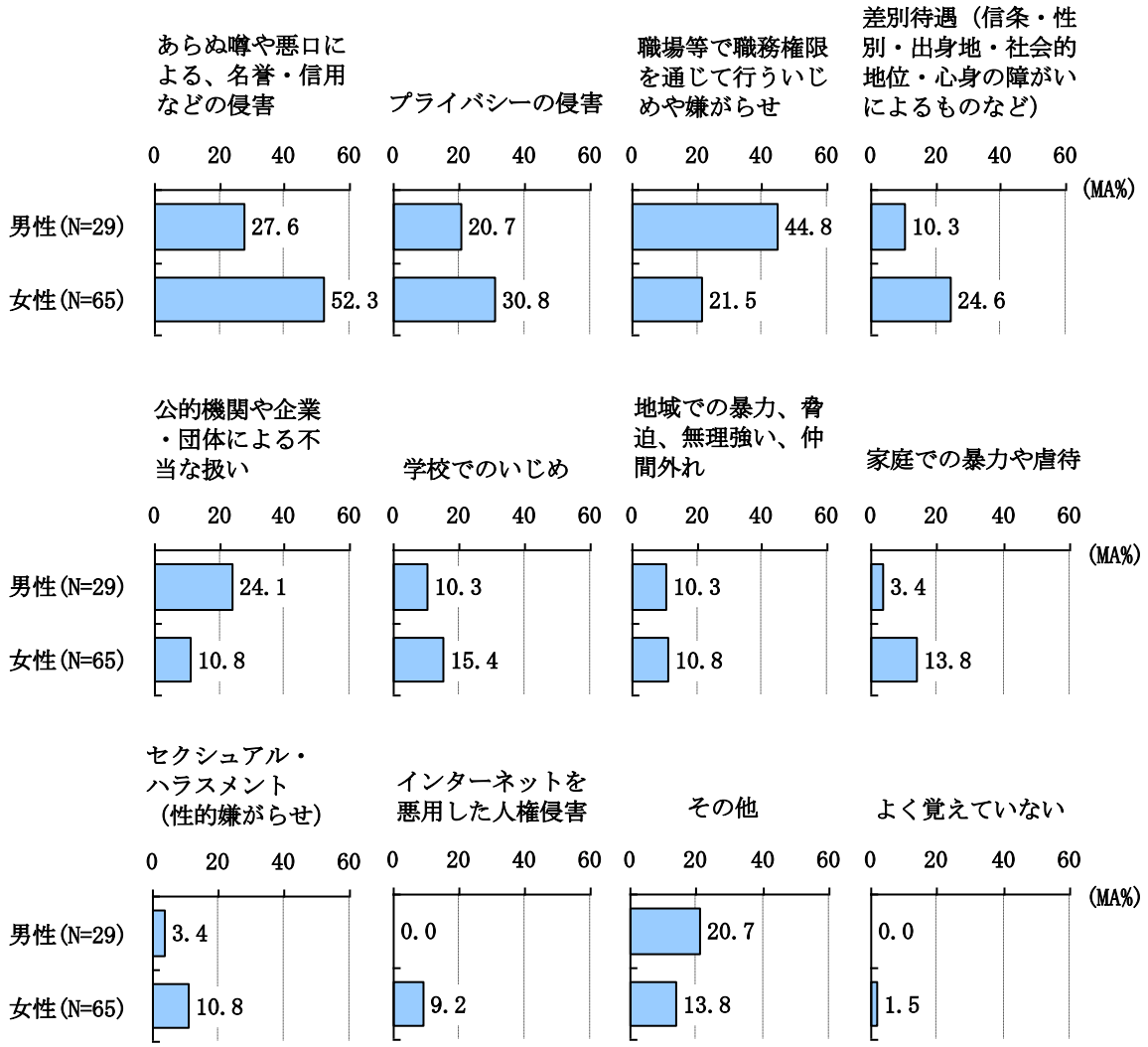
問６で「(人権侵害を感じた経験が）ある」と回答した人に、その内容をたずねたところ、「あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害」が 45.9%で最も高い。これに次いで「プライバシーの侵害」と「職場等で職務制限を通じて行ういじめや嫌がらせ」(ともに 27.6%)で、以下、「差別待遇（信条・性別・出身地・社会的地位・心身の障がいによるものなど)」(19.4%)、「公的機関や企業・団体による不当な扱い」(15.3%)、「学校でのいじめ」(14.3%)の順で高くなっている。(図表４－２①)

＜性別＞

男性では、「職場等で職務権限を通して行ういじめや嫌がらせ」が 44.8%で最も高く、次いで「あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害」(27.6%)、「公的機関や企業・団体による不当な扱い」(24.1%) の順で高くなっている。また、女性の割合に比べ、「職場等で職務権限を通して行ういじめや嫌がらせ」は 23.3 ポイント、「公的機関や企業・団体による不当な扱い」は 13.3 ポイント、男性のほうが高くなっている。(図表４－２①－１)

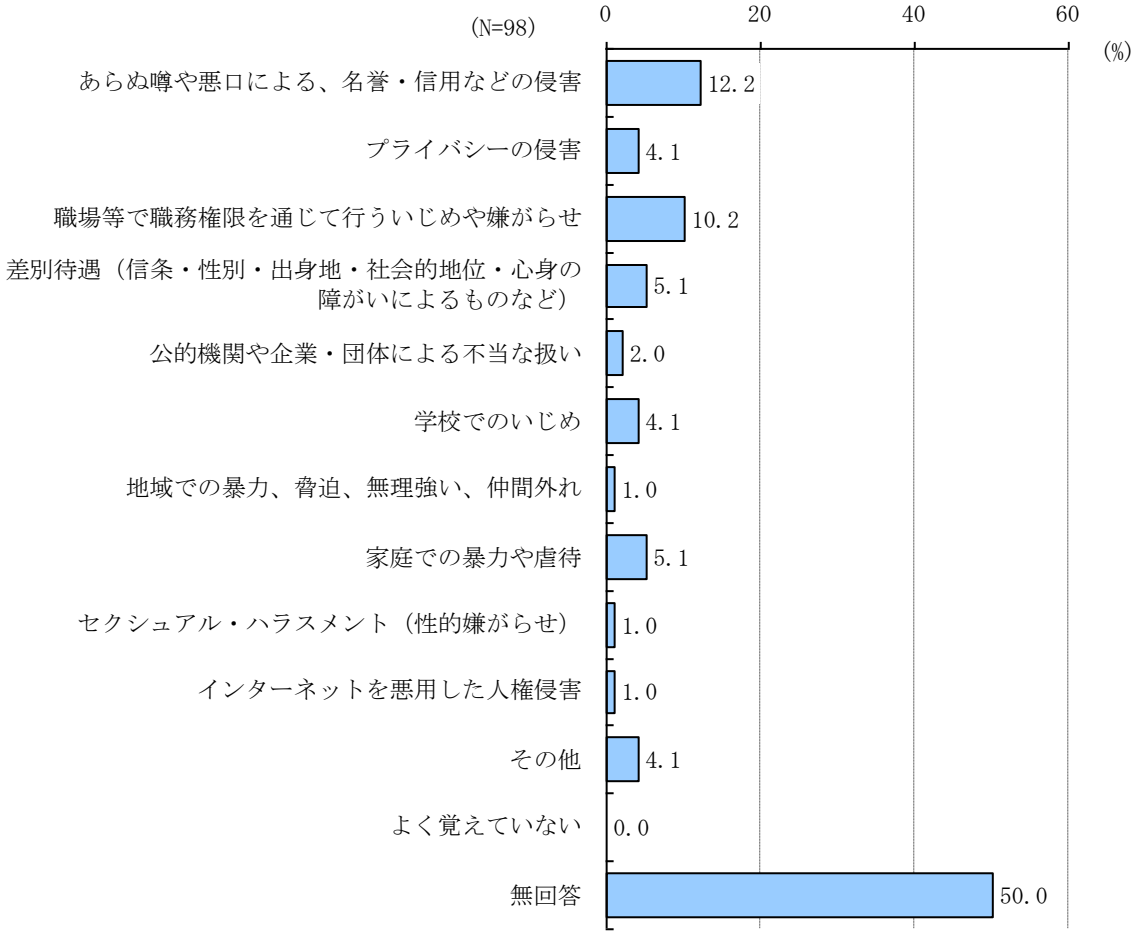
一方、女性では「あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害」が 52.3%で最も高く、次いで「プライバシーの侵害」(30.8%)、「差別待遇（信条・性別・出身地・社会的地位・心身の障がいによるものなど)」(24.6%) の順で高くなっている。また、男性の割合に比べ、「あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害」は 24.7 ポイント、「差別待遇（信条・性別・出身地・社会的地位・心身の障がいによるものなど)」は 14.3 ポイント、「家庭での暴力や虐待」は 10.4 ポイント、「プライバシーの侵害」は 10.1 ポイント、「インターネットを悪用した人権侵害」は 9.2 ポイント、「セクシャル・ハラスメント（性的嫌がらせ)」は 7.4 ポイント、「学校でのいじめ」は 5.1 ポイント、女性のほうが高くなっている。(図表４－２①－１)

【図表４－２①－１　性別　人権侵害と感じた内容】



②最も深く傷ついた人権侵害の内容（単一回答）

【図表４－２②　最も深く傷ついた人権侵害の内容】



＜全体＞

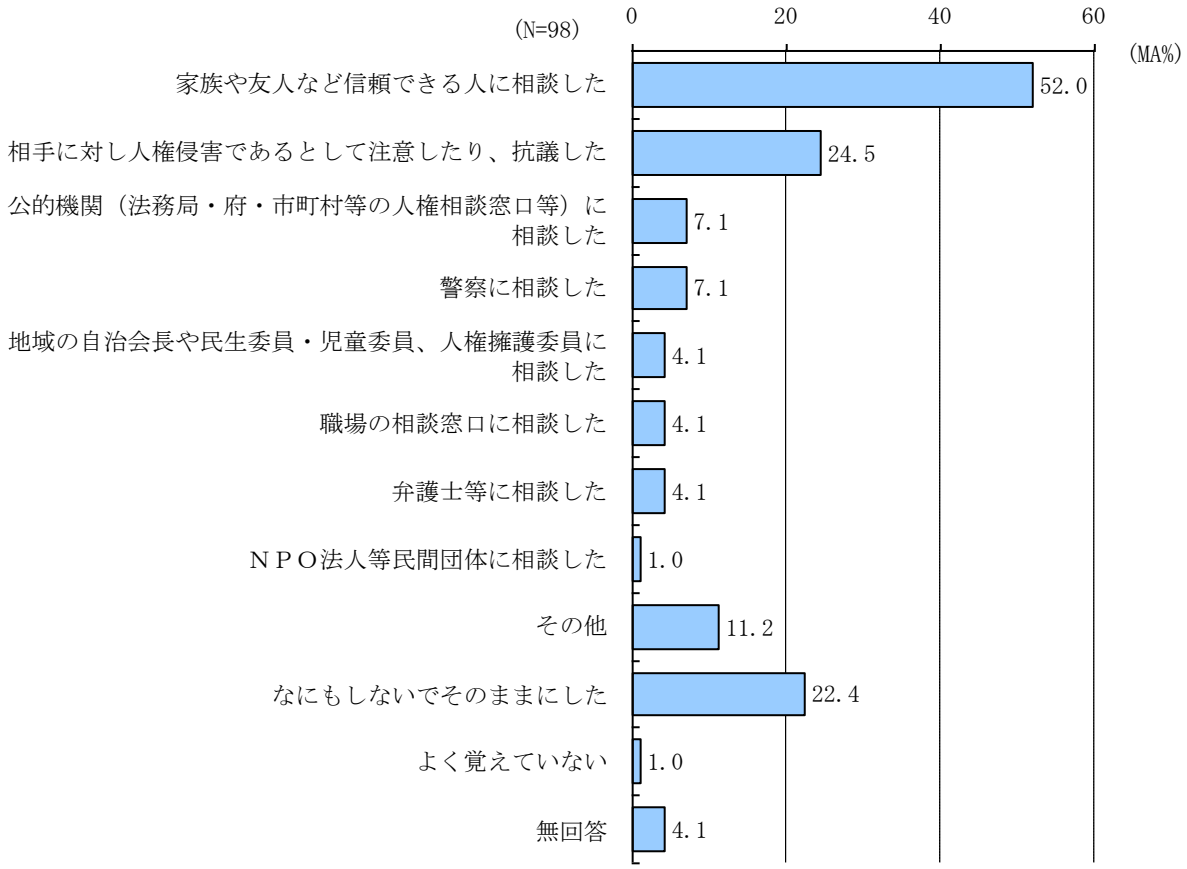
最も深く傷ついた人権侵害の内容は、「あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害」が 12.2%で最も高く、次いで「職場等で職務制限を通じて行ういじめや嫌がらせ」（10.2%）となっている。（図表４－２②）

（３）人権侵害を受けたと感じたときの対応

問６－２　人権侵害を受けたと感じた際、あなたが対応されたことすべてに○を付け、その中で、一番最初に行ったこと１つに◎を付けてください。

①人権侵害を受けたと感じたときの対応（複数回答）

【図表４－３①　人権侵害を受けたと感じたときの対応】



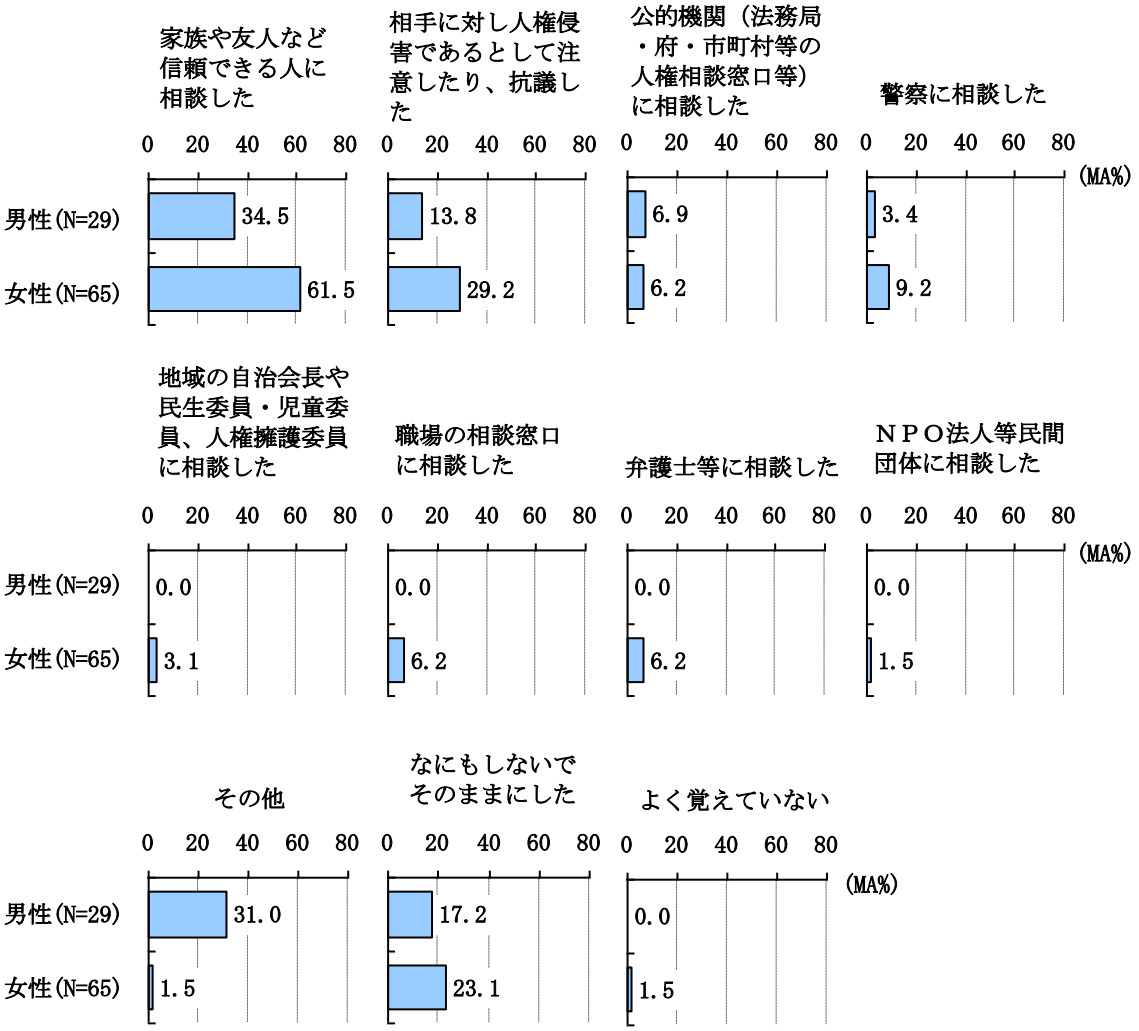
＜全体＞

人権侵害を受けたと感じた際の対応は、「家族や友人など信頼できる人に相談した」が52.0％で最も高く、次いで「相手に対し人権侵害であるとして注意したり、抗議した」(24.5％)となっている。一方、「なにもしないでそのままにした」は22.4％である。(図表４－３①)

＜性別＞

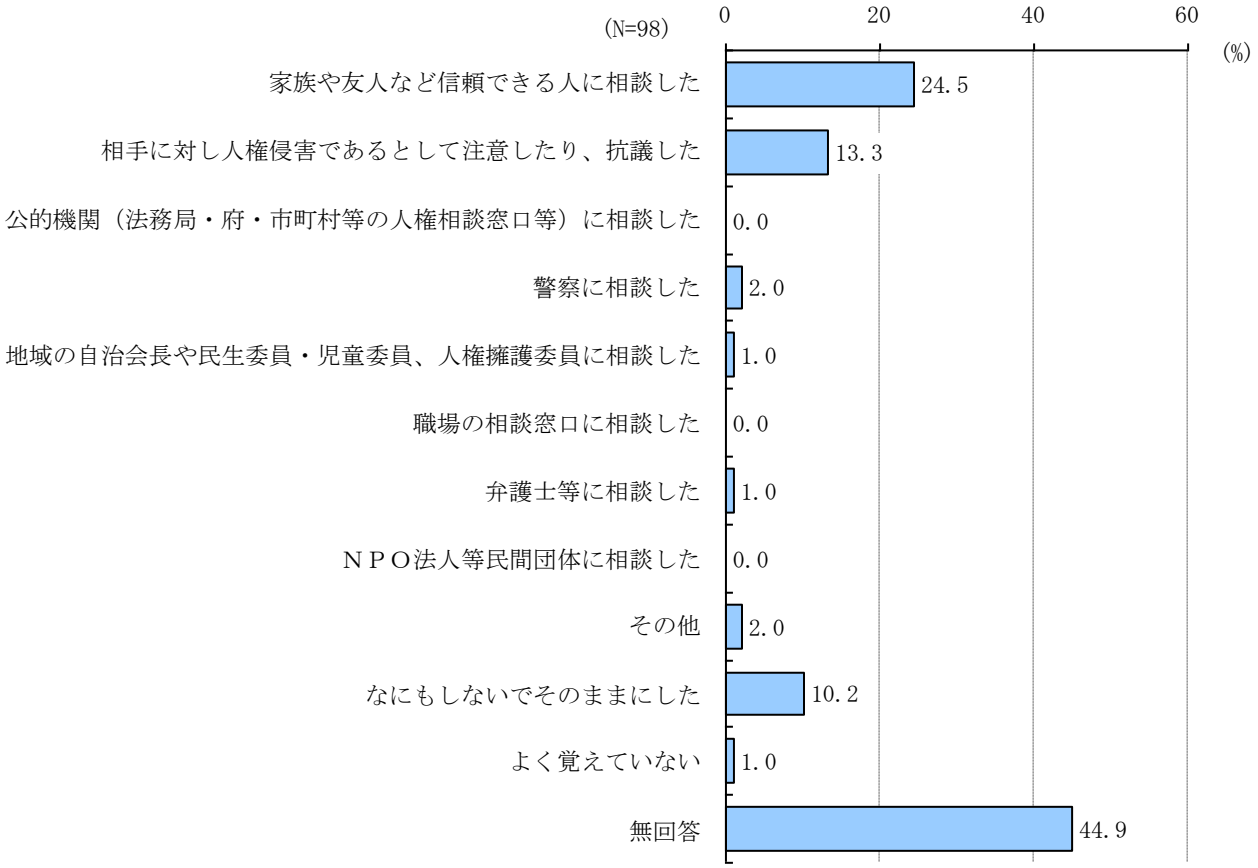
男性の割合に比べ、「家族や友人など信頼できる人に相談した」では 27.0 ポイント、「相手に対し人権侵害であるとして注意したり、抗議した」では15.4ポイント、女性のほうが高くなっている。(図表４－３①－１)

【図表４－３①－１　性別　人権侵害を受けたと感じたときの対応】



②人権侵害を受けたと感じたときに一番最初に行った対応（単一回答）

【図表４－３②　人権侵害を受けたと感じたときに一番最初に行った対応】



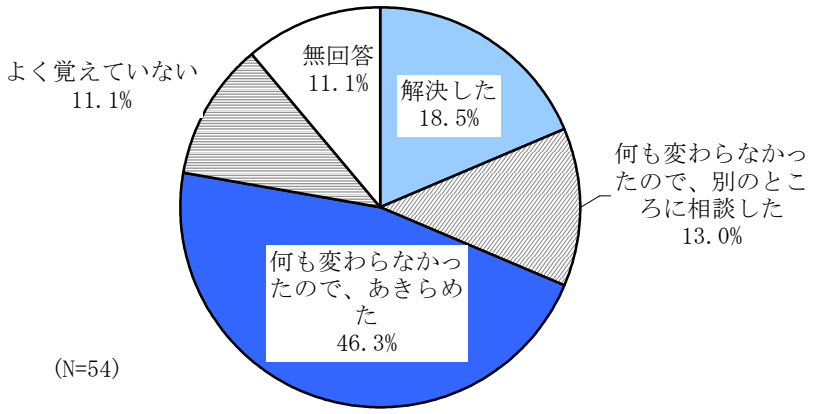
＜全体＞

人権侵害を受けたと感じた際、一番最初に行った対応は、「家族や友人など信頼できる人に相談した」が 24.5%で最も高く、次いで「相手に対し人権侵害であるとして注意したり、抗議した」（13.3%）となっている。（図表４－３②）

（４）人権侵害を受けたと感じたときに一番最初に行った対応による解決状況

問６－３　問６－２の一番最初に行った対応（◎印）で、人権問題は解決しましたか。（○は１つ）

【図表４－４　人権侵害を受けたと感じたときに一番最初に行った対応による解決状況】



＜全体＞

人権侵害を受けたと感じた際、一番最初に行った対応によりその問題が解決したかたずねたところ、「何も変わらなかったので、あきらめた」が 46.3%を占めている。これに対し「解決した」は 18.5%となっている。（図表４－４）

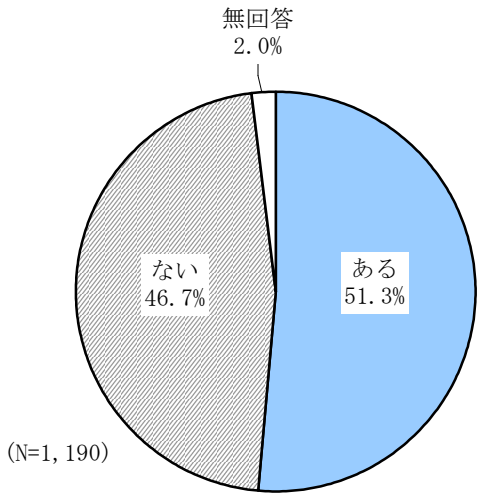
５．同和問題や人権に関する学習について

（１）学校教育における同和問題に関する学習の状況

①小学校から高校の間での同和問題教育の学習経験

問７　あなたは、小学校から高校の間に、同和問題（部落差別）に関する教育を受けたことがありますか。（○は１つ）

【図表５－１①　小学校から高校の間での同和問題教育の学習経験】



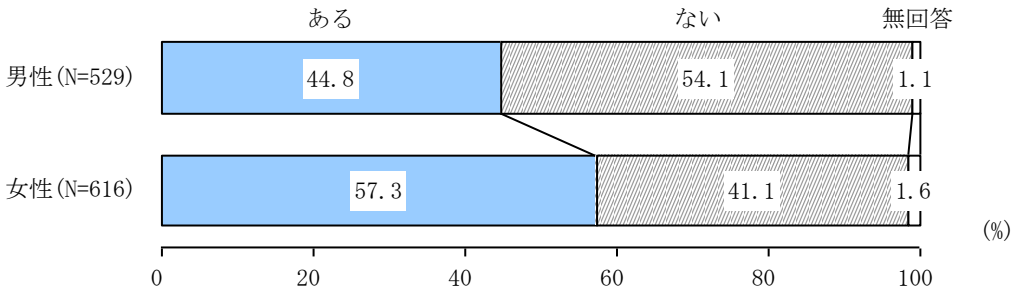
＜全体＞

小学校から高校までの間で同和問題（部落差別）に関する教育を受けた経験が「ある」が51.3%で過半数を占めている。（図表５－１①）

＜性別＞

教育を受けた経験が「ある」の割合は男性 44.8%に対し、女性 57.3%で、女性のほうが12.5ポイント高い。（図表５－１①－１）

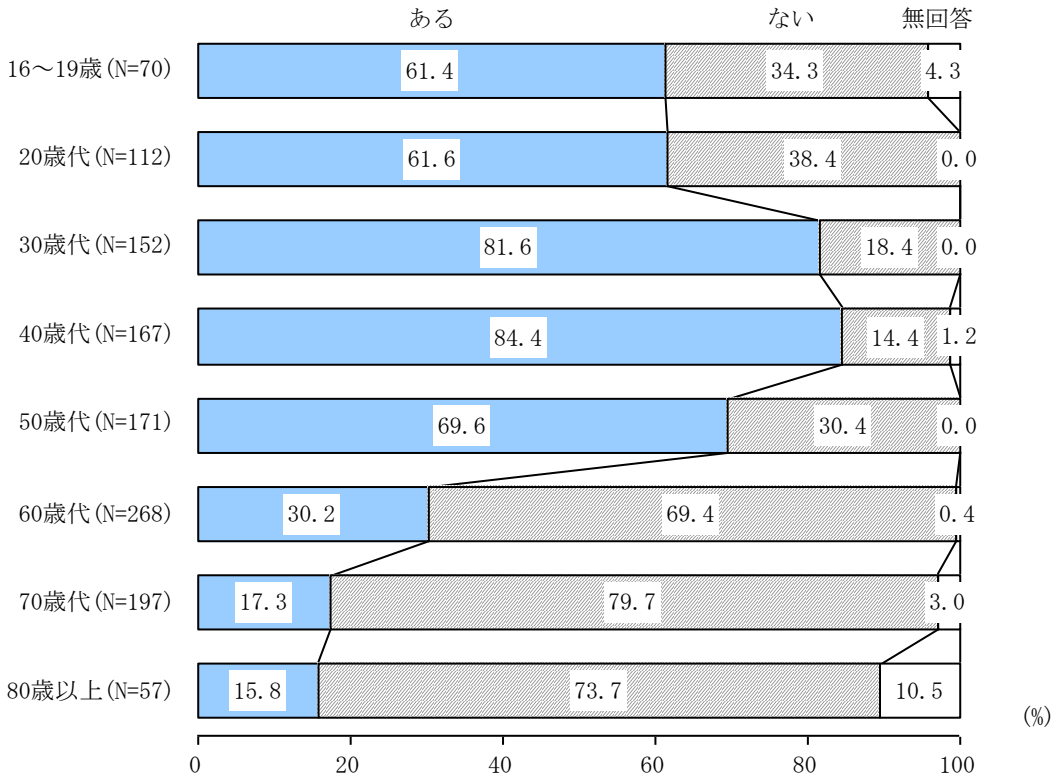
【図表５－１①－１　性別　小学校から高校の間での同和問題教育の学習経験】



＜性年代別＞

教育を受けた経験が「ある」の割合は、40 歳代が 84.4％で最も高く、次いで 30 歳代が 81.6％で８割を超えている。一方、60 歳以上の各年代では教育を受けた経験が「ない」の割合が５割以上を占めている。（図表５－１①－２）

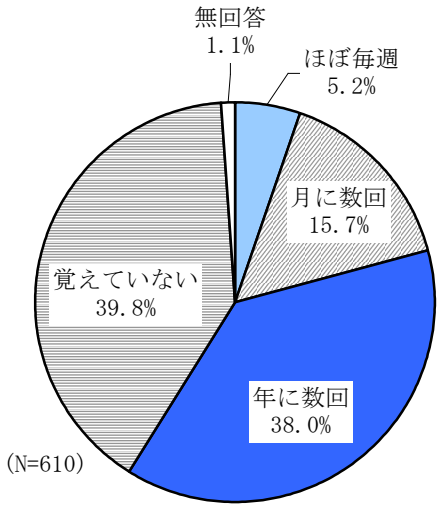
【図表５－１①－２　年代別　小学校から高校の間での同和問題教育の学習経験】



②学校で同和問題教育を受けた回数

問７－１　問７で「１.ある」と回答された方にお聞きします。その教育をどの程度、受けましたか。最も多く受けた時期について、お答えください。（○は１つ）

【図表５－１②　学校で同和問題教育を受けた回数】



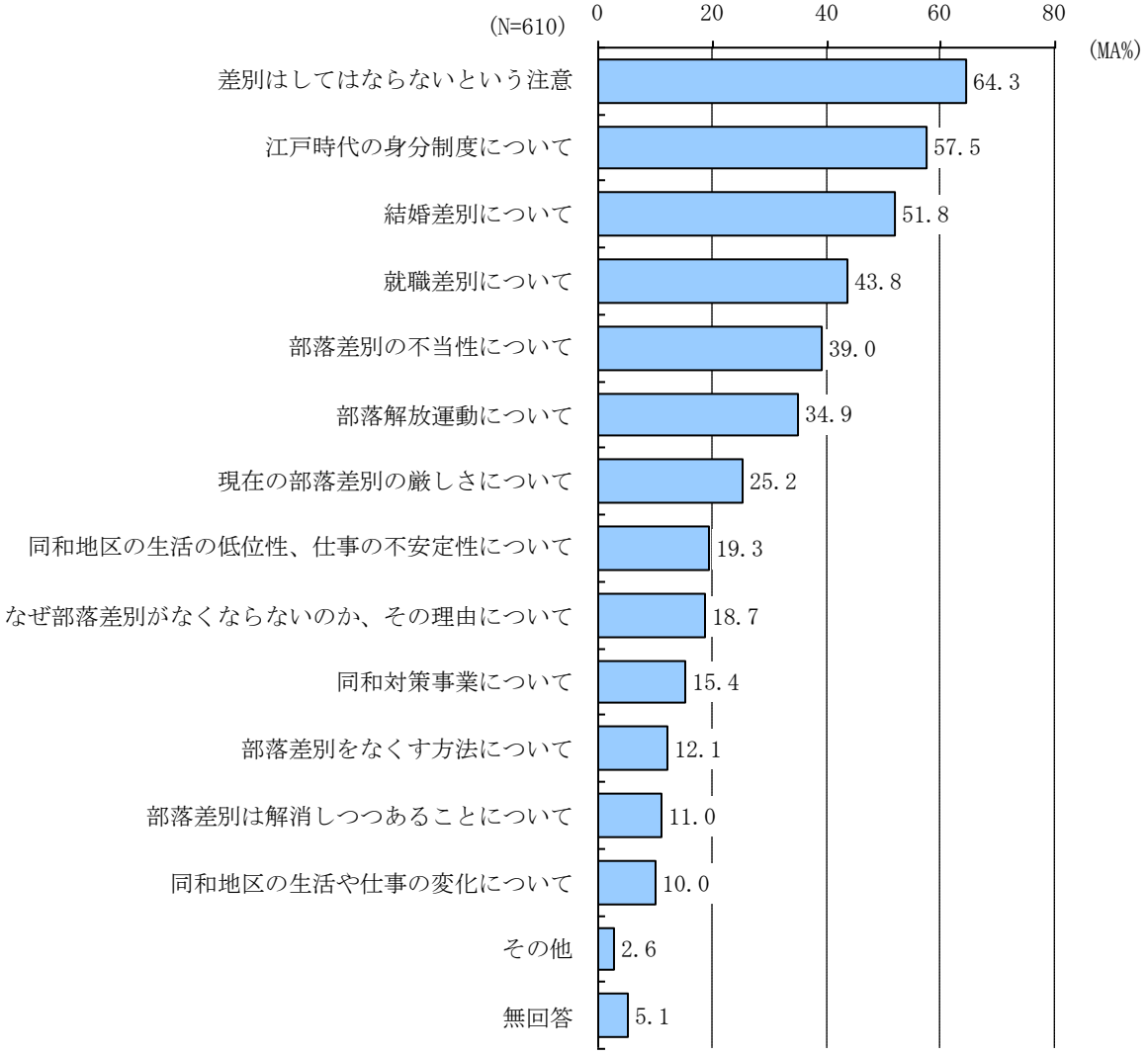
＜全体＞

学校で同和問題（部落差別）に関する教育を受けた経験のある人の受けた回数は、「年に数回」が 38.0%となっている。（図表５－１②）

③同和問題教育の内容

問７－２　どういう内容を教わりましたか。（○はいくつでも）

【図表５－１③　部落教育の内容】



＜全体＞

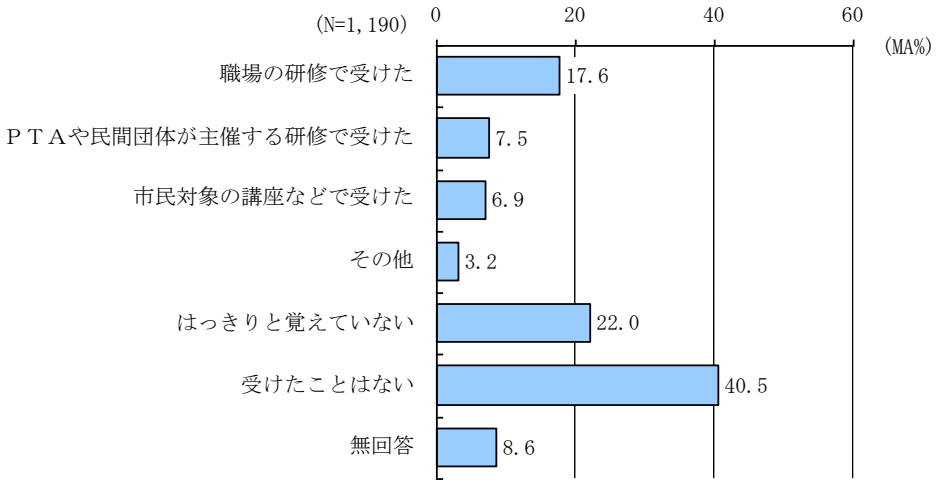
学校で同和問題（部落差別）に関する教育を受けた経験のある人が受けた教育の内容は、「差別してはならないという注意」が 64.3％で最も高くなっている。これに次いで「江戸時代の身分制度について」（57.5％）、「結婚差別について」（51.8％）の順で高くなっている。（図表５－１③）

（２）小・中・高校以外の場での人権学習の状況

①小・中・高校以外の場での人権学習の経験

問８　あなたは、小・中・高校以外の場で、人権問題についての学習を経験したことがありますか。（○はいくつでも）

【図表５－２①　小・中・高校以外の場での人権学習の経験】



＜全体＞

小・中・高校以外の場での人権学習をみると、「受けたことはない」が 40.5%で最も高くなっている。（図表５－２①）

受けた経験のある人では、「職場の研修で受けた」が 17.6%で最も高く、次いで「ＰＴＡや民間団体が主催する研修で受けた」が 7.5%、「市民対象の講座などで受けた」は 6.9%となっている。（図表５－２①）

＜性別＞

男女とも「職場の研修で受けた」の割合が最も高く、女性（14.3%）に比べ男性（22.1%）の割合のほうが 7.8 ポイント高い。女性の場合、「ＰＴＡや民間団体が主催する研修で受けた」が男性に比べ 5.0 ポイント高くなっている。（図表５－２①－１）

＜年代別＞

学習を受けた経験のある人の割合は、50～70 歳代で高くなっている。（図表５－２①－１）

【図表５－２①－１　性別・年代別　小・中・高校以外の場での人権学習の経験】

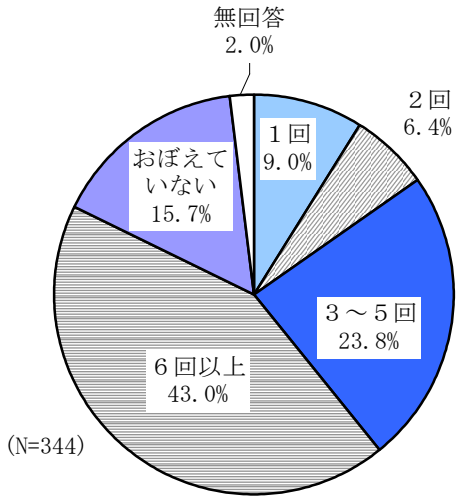
（上段：人、下段：％）

		調査数（N）	市民対象の講座などで受けた	職場の研修で受けた	ＰＴＡや民間団体が主催する研修で受けた	その他	はっきりと覚えていない	受けたことはない	無回答
性別	男性	529	34	117	25	20	115	211	36
		100.0	6.4	22.1	4.7	3.8	21.7	39.9	6.8
	女性	616	44	88	60	18	143	253	53
		100.0	7.1	14.3	9.7	2.9	23.2	41.1	8.6
年代別	16～19歳	70	－	2	1	1	16	45	5
		100.0	－	2.9	1.4	1.4	22.9	64.3	7.1
	20歳代	112	1	13	2	7	26	55	8
		100.0	0.9	11.6	1.8	6.3	23.2	49.1	7.1
	30歳代	152	3	22	2	5	44	75	3
		100.0	2.0	14.5	1.3	3.3	28.9	49.3	2.0
	40歳代	167	6	25	13	7	50	67	6
		100.0	3.6	15.0	7.8	4.2	29.9	40.1	3.6
	50歳代	171	15	46	22	5	37	52	9
		100.0	8.8	26.9	12.9	2.9	21.6	30.4	5.3
	60歳代	268	28	66	27	13	58	89	17
		100.0	10.4	24.6	10.1	4.9	21.6	33.2	6.3
	70歳代	197	23	29	18	1	28	85	30
		100.0	11.7	14.7	9.1	0.5	14.2	43.1	15.2
	80歳以上	57	2	6	2	1	7	26	14
		100.0	3.5	10.5	3.5	1.8	12.3	45.6	24.6

②人権学習への参加回数

問８－１　問８で「１～４」のいずれかに回答された方にお聞きします。あなたは、人権問題に関する学習に今までに合計して何回ぐらい参加されましたか。（○は１つ）

【図表５－２②　人権学習への参加回数】



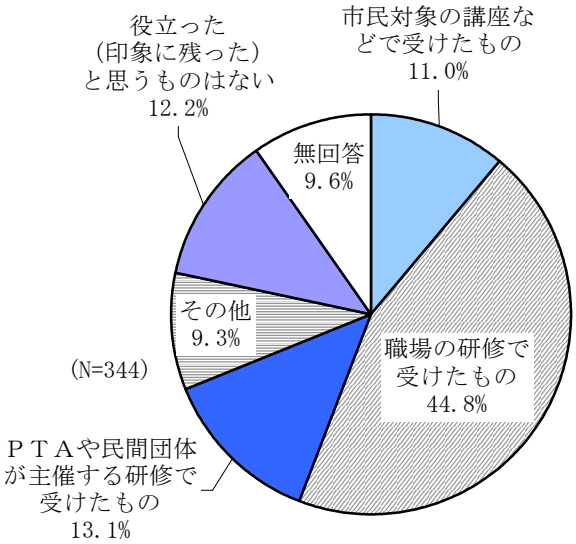
＜全体＞

問８で「職場の研修で受けた」「ＰＴＡや民間団体が主催する研修で受けた」「市民対象の講座などで受けた」「その他」のいずれかを回答した人の人権学習への参加回数は、「６回以上」が 43.0％で最も高く、次いで「３～５回」（23.8％）となっている。（図表５－２②）

③役に立った（印象に残った）学習方法

問８－２　問８で「１～４」のいずれかに回答された方にお聞きします。その中で、あなたの人権意識を高めるうえでとくに役に立った（いちばん印象に残っている）ものはどれですか。（○は１つ）

【図表５－２③　役に立った（印象に残った）学習方法】



＜全体＞

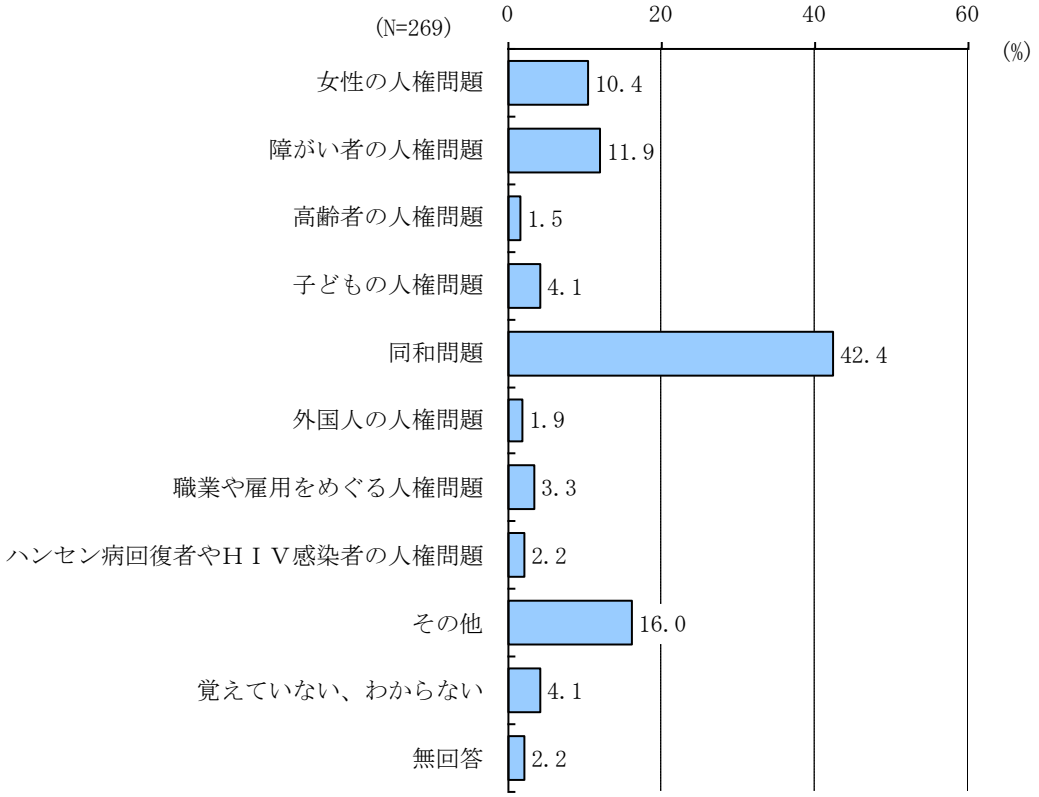
問８で「職場の研修で受けた」「ＰＴＡや民間団体が主催する研修で受けた」「市民対象の講座などで受けた」「その他」のいずれかを回答した人にとって役に立った（印象に残った）学習方法は、「職場の研修で受けたもの」が 44.8%で最も高く、次いで「ＰＴＡや民間団体が主催する研修で受けたもの」が 13.1%、「市民対象の講座などで受けたもの」は 11.0%となっている。（図表５－２③）

④役に立った（印象に残った）学習分野・形式

問８－３　あなたの人権意識を高めるうえでとくに役に立った（いちばん印象に残っている）ものは、どのような分野でしたか。また、どのような形式でしたか。それぞれについてお答えください。（それぞれ○は１つ）

（ア）役に立った（印象に残った）学習分野

【図表５－２④－１　役に立った（印象に残った）学習分野】

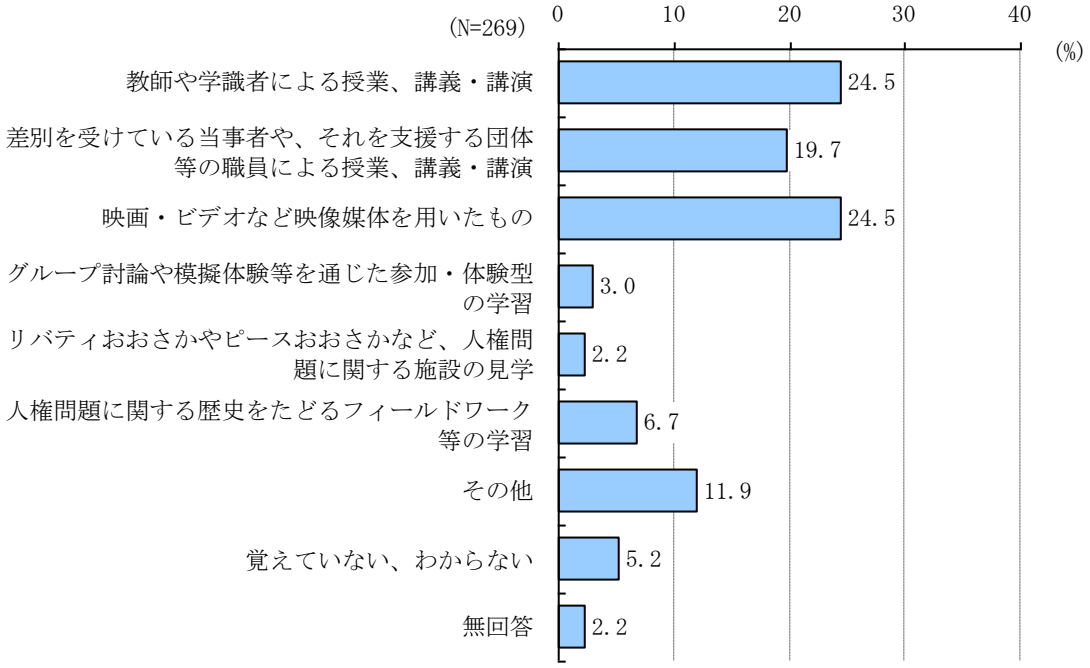


＜全体＞

問８で「職場の研修で受けた」「ＰＴＡや民間団体が主催する研修で受けた」「市民対象の講座などで受けた」「その他」のいずれかを回答した人にとって役に立った（印象に残った）学習分野は、「同和問題」が 42.4％と最も高く、次いで「障がい者の人権問題」（11.9％）、「女性の人権問題」（10.4％）となっている。（図表５－２④－１）

（イ）役に立った（印象に残った）学習形式

【図表５－２④－２　役に立った（印象に残った）学習形式】



＜全体＞

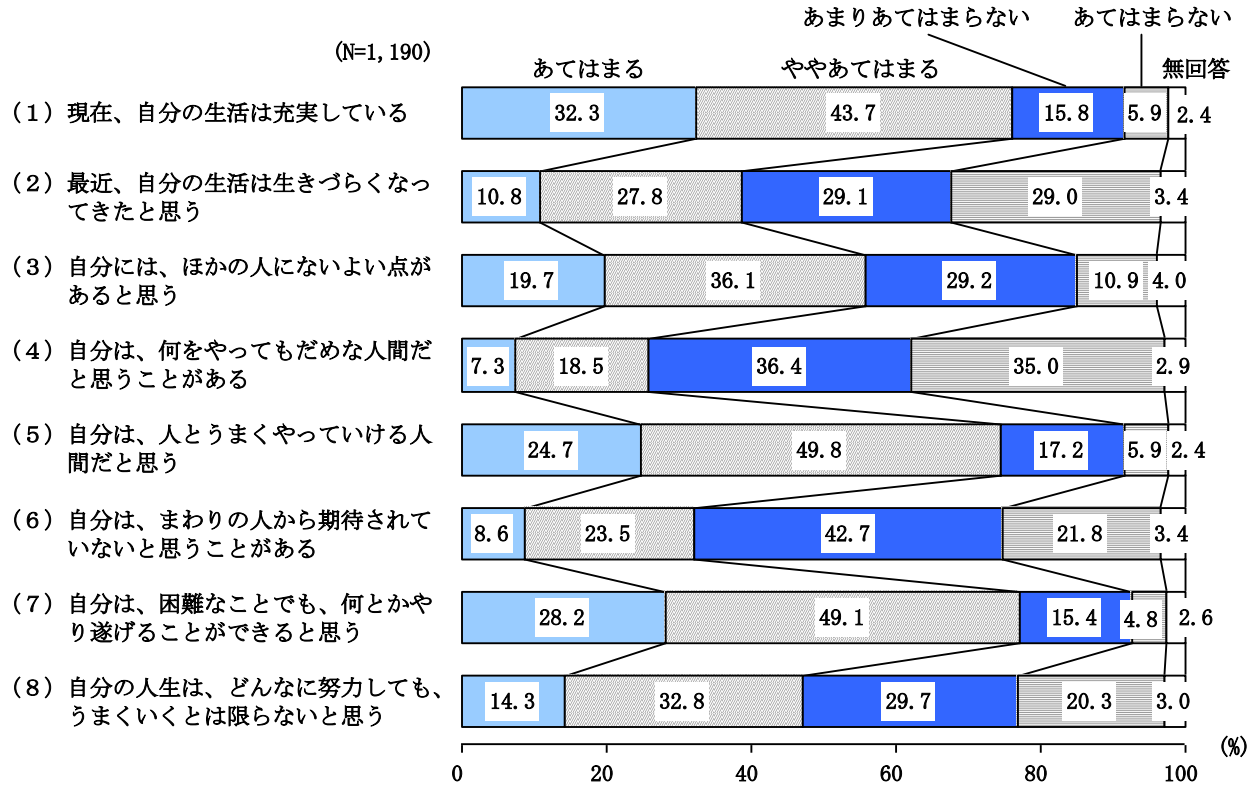
問８で「職場の研修で受けた」「ＰＴＡや民間団体が主催する研修で受けた」「市民対象の講座などで受けた」「その他」のいずれかを回答した人にとって役に立った（印象に残った）学習形式は、「教師や学識者による授業、講義・講演」と「映画・ビデオなど映像媒体を用いたもの」（ともに 24.5%）が最も高く、次いで「差別を受けている当事者や、それを支援する団体等の職員による授業、講義・講演」（19.7%）となっている。（図表５－２④－２）

６．自尊感情、対人関係における受容感

（１）自尊感情

問９　あなたが、自分自身をどのように思っているかを、ありのままお答えください。次の（１）～（８）のすべてについてお答えください。（それぞれ１つに○）

【図表６－１　自尊感情】



＜全体＞

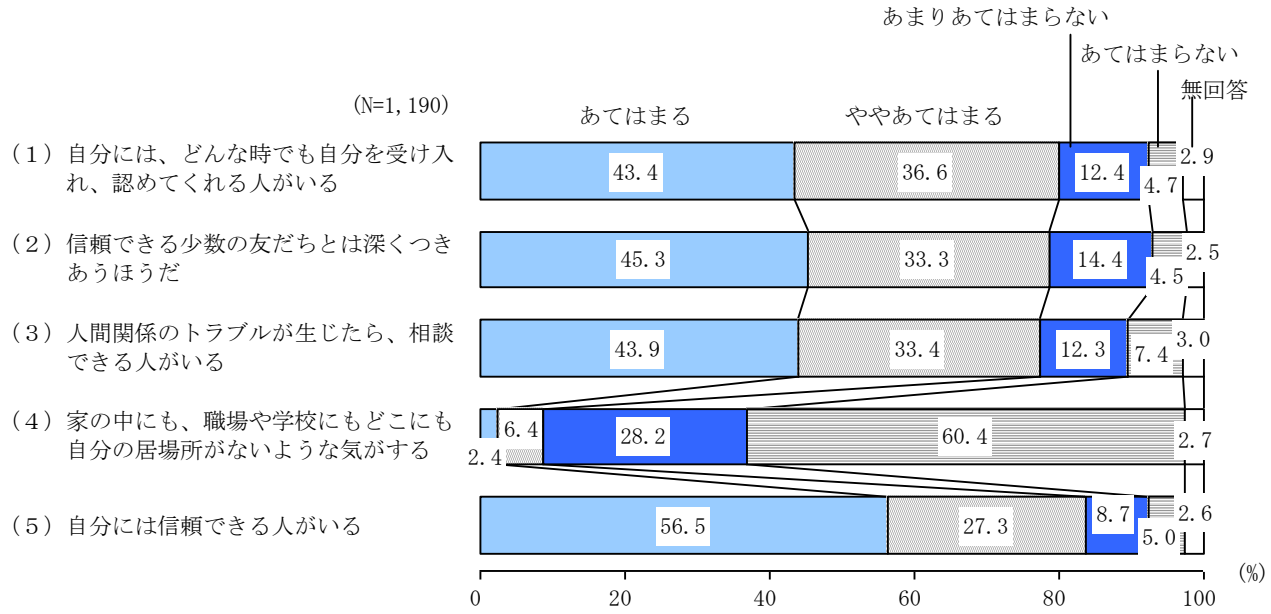
「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせた割合は、〔（７）自分は、困難なことでも、何とかやり遂げることができると思う〕が 77.3%で最も高い。これに次いで〔（１）現在、自分の生活は充実している〕(76.0%)、〔（５）自分は、人とうまくやっていける人間だと思う〕(74.5%)、〔（３）自分には、ほかの人にないよい点があると思う〕(55.8%) となっている。

これに対し、「あてはまらない」「あまりあてはまらない」を合わせた割合は、〔（４）自分は、何をやってもだめな人間だと思うことがある〕が 71.4%で最も高い。これに次いで〔（６）自分は、まわりの人から期待されていないと思うことがある〕が 64.5%で、以下、〔（２）最近、自分の生活は生きづらくなってきたと思う〕(58.1%)、〔（８）自分の人生は、どんなに努力しても、うまくいくとは限らないと思う〕(50.0%) の順で高くなっている。（図表６－１）

（２）対人関係における受容感

問 10　あなたご自身と社会との関係について、次の（１）～（５）のすべてのことがらに関して、感じたことをありのままにお答えください。（それぞれ１つに○）

【図表６－２　対人関係における受容感】



＜全体＞

「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせた割合は、〔（５）自分には信頼できる人がいる〕が 83.8%で最も高い。これに次いで〔（１）自分には、どんな時でも自分を受け入れ、認めてくれる人がいる〕が 80.0%で、以下、〔（２）信頼できる小数の友だちとは深くつきあうほうだ〕(78.6%)、〔（３）人間関係のトラブルが生じたら、相談できる人がいる〕(77.3%) が８割前後を占めている。（図表６－２）

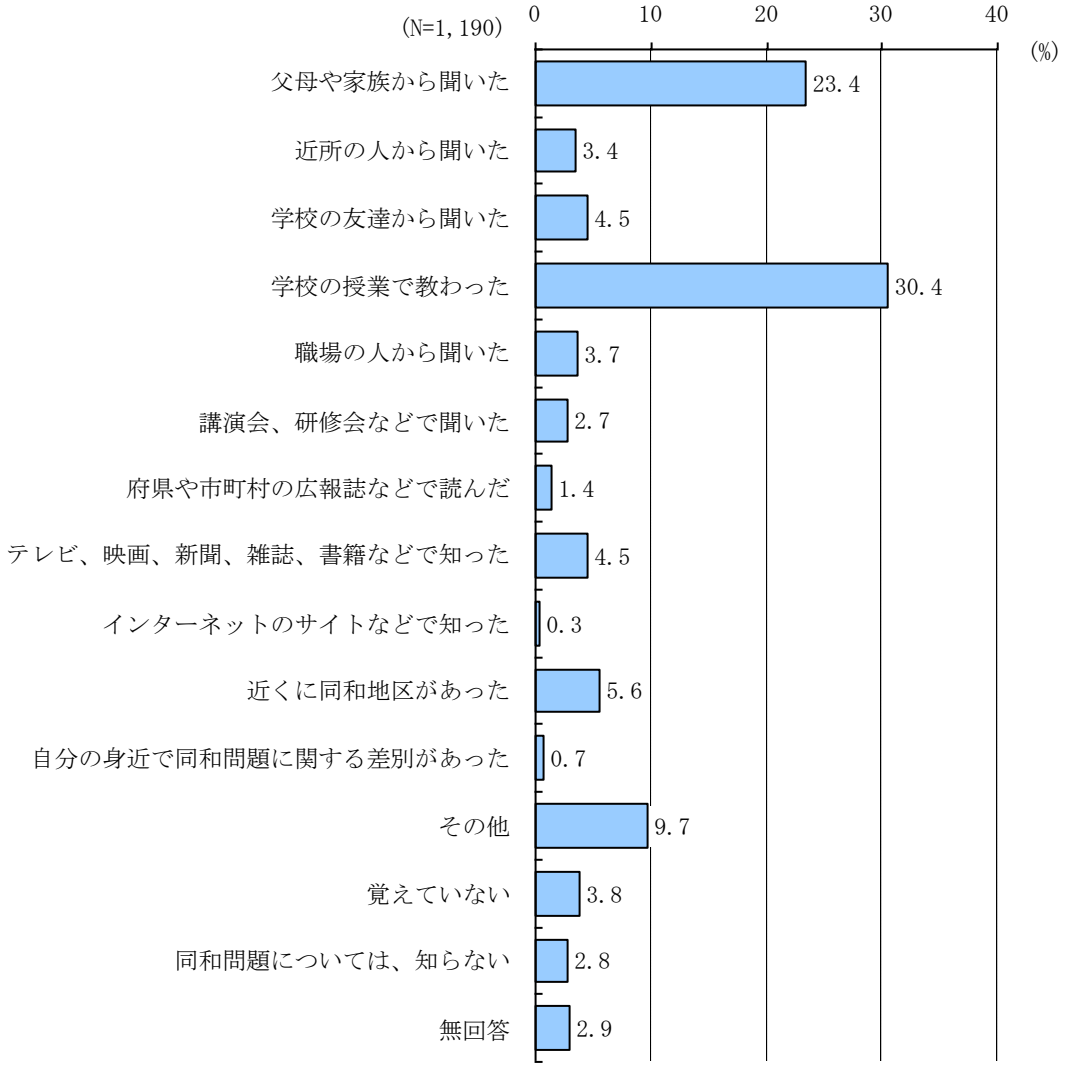
これに対し、「あてはまらない」「あまりあてはまらない」を合わせた割合は、〔（４）家の中にも、職場や学校にもどこにも自分の居場所がないような気がする〕が 88.6%で最も高い。（図表６－２）

７．同和地区に対する差別問題について

（１）同和問題をはじめて知ったきっかけ

問 11　あなたが日本の社会において、同和問題や部落問題などと呼ばれている差別の問題があることをはじめて知ったのは、どういうことがきっかけですか。（○は１つ）

【図表７－１　同和問題をはじめて知ったきっかけ】



＜全体＞

同和問題をはじめて知ったきっかけは、「学校の授業で教わった」が 30.4％で最も高く、次いで「父母や家族から聞いた」（23.4％）となっている。（図表７－１）

＜性別＞

男女とも「学校の授業で教わった」が３割前後で最も高い。これに次いで「父母や家族から聞いた」が２割台で、どちらの項目も男性に比べ女性の割合のほうが高い。（図表７－１－１）

＜年代別＞

50 歳代以上の各年代では、「父母や家族に聞いた」の割合が高いのに対し、50 歳代より下の年代では「学校の授業で聞いた」が高い。（図表７－１－１）

【図表７－１－１　性別・年代別　同和問題をはじめて知ったきっかけ】

（上段：人、下段：％）

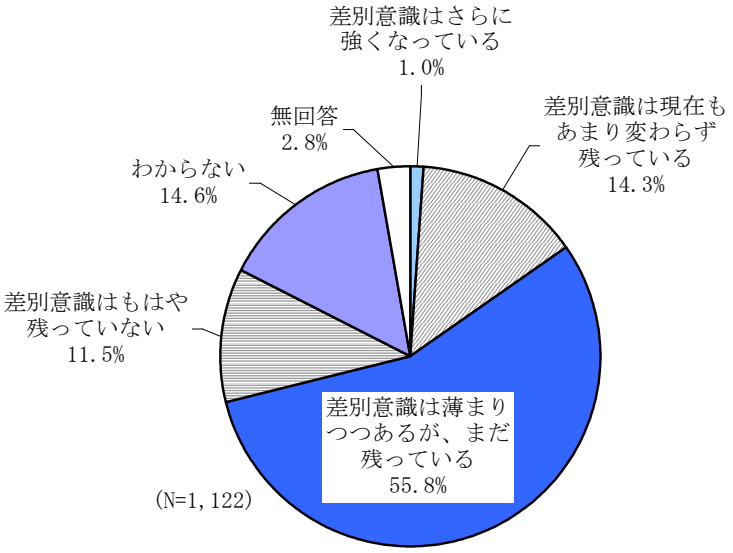
		調査数（N）	父母や家族から聞いた	近所の人から聞いた	学校の友達から聞いた	学校の授業で教わった	職場の人から聞いた	講演会、研修会などで聞いた	府県や市町村の広報誌などで読んだ	テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った	インターネットのサイトなどで知った	近くに同和地区があった	自分の身近で同和問題に関する差別があった	その他	覚えていない	同和問題については、知らない	無回答
性別	男性	529	115	17	28	146	28	22	11	28	2	36	6	32	26	20	12
		100.0	21.7	3.2	5.3	27.6	5.3	4.2	2.1	5.3	0.4	6.8	1.1	6.0	4.9	3.8	2.3
	女性	616	160	19	21	204	15	9	5	26	2	29	1	79	18	13	15
		100.0	26.0	3.1	3.4	33.1	2.4	1.5	0.8	4.2	0.3	4.7	0.2	12.8	2.9	2.1	2.4
年代別	16～19歳	70	9	－	2	36	－	－	－	1	－	1	－	5	4	12	－
		100.0	12.9	－	2.9	51.4	－	－	－	1.4	－	1.4	－	7.1	5.7	17.1	－
	20歳代	112	20	－	2	52	2	2	－	3	2	2	－	13	3	11	－
		100.0	17.9	－	1.8	46.4	1.8	1.8	－	2.7	1.8	1.8	－	11.6	2.7	9.8	－
	30歳代	152	21	3	3	87	5	－	－	3	1	4	－	16	7	2	－
		100.0	13.8	2.0	2.0	57.2	3.3	－	－	2.0	0.7	2.6	－	10.5	4.6	1.3	－
	40歳代	167	29	2	4	103	2	1	－	6	－	3	－	11	4	1	1
		100.0	17.4	1.2	2.4	61.7	1.2	0.6	－	3.6	－	1.8	－	6.6	2.4	0.6	0.6
	50歳代	171	46	4	9	62	3	1	2	7	－	13	－	17	3	2	2
		100.0	26.9	2.3	5.3	36.3	1.8	0.6	1.2	4.1	－	7.6	－	9.9	1.8	1.2	1.2
	60歳代	268	90	12	16	20	19	12	3	22	1	19	4	25	10	7	8
		100.0	33.6	4.5	6.0	7.5	7.1	4.5	1.1	8.2	0.4	7.1	1.5	9.3	3.7	2.6	3.0
	70歳代	197	50	13	11	8	12	11	7	12	－	19	2	26	13	2	11
		100.0	25.4	6.6	5.6	4.1	6.1	5.6	3.6	6.1	－	9.6	1.0	13.2	6.6	1.0	5.6
	80歳以上	57	19	2	4	2	1	5	5	－	－	4	1	4	2	2	6
		100.0	33.3	3.5	7.0	3.5	1.8	8.8	8.8	－	－	7.0	1.8	7.0	3.5	3.5	10.5

◆同和問題について知っている人の同和地区に対する差別の現状認識

（２）同和地区や同和出身者への差別意識

問 12　あなたは、同和地区や同和地区の人に対する差別意識が、いまでも残っていると思いますか。あなたのお考えに近いものを選んでください（○はいずれか１つ）

【図表７－２　同和地区や同和地区出身者への差別意識】



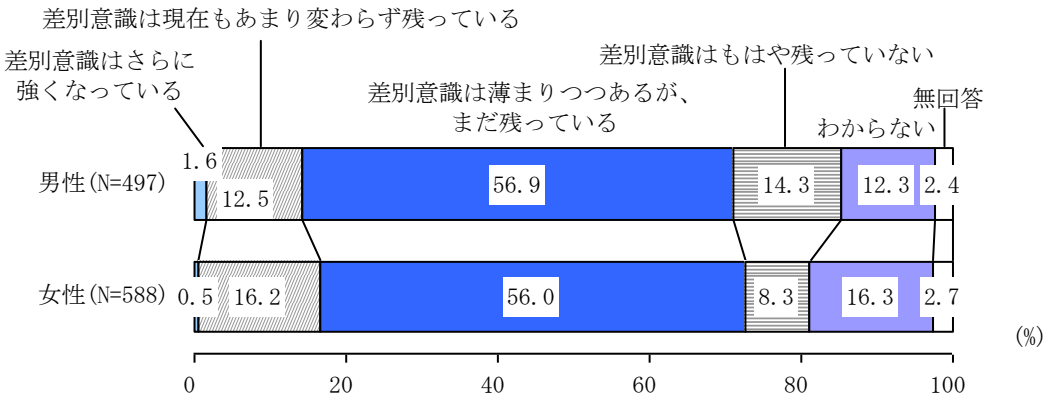
＜全体＞

同和地区や同和地区出身者に対し、「差別意識は薄まりつつあるが、まだ残っている」が 55.8%と最も高い。「差別意識はさらに強くなっている」（1.0%）と「差別意識は現在もあまり変わらず残っている」（14.3%）を合わせると、同和問題について知っている人の 71.1%は、差別が残っていると考えている。（図表７－２）

＜性別＞

男女とも、差別が残っているとの回答割合が７割台を占めている。これに対し、「差別意識はもはや残っていない」は、女性（8.3%）に比べ男性（14.3%）の割合のほうが高い。（図表７－２－１）

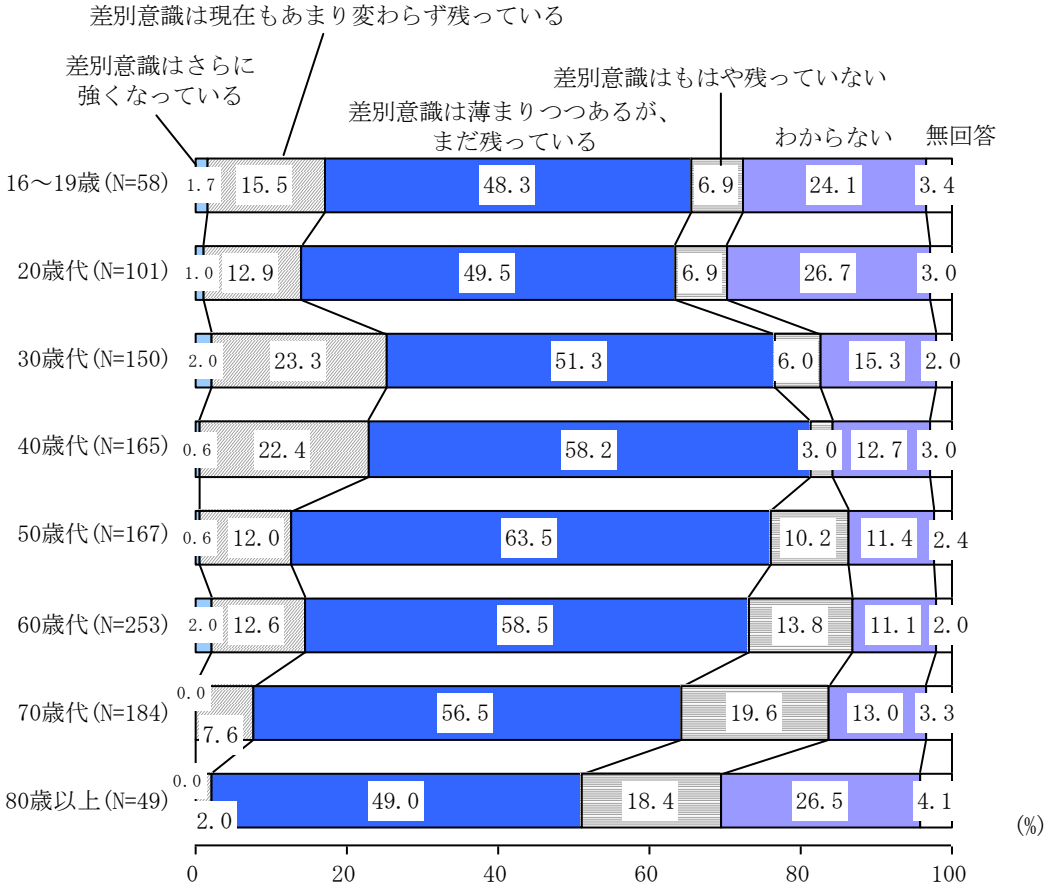
【図表７－２－１　性別　同和地区や同和地区出身者への差別意識】



＜年代別＞

差別が残っているとの回答割合は、30～60 歳代の各年代で７割以上を占め、特に 40 歳代では 81.2%と最も高くなっている。これに対し、「差別意識はもはや残っていない」の割合は、70 歳以上の高年層で高くなっている。（図表７－２－２）

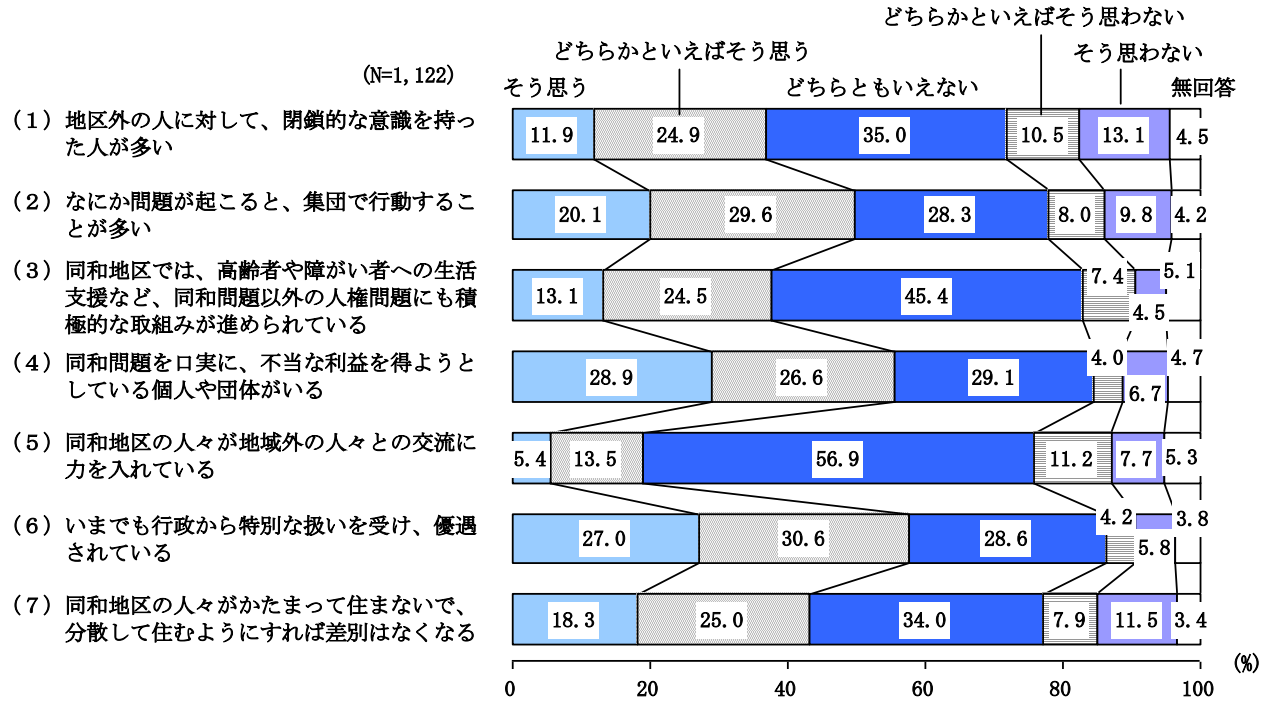
【図表７－２－２　年代別　同和地区や同和地区出身者への差別意識】



（３）同和地区に対するイメージ

問 13　同和地区について次のような意見がありますが、あなたは、どのようにお考えですか。 次の（１）～（７）のことがらについて、すべてお答えください。（○はそれぞれ１つ）

【図表７－３　同和地区に対するイメージ】



＜全体＞

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、〔（６）いまでも行政から特別な扱いを受け、優遇されている〕が 57.6％と最も高い。これに次いで〔（４）同和問題を口実に、不当な利益を得ようとしている個人や団体がいる〕が 55.5％、〔（２）なにか問題が起こると、集団で行動することが多い〕が 49.7％で、それぞれ半数前後を占めている。

また、〔（５）同和地区の人々が地域外の人々との交流に力を入れている〕や〔（３）同和地区では、高齢者や障がい者への生活支援など、同和問題以外の人権問題にも積極的な取組みが進められている〕では「どちらともいえない」の割合が半数前後を占めている。（図表７－３）

＜性別＞

〔（４）同和問題を口実に、不当な利益を得ようとしている個人や団体がいる〕の割合は、女性（50.9％）に比べ男性（61.0％）のほうが 10.1 ポイント高い。（図表７－３－１）

＜年代別＞

〔（３）同和地区では、高齢者や障がい者への生活支援など、同和問題以外の人権問題にも積極的な取組みが進められている〕と〔（６）いまでも行政から特別な扱いを受け、優遇されている〕の割合は、高年層ほど高い傾向がある。（図表７－３－１）

【図表７－３－１　性別・年代別　同和地区に対するイメージ①】

（１）地区外の人に対して、閉鎖的な意識を持った人が多い

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	497	56	135	153	58	80	15
		100.0	11.3	27.2	30.8	11.7	16.1	3.0
	女性	588	74	133	229	55	64	33
		100.0	12.6	22.6	38.9	9.4	10.9	5.6
年代別	16～19歳	58	1	11	25	8	12	1
		100.0	1.7	19.0	43.1	13.8	20.7	1.7
	20歳代	101	11	23	41	7	15	4
		100.0	10.9	22.8	40.6	6.9	14.9	4.0
	30歳代	150	33	50	45	7	12	3
		100.0	22.0	33.3	30.0	4.7	8.0	2.0
	40歳代	165	27	45	55	14	17	7
		100.0	16.4	27.3	33.3	8.5	10.3	4.2
	50歳代	167	20	45	67	13	18	4
		100.0	12.0	26.9	40.1	7.8	10.8	2.4
	60歳代	253	23	58	89	35	42	6
		100.0	9.1	22.9	35.2	13.8	16.6	2.4
	70歳代	184	16	42	57	24	27	18
		100.0	8.7	22.8	31.0	13.0	14.7	9.8
	80歳以上	49	1	6	18	7	8	9
		100.0	2.0	12.2	36.7	14.3	16.3	18.4

（２）なにか問題が起こると、集団で行動することが多い

（上段：人、下段：％）

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	497	105	150	129	40	59	14
		100.0	21.1	30.2	26.0	8.0	11.9	2.8
	女性	588	113	172	176	48	49	30
		100.0	19.2	29.3	29.9	8.2	8.3	5.1
年代別	16～19歳	58	8	12	23	7	7	1
		100.0	13.8	20.7	39.7	12.1	12.1	1.7
	20歳代	101	16	25	36	11	9	4
		100.0	15.8	24.8	35.6	10.9	8.9	4.0
	30歳代	150	43	41	41	9	11	5
		100.0	28.7	27.3	27.3	6.0	7.3	3.3
	40歳代	165	30	49	55	10	14	7
		100.0	18.2	29.7	33.3	6.1	8.5	4.2
	50歳代	167	36	55	49	13	10	4
		100.0	21.6	32.9	29.3	7.8	6.0	2.4
	60歳代	253	44	77	72	21	34	5
		100.0	17.4	30.4	28.5	8.3	13.4	2.0
	70歳代	184	40	60	35	15	20	14
		100.0	21.7	32.6	19.0	8.2	10.9	7.6
	80歳以上	49	4	13	10	6	8	8
		100.0	8.2	26.5	20.4	12.2	16.3	16.3

（３）同和地区では、高齢者や障がい者への生活支援など、同和問題以外の人権問題にも積極的な取組みが進められている

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	497	58	130	221	43	25	20
		100.0	11.7	26.2	44.5	8.7	5.0	4.0
	女性	588	86	134	269	40	25	34
		100.0	14.6	22.8	45.7	6.8	4.3	5.8
年代別	16～19歳	58	2	7	39	6	3	1
		100.0	3.4	12.1	67.2	10.3	5.2	1.7
	20歳代	101	11	14	63	4	5	4
		100.0	10.9	13.9	62.4	4.0	5.0	4.0
	30歳代	150	13	31	76	12	11	7
		100.0	8.7	20.7	50.7	8.0	7.3	4.7
	40歳代	165	15	39	85	13	6	7
		100.0	9.1	23.6	51.5	7.9	3.6	4.2
	50歳代	167	29	46	66	16	6	4
		100.0	17.4	27.5	39.5	9.6	3.6	2.4
	60歳代	253	39	73	96	22	12	11
		100.0	15.4	28.9	37.9	8.7	4.7	4.3
	70歳代	184	34	41	72	10	11	16
		100.0	18.5	22.3	39.1	5.4	6.0	8.7
	80歳以上	49	7	15	17	1	1	8
		100.0	14.3	30.6	34.7	2.0	2.0	16.3

（４）同和問題を口実に、不当な利益を得ようとしている個人や団体がいる

（上段：人、下段：％）

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	497	162	141	120	18	41	15
		100.0	32.6	28.4	24.1	3.6	8.2	3.0
	女性	588	152	147	197	27	31	34
		100.0	25.9	25.0	33.5	4.6	5.3	5.8
年代別	16～19歳	58	7	9	33	2	6	1
		100.0	12.1	15.5	56.9	3.4	10.3	1.7
	20歳代	101	22	25	42	6	3	3
		100.0	21.8	24.8	41.6	5.9	3.0	3.0
	30歳代	150	53	46	35	4	7	5
		100.0	35.3	30.7	23.3	2.7	4.7	3.3
	40歳代	165	45	51	46	10	6	7
		100.0	27.3	30.9	27.9	6.1	3.6	4.2
	50歳代	167	61	44	45	6	5	6
		100.0	36.5	26.3	26.9	3.6	3.0	3.6
	60歳代	253	75	66	79	6	21	6
		100.0	29.6	26.1	31.2	2.4	8.3	2.4
	70歳代	184	51	46	43	6	21	17
		100.0	27.7	25.0	23.4	3.3	11.4	9.2
	80歳以上	49	7	10	12	6	7	7
		100.0	14.3	20.4	24.5	12.2	14.3	14.3

【図表７－３－１　性別・年代別　同和地区に対するイメージ②】

（５）同和地区の人々が地域外の人々との交流に力を入れている

（上段：人、下段：％）

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	497	28	71	274	62	46	16
		100.0	5.6	14.3	55.1	12.5	9.3	3.2
	女性	588	29	79	340	62	39	39
		100.0	4.9	13.4	57.8	10.5	6.6	6.6
年代別	16～19歳	58	4	8	34	6	5	1
		100.0	6.9	13.8	58.6	10.3	8.6	1.7
	20歳代	101	5	7	66	10	9	4
		100.0	5.0	6.9	65.3	9.9	8.9	4.0
	30歳代	150	6	11	87	28	12	6
		100.0	4.0	7.3	58.0	18.7	8.0	4.0
	40歳代	165	7	27	88	20	16	7
		100.0	4.2	16.4	53.3	12.1	9.7	4.2
	50歳代	167	9	27	102	12	12	5
		100.0	5.4	16.2	61.1	7.2	7.2	3.0
	60歳代	253	15	38	146	26	17	11
		100.0	5.9	15.0	57.7	10.3	6.7	4.3
	70歳代	184	13	30	91	17	16	17
		100.0	7.1	16.3	49.5	9.2	8.7	9.2
	80歳以上	49	－	8	19	10	4	8
		100.0	－	16.3	38.8	20.4	8.2	16.3

（６）いまでも行政から特別な扱いを受け、優遇されている

（上段：人、下段：％）

		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	497	145	144	136	27	33	12
		100.0	29.2	29.0	27.4	5.4	6.6	2.4
	女性	588	144	187	178	20	31	28
		100.0	24.5	31.8	30.3	3.4	5.3	4.8
年代別	16～19歳	58	10	6	34	2	5	1
		100.0	17.2	10.3	58.6	3.4	8.6	1.7
	20歳代	101	18	19	45	10	5	4
		100.0	17.8	18.8	44.6	9.9	5.0	4.0
	30歳代	150	42	42	50	3	8	5
		100.0	28.0	28.0	33.3	2.0	5.3	3.3
	40歳代	165	32	56	55	7	8	7
		100.0	19.4	33.9	33.3	4.2	4.8	4.2
	50歳代	167	48	55	42	10	9	3
		100.0	28.7	32.9	25.1	6.0	5.4	1.8
	60歳代	253	74	78	64	14	18	5
		100.0	29.2	30.8	25.3	5.5	7.1	2.0
	70歳代	184	62	59	36	4	11	12
		100.0	33.7	32.1	19.6	2.2	6.0	6.5
	80歳以上	49	10	21	7	2	2	7
		100.0	20.4	42.9	14.3	4.1	4.1	14.3

（７）同和地区の人々がかたまって住まないで、分散して住むようにすれば差別はなくなる

（上段：人、下段：％）

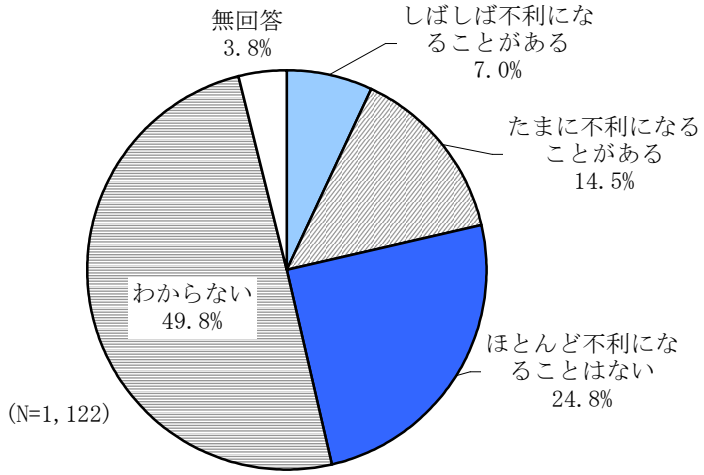
		調査数（N）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	497	94	126	159	46	61	11
		100.0	18.9	25.4	32.0	9.3	12.3	2.2
	女性	588	103	147	208	42	65	23
		100.0	17.5	25.0	35.4	7.1	11.1	3.9
年代別	16～19歳	58	10	13	21	7	6	1
		100.0	17.2	22.4	36.2	12.1	10.3	1.7
	20歳代	101	17	24	35	8	14	3
		100.0	16.8	23.8	34.7	7.9	13.9	3.0
	30歳代	150	26	48	51	8	13	4
		100.0	17.3	32.0	34.0	5.3	8.7	2.7
	40歳代	165	25	37	72	11	15	5
		100.0	15.2	22.4	43.6	6.7	9.1	3.0
	50歳代	167	23	46	53	17	24	4
		100.0	13.8	27.5	31.7	10.2	14.4	2.4
	60歳代	253	52	59	80	21	37	4
		100.0	20.6	23.3	31.6	8.3	14.6	1.6
	70歳代	184	44	41	51	17	19	12
		100.0	23.9	22.3	27.7	9.2	10.3	6.5
	80歳以上	49	11	12	17	3	2	4
		100.0	22.4	24.5	34.7	6.1	4.1	8.2

（４）同和地区出身者に対する差別の現状認識

①同和地区出身者に対する就職差別の認識状況

問 14　現在、同和地区の人たちは、就職するときに不利になることがあると思いますか。（○は１つ）

【図表７－４①　同和地区出身者に対する就職差別の認識状況】



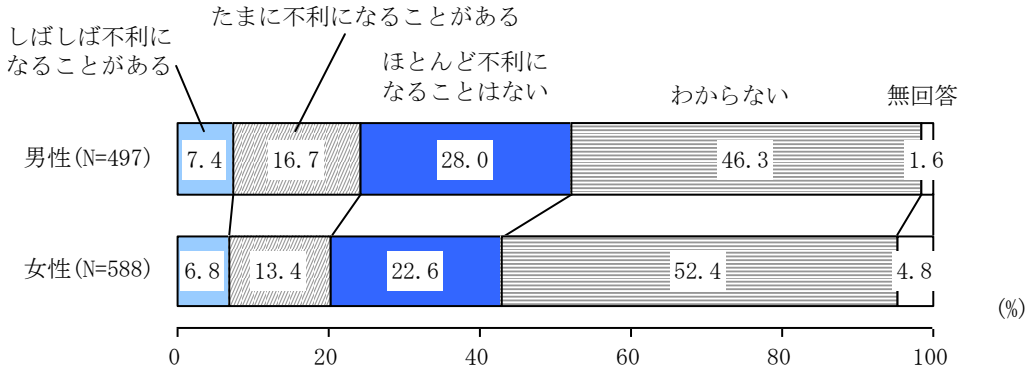
＜全体＞

同和地区出身により就職で不利になることについて「わからない」が 49.8%が占めるが、「ほとんど不利になることはない」との回答が 24.8%に対し、「たまに不利になることがある」が 14.5%、「しばしば不利になることがある」が 7.0%で、不利となるとの認識も２割となっている。（図表７－４①）

＜性別＞

「しばしば不利になることがある」「たまに不利になることがある」を合わせた割合は、女性（20.2%）に比べ男性（24.1%）のほうが高く、「ほとんど不利になることはない」の割合も、女性（22.6%）に比べ男性（28.0%）のほうが高い。（図表７－４①－１）

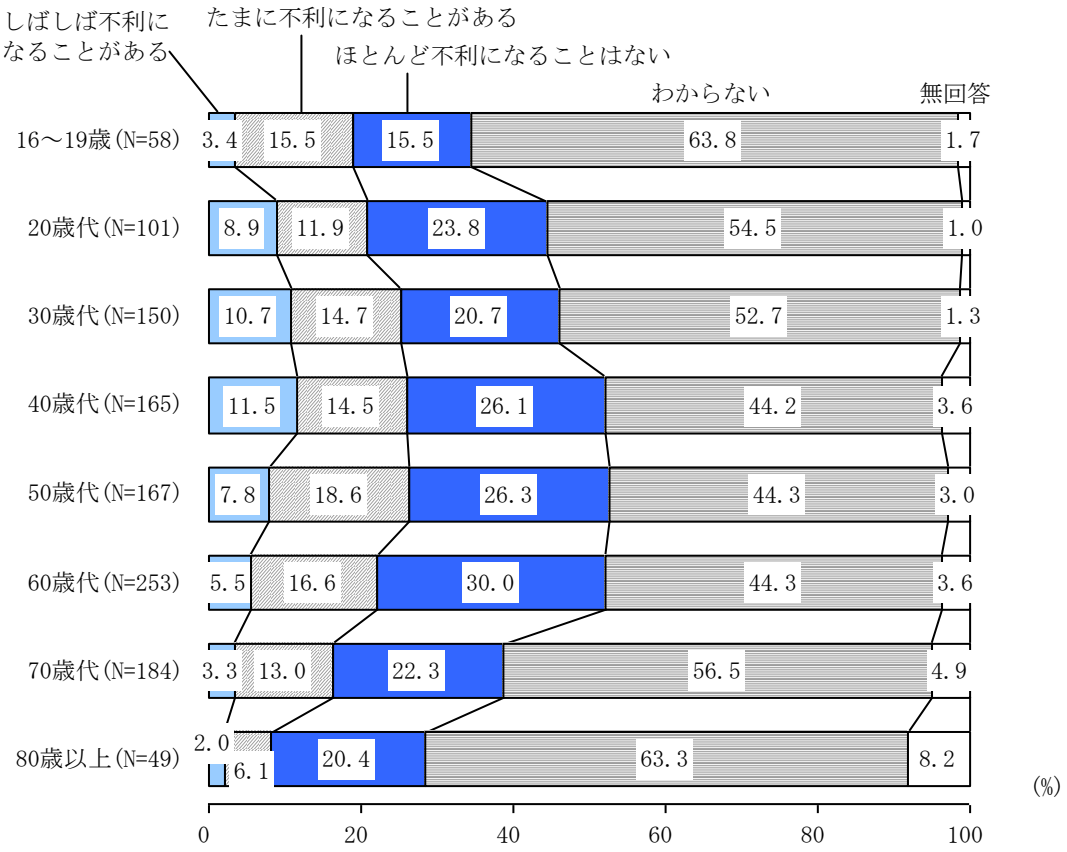
【図表７－４①－１　性別　同和地区出身者に対する就職差別の認識状況】



＜年代別＞

30～50 歳代のほぼ５人に１人が「しばしば不利になることがある」「たまに不利になることがある」と回答しているのに対し、60 歳代以上の年代ではそれらの割合は低下している。（図表７－４①－２）

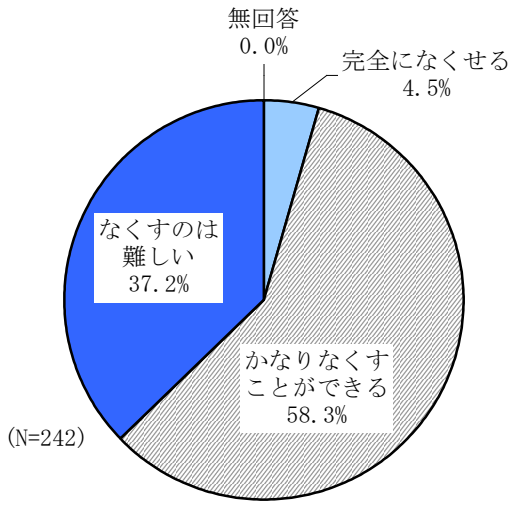
【図表７－４①－２　年代別　同和地区出身者に対する就職差別の認識状況】



②同和地区出身者に対する就職差別の解決についての見方

問 14－１　それは、近い将来、なくすことができると思いますか。（○は１つ）

【図表７－４②　同和地区出身者に対する就職差別の解決についての見方】



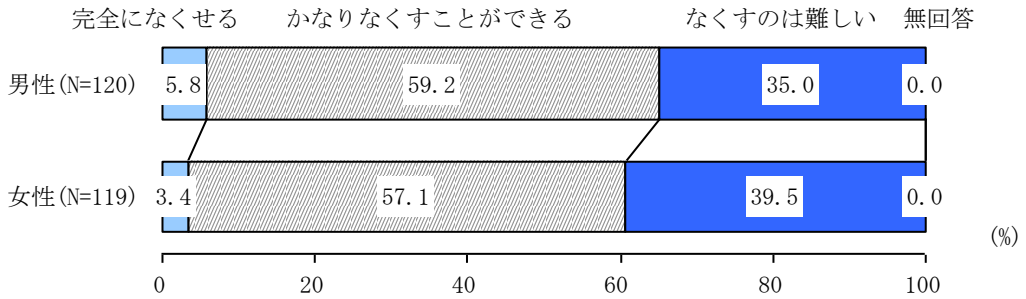
＜全体＞

同和地区出身により就職が「しばしば不利になることがある」「たまに不利になることがある」と回答した人の 58.3%は、就職差別について「かなりなくすことができる」と回答し、「完全になくせる」（4.5%）と合わせた割合は 62.8%を占める。これに対し、「なくすのは難しい」は 37.2%となっている。（図表７－４②）

＜性別＞

「完全になくせる」「かなりなくすことができる」と回答した割合は、女性が 60.5%に対し、男性は 65.0%となっている。（図表７－４②－１）

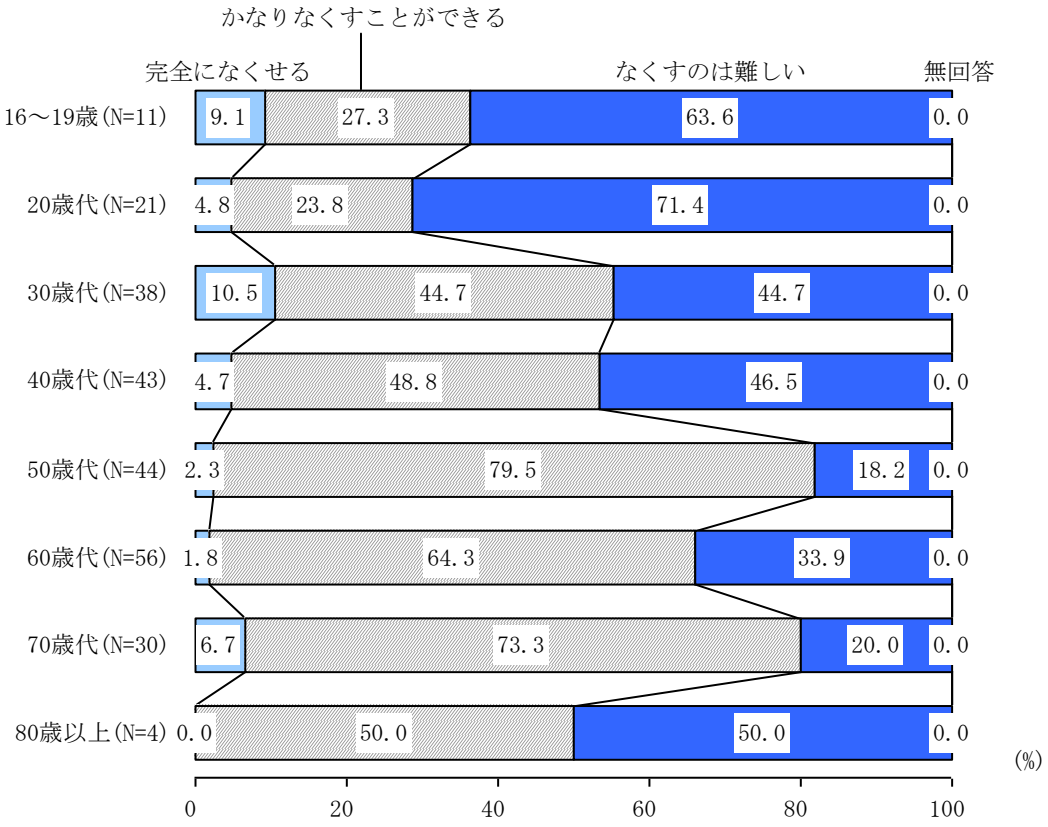
【図表７－４②－１　性別　同和地区出身者に対する就職差別の解決についての見方】



＜年代別＞

「完全になくせる」「かなりなくすことができる」の割合は、50 歳代（81.8%）と 70 歳代（80.0%）では８割台を占める。これに対し、「なくすのは難しい」は若年層ほど高い。（図表７－４②－２）

【図表７－４②－２　年代別　同和地区出身者に対する就職差別の解決についての見方】

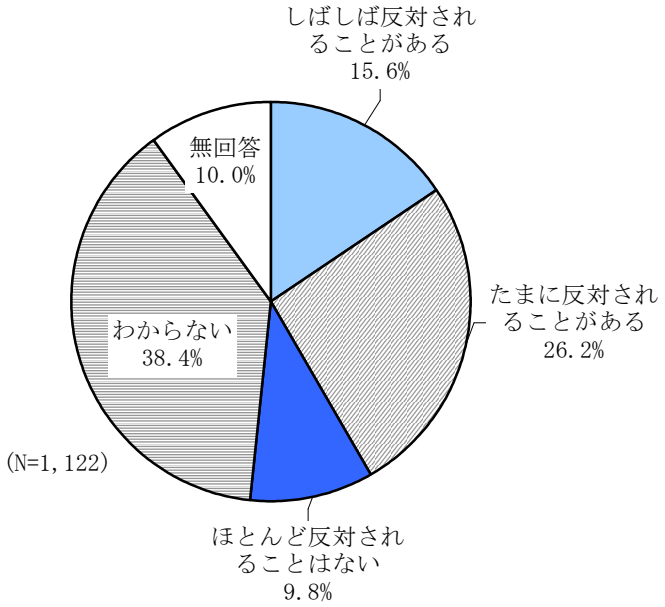


（５）同和地区の人たちに対する結婚差別の現状認識

①同和地区出身者に対する結婚差別の認識状況

問 15　現在、同和地区の人たちは、結婚する際に反対されることがあると思いますか。 （○は１つ）

【図表７－５①　同和地区出身者に対する結婚差別の認識状況】



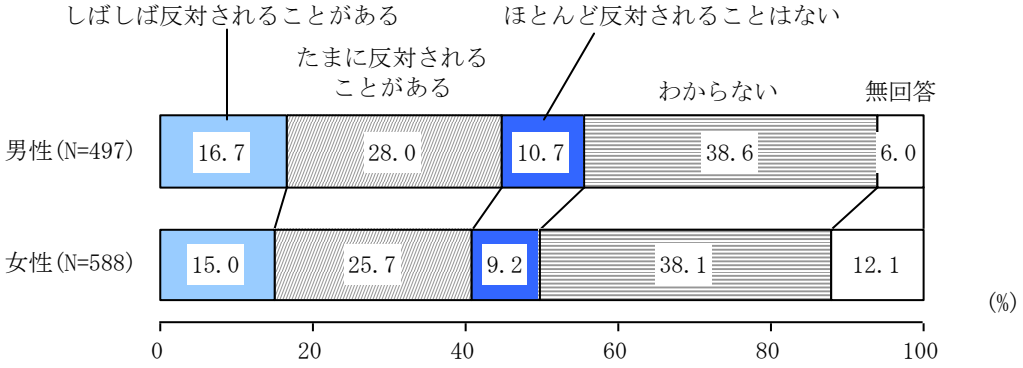
＜全体＞

同和地区出身により結婚について「たまに反対されることがある」が 26.2%で最も高く、「しばしば反対されることがある」(15.6%) と合わせた割合は 41.8%となっている。(図表７－５①)

＜性別＞

「しばしば反対されることがある」「たまに反対されることがある」の割合は、女性が 40.7%に対し男性は 44.7%で、男性のほうがやや高い。(図表７－５①－１)

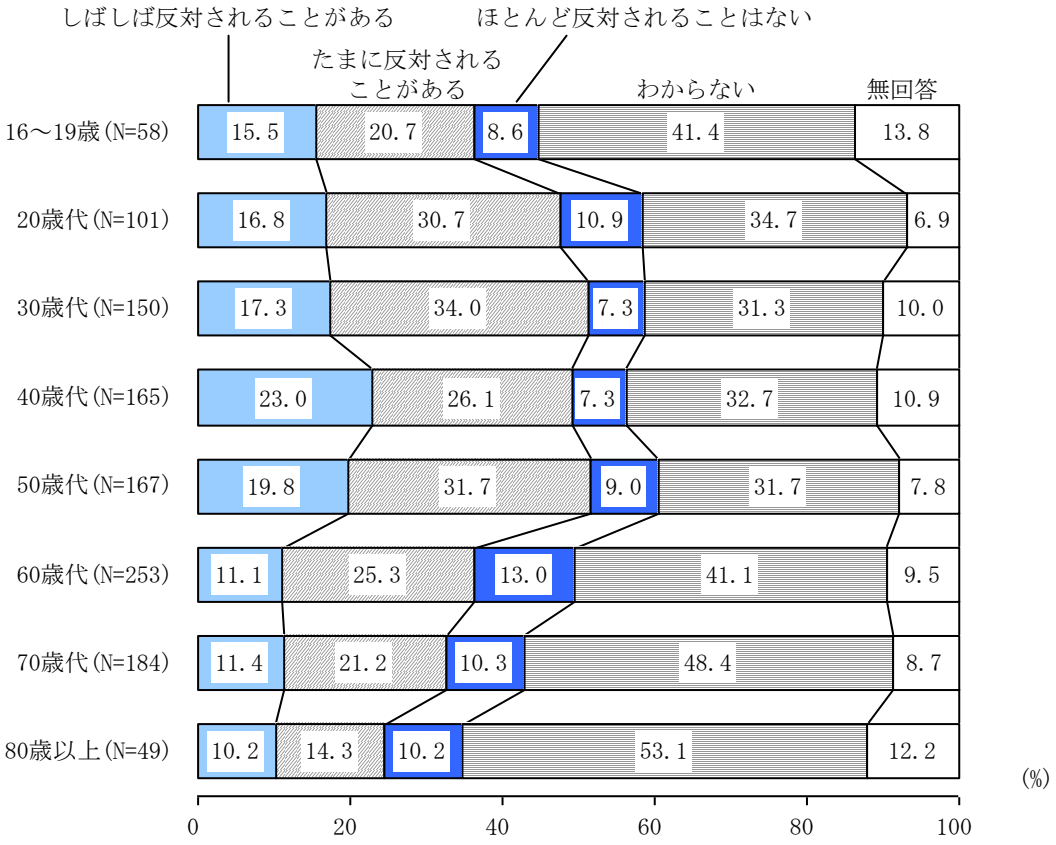
【図表７－５①－１　性別　同和地区出身者に対する結婚差別の認識状況】



＜年代別＞

「しばしば反対されることがある」「たまに反対されることがある」の割合は、20～50 歳代で半数前後を占めている。（図表７－５①－２）

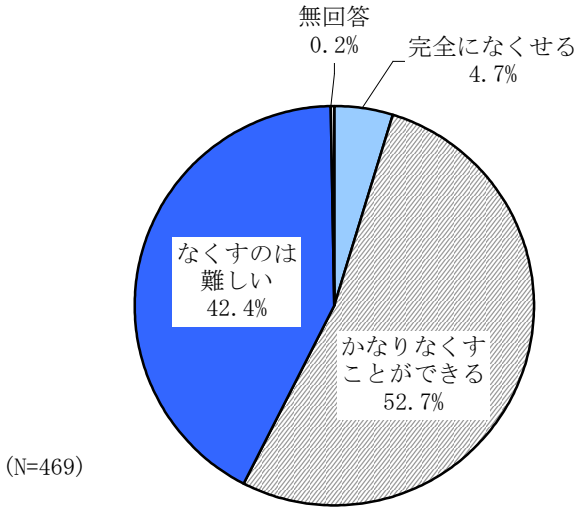
【図表７－５①－２　年代別　同和地区出身者に対する結婚差別の認識状況】



②同和地区出身者に対する結婚差別の解決についての見方

問 15－１　それは、近い将来、なくすことができると思いますか。（○は１つ）

【図表７－５②　同和地区出身者に対する結婚差別の解決についての見方】



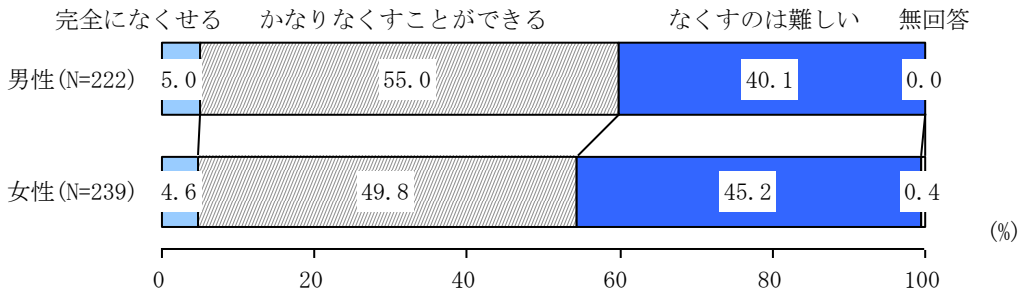
＜全体＞

同和地区出身により結婚が「しばしば反対されることがある」「たまに反対されることがある」と回答した人の 52.7%は、結婚差別を「かなりなくすことができる」と回答し、「完全になくせる」（4.7%）と合わせた割合は 57.4%を占めている。これに対し、「なくすのは難しい」は 42.4%となっている。（図表７－５②）

＜性別＞

「完全になくせる」「かなりなくすことができる」の割合は、女性が 54.4%に対し、男性は 60.0%でと男性で高くなっている。（図表７－５②－１）

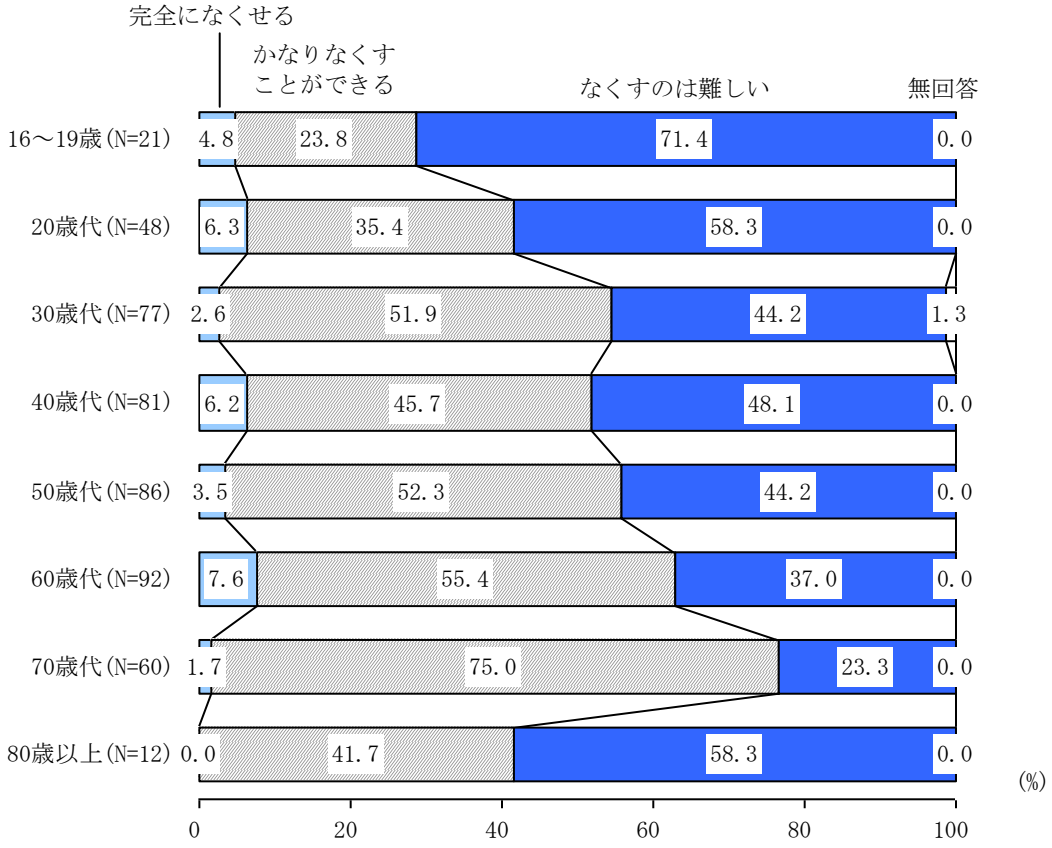
【図表７－５②－１　性別　同和地区出身者に対する結婚差別の解決についての見方】



＜年代別＞

「完全になくせる」「かなりなくすことができる」の割合は、30～70 歳代で過半数を占め、特に 70 歳代では 76.7%と最も高くなっている。これに対し、「なくすのは難しい」は、10・20 歳代の若年層で高い。（図表７－５②－２）

【図表７－５②－２　年代別　同和地区出身者に対する結婚差別の解決についての見方】

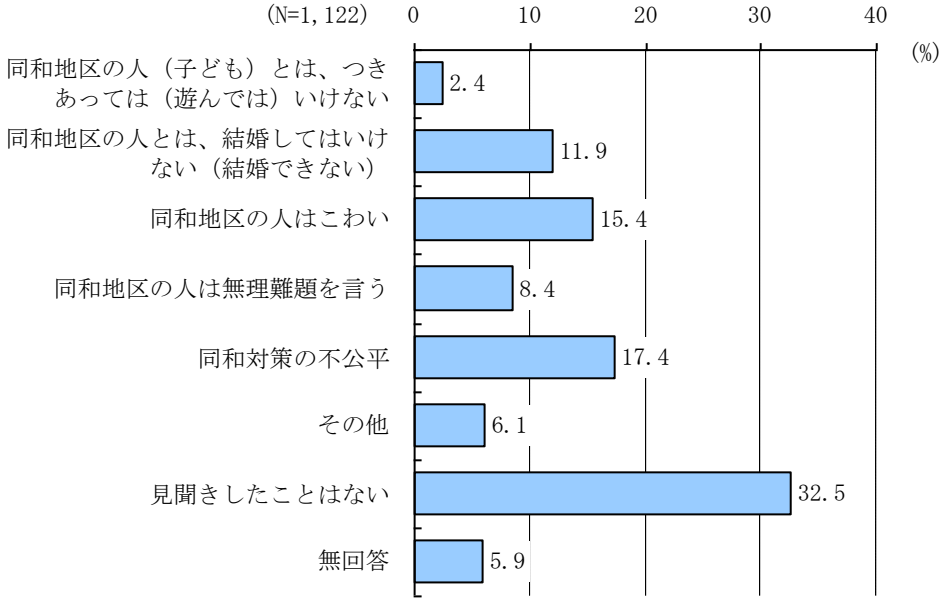


（６）同和地区に対する差別的な発言や行動についての見聞き状況

①同和地区に対する差別的な発言や行動を見聞きした経験

問 16　あなたは、これまでに、同和地区に対する差別的な発言や行動を直接見聞きされたことがありますか。（○は主なもの１つ）

【図表７－６①　同和地区に対する差別的な発言や行動を見聞きした経験】



＜全体＞

同和地区に対する差別的な発言や行動を「見聞きしたことはない」が 32.5％で最も高い。

見聞きした経験がある人は 61.6％で、その内容は、「同和対策の不公平」が 17.4％で最も高く、次いで「同和地区の人はこわい」（15.4％）、「同和地区の人とは、結婚してはいけない（結婚できない）」（11.9％）となっている。（図表７－６①）

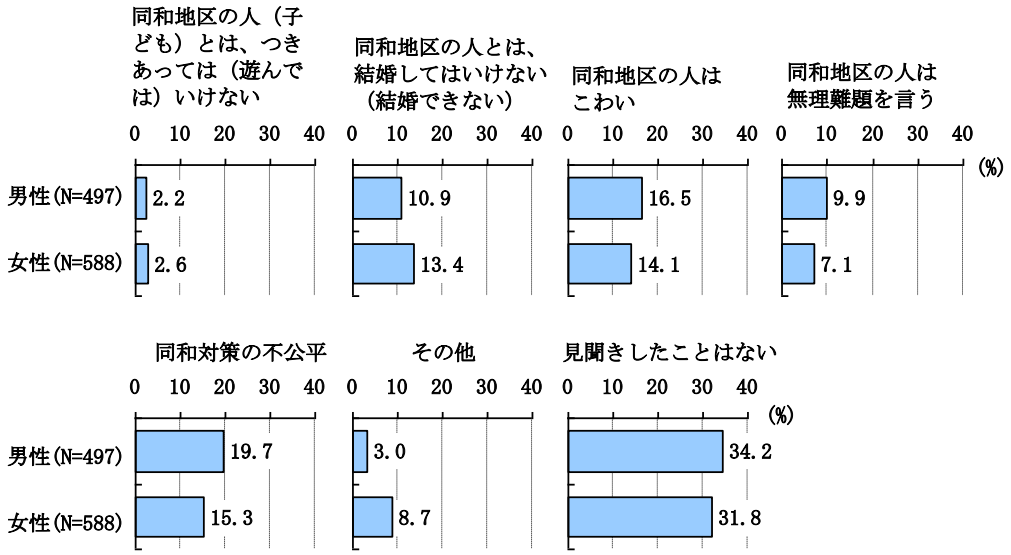
＜性別＞

見聞きした内容は、男女とも「同和対策の不公平」の割合が最も高く、女性 15.3％、男性 19.7％となっている。（図表７－６①－１）

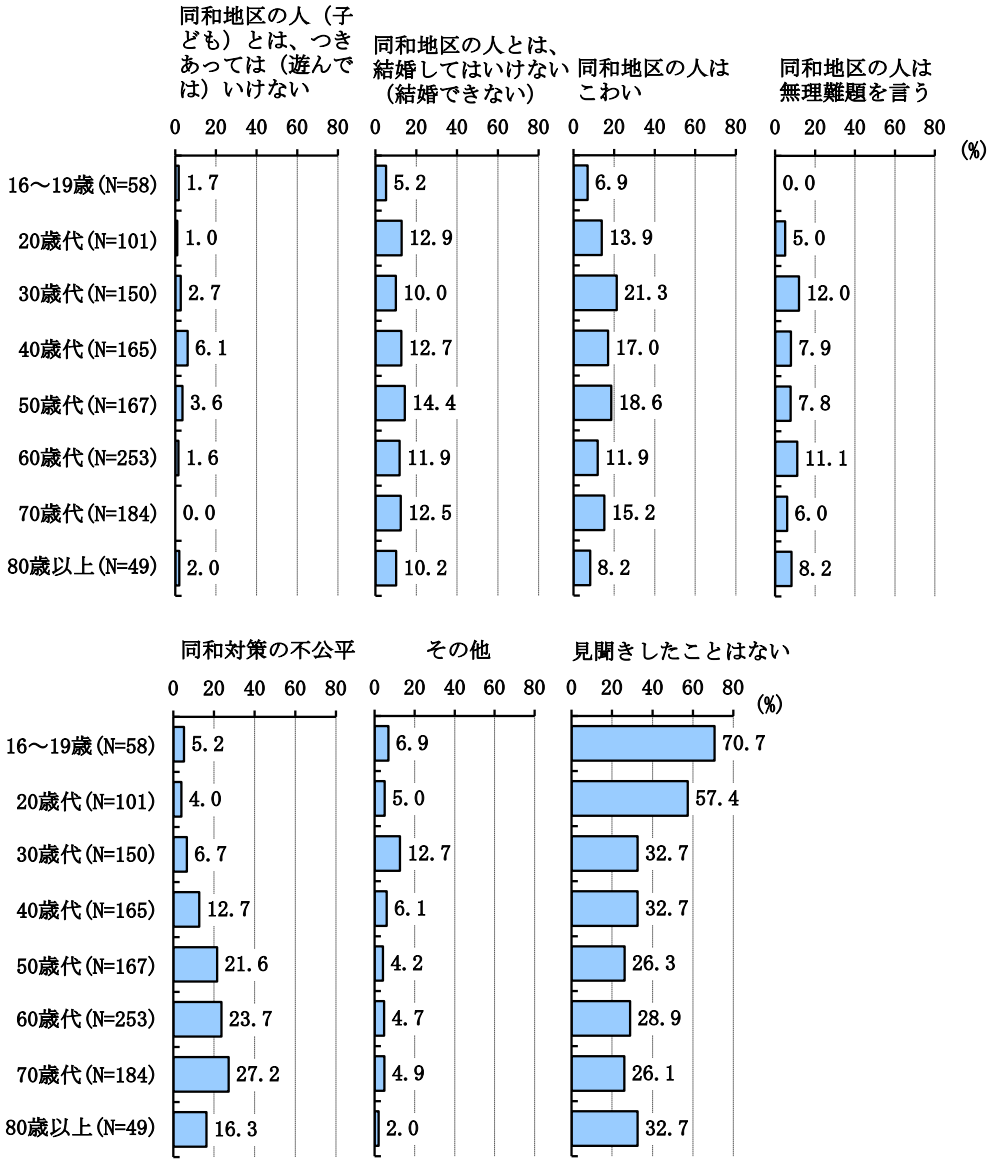
＜年代別＞

50～70 歳代で「同和対策の不公平」の割合が高い。一方、10・20 歳代の各年代では「見聞きしたことはない」が過半数を占めている。（図表７－６①－２）

【図表７－６①－１　性別　同和地区に対する差別的な発言や行動を見聞きした経験】



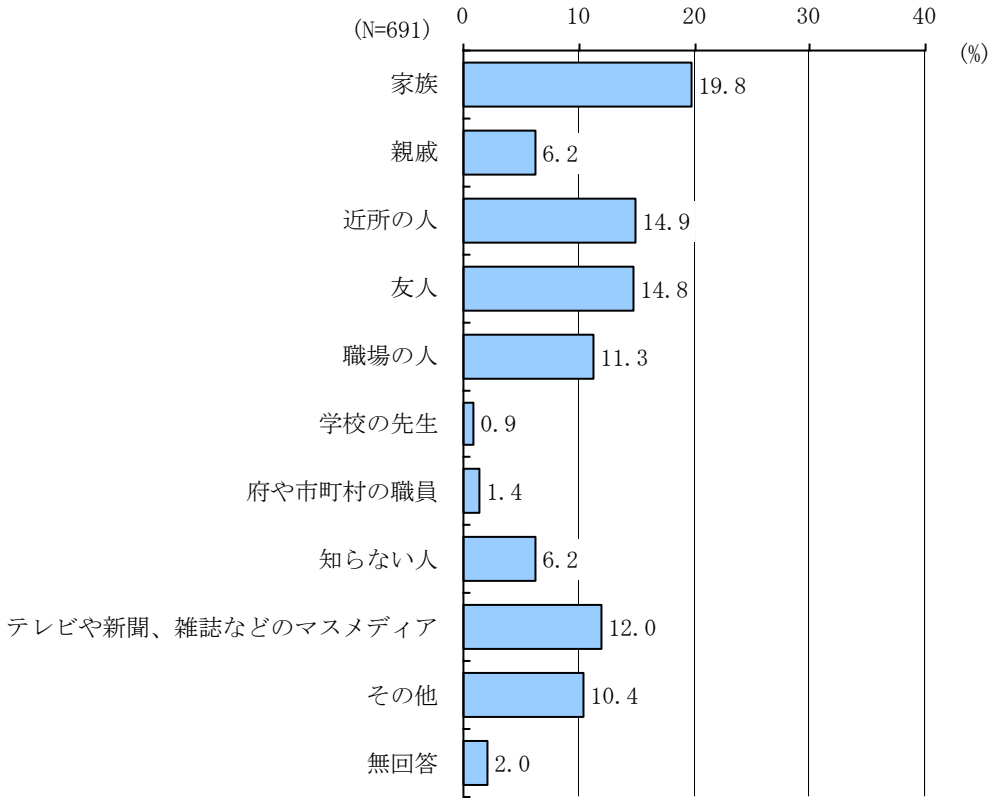
【図表７－６①－２　年代別　同和地区に対する差別的な発言や行動を見聞きした経験】



②差別的な言動を見聞きした経路

問 16－１　それは誰から（何から）見聞きしましたか。（○は主なもの１つ）

【図表７－６②　差別的な言動を見聞きした経路】



＜全体＞

同和地区に対する差別的な発言や行動を見聞きした経験がある場合のその見聞きした経路は、「家族」が 19.8％で最も高く、次いで「近所の人」（14.9％）と「友人」（14.8％）、「テレビや新聞、雑誌などのマスメディア」（12.0％）となっている。（図表７－６②）

＜性別＞

男性では、女性に比べ「職場の人」（15.9％）が 8.4 ポイント、「テレビや新聞、雑誌などのマスメディア」（16.2％）が 7.0 ポイント高くなっている。

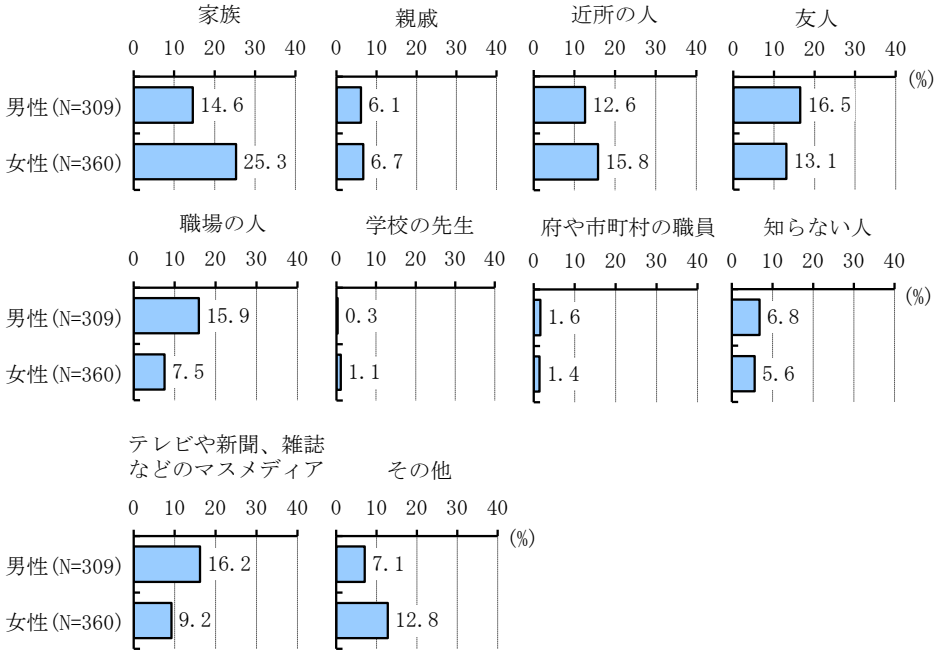
一方、女性では、「家族」（25.3％）が男性に比べ 10.7 ポイント高い。（図表７－６②－１）

＜年代別＞

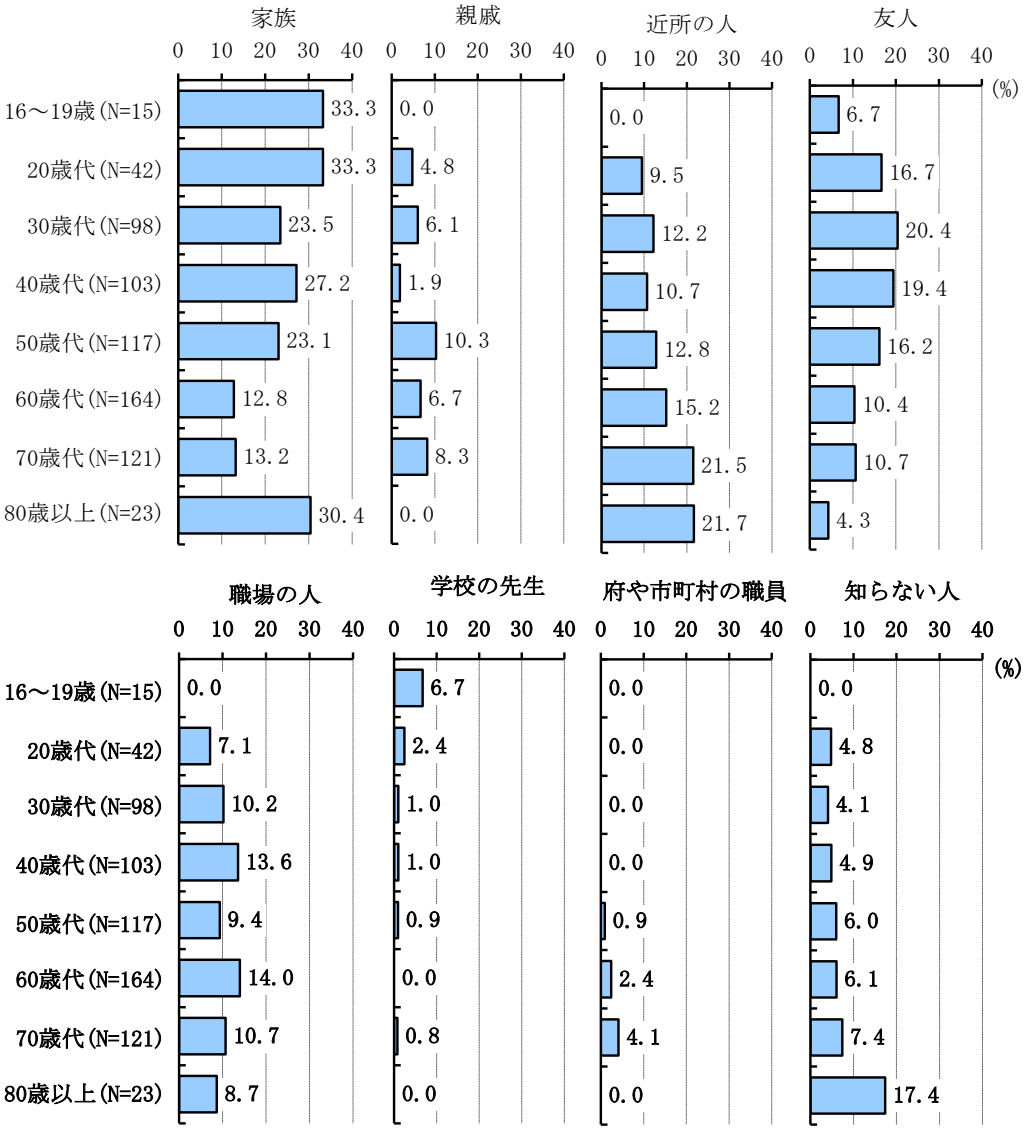
30～40 歳代は「友人」が２割前後、60 歳代は「テレビや新聞、雑誌などのマスメディア」が 21.3％で、それぞれ他の年代に比べ高くなっている。

また、「近所の人」は、高年層ほど割合が高い一方、60～70 歳代は「家族」の割合が他の年代に比べ低くなっている。（図表７－６②－２）

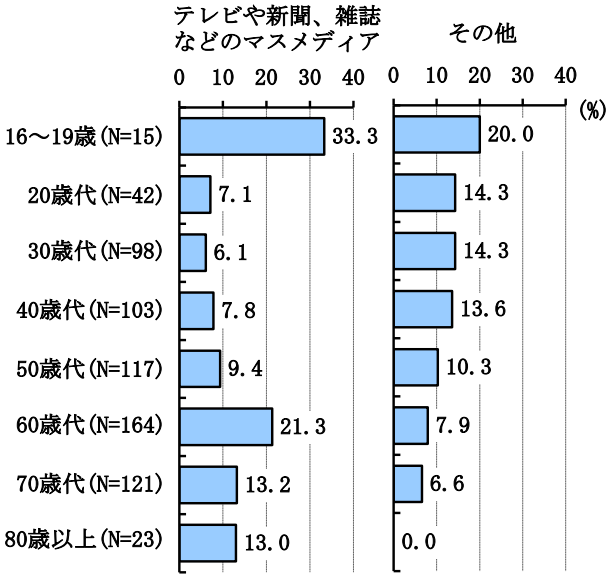
【図表７－６②－１　性別　差別的な言動を見聞きした経路】



【図表７－６②－２　年代別　差別的な言動を見聞きした経路①】



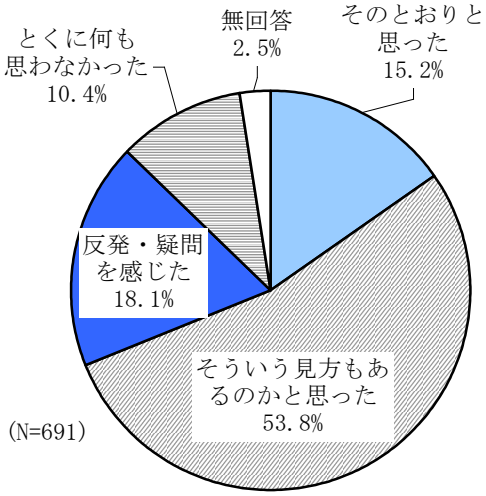
【図表７－６②－２　年代別　差別的な言動を見聞きした経路②】



③見聞きした時の感想

問 16－２　その話を聞いたとき、どう感じましたか。（○は１つ）

【図表７－６③　見聞きした時の感想】



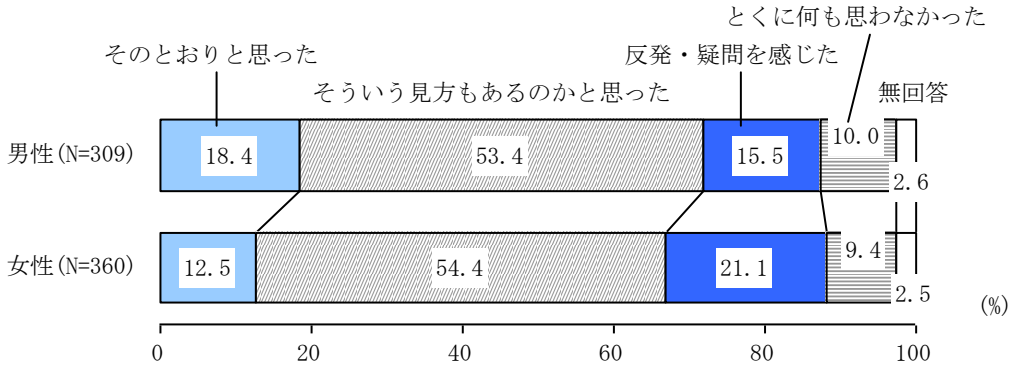
＜全体＞

同和地区に対する差別的な発言や行動を見聞きした時の感想は、「そういう見方もあるのかと思った」が 53.8%で最も高くなっている。これに対し「反発・疑問を感じた」は 18.1%で、「そのとおりと思った」は 15.2%となっている。（図表７－６③）

＜性別＞

「そのとおりと思った」の割合は、女性（12.5%）に比べ男性（18.4%）のほうが 5.9 ポイント高い。これに対し、「反発・疑問を感じた」は男性（15.5%）に比べ女性（21.1%）のほうが 5.6 ポイント高くなっている。（図表７－６③－１）

【図表７－６③－１　性別　見聞きした時の感想】

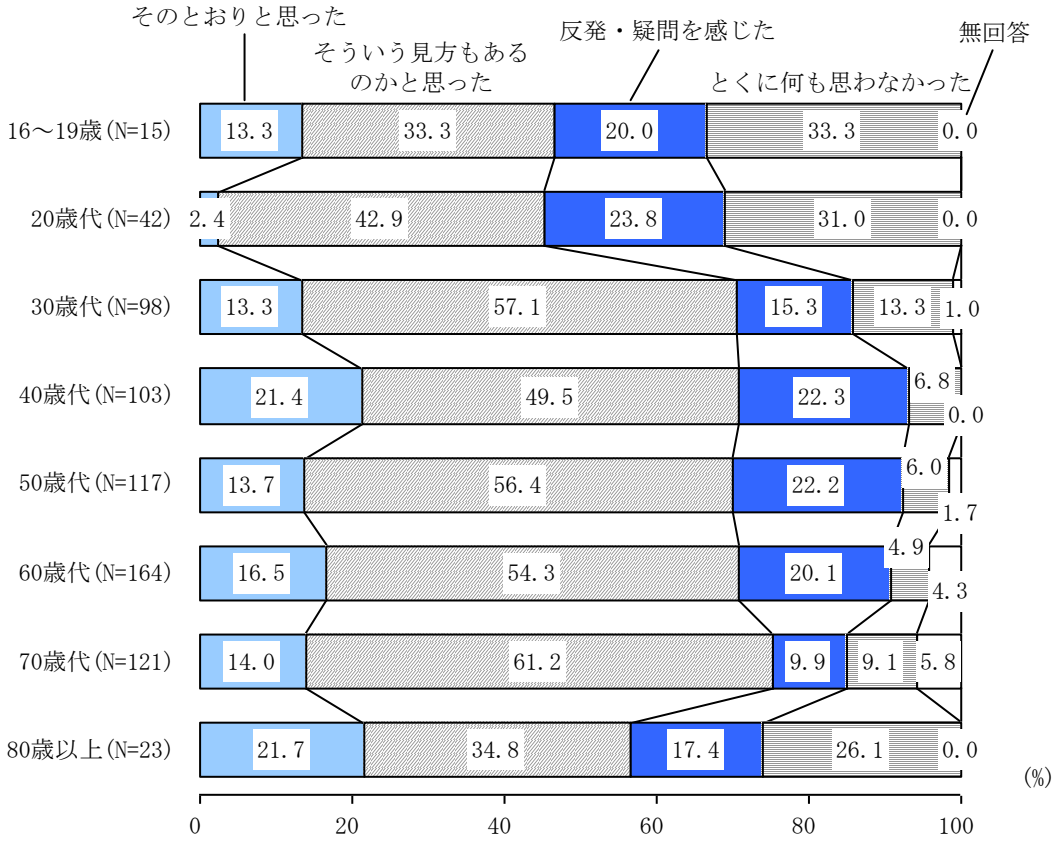


＜年代別＞

10・20 歳代では、「とくになにも思わなかった」が３割台を占め、「そのとおりと思った」の割合は 20 歳代が 2.4%と低くなっている。これに対し、40 歳代と 80 歳以上では「そのとおりと思った」が２割台と高くなっている。（図表７－６③－２）

また、「反発・疑問を感じた」は 10・20 歳代と 40～60 歳代で２割台を占め、「そういう見方もあるのかと思った」は 70 歳代が 61.2%で最も高くなっている。（図表７－６③－２）

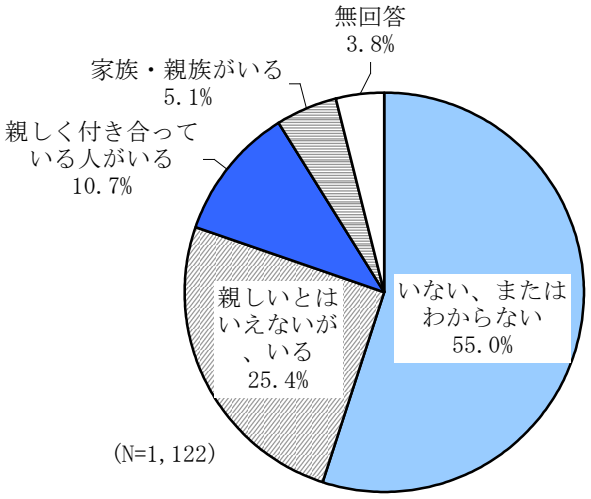
【図表７－６③－２　年代別　見聞きした時の感想】



（７）同和地区出身の友人や知人の有無

問 17　あなたには、同和地区出身の友人や知人がいますか。（○は１つ）

【図表７－７　同和地区出身の友人や知人の有無】



＜全体＞

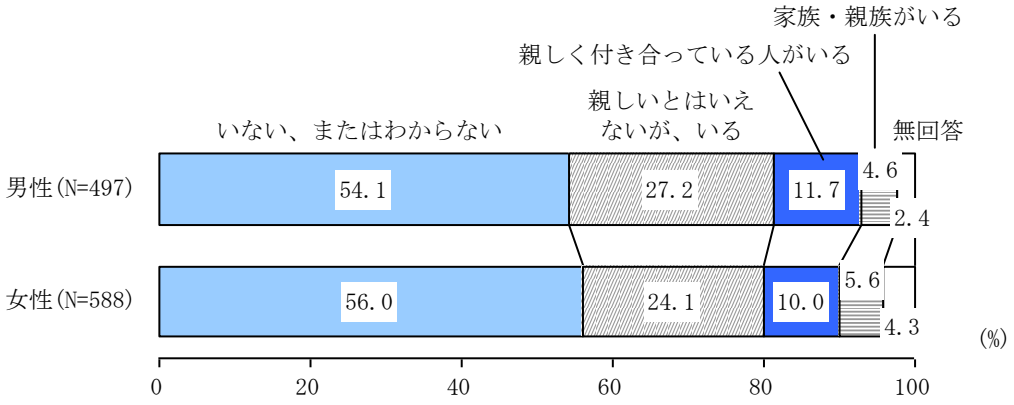
同和地区出身の友人や知人が「いない、またはわからない」が 55.0％と過半数を占める。

これに対し、「親しいとはいえないが、いる」は 25.4％、「親しく付き合っている人がいる」は 10.7％となっている。（図表７－７）

＜性別＞

「親しいとはいえないが、いる」「親しく付き合っている人がいる」「家族・親族がいる」を合わせた割合は、男性が 43.5％に対し、女性は 39.7％となっている。（図表７－７－１）

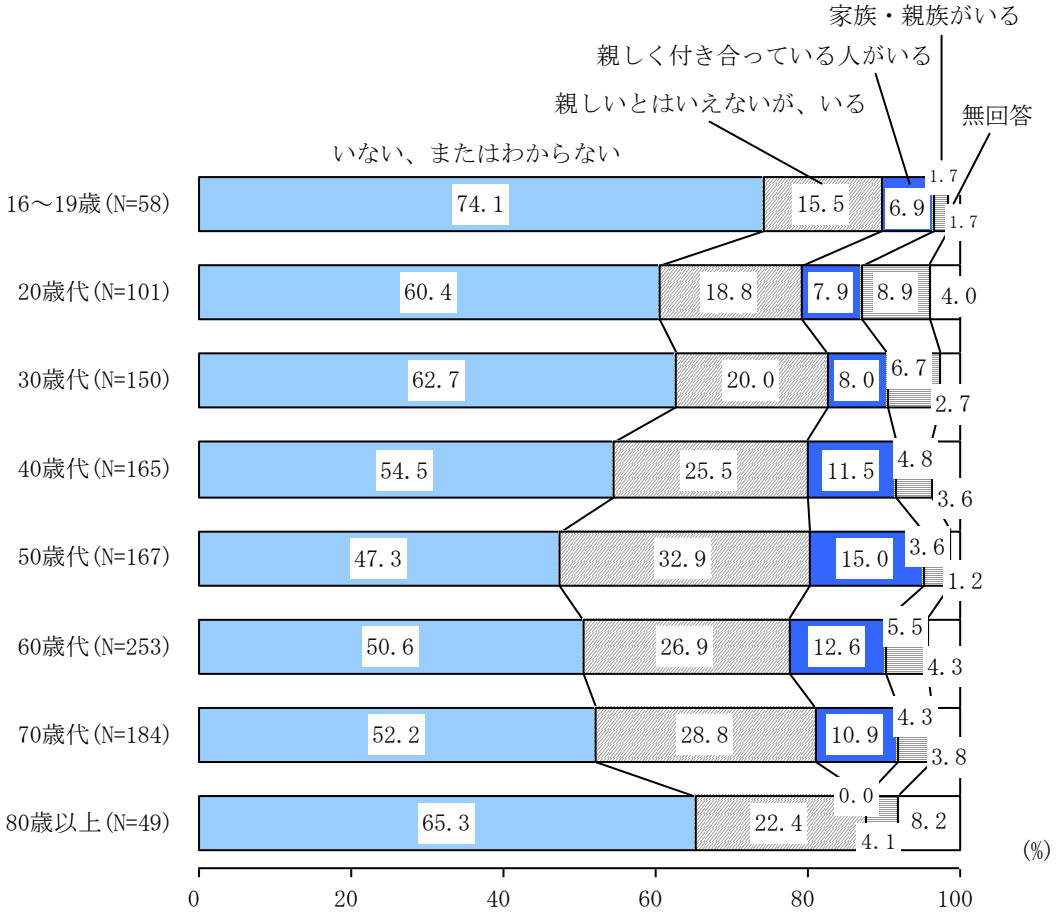
【図表７－７－１　性別　同和地区出身の友人や知人の有無】



＜年代別＞

「親しいとはいえないが、いる」「親しく付き合っている人がいる」「家族・親族がいる」を合わせた割合は、50 歳代が 51.5%で最も高く、40～70 歳代では４割以上を占める。（図表７－７－２）

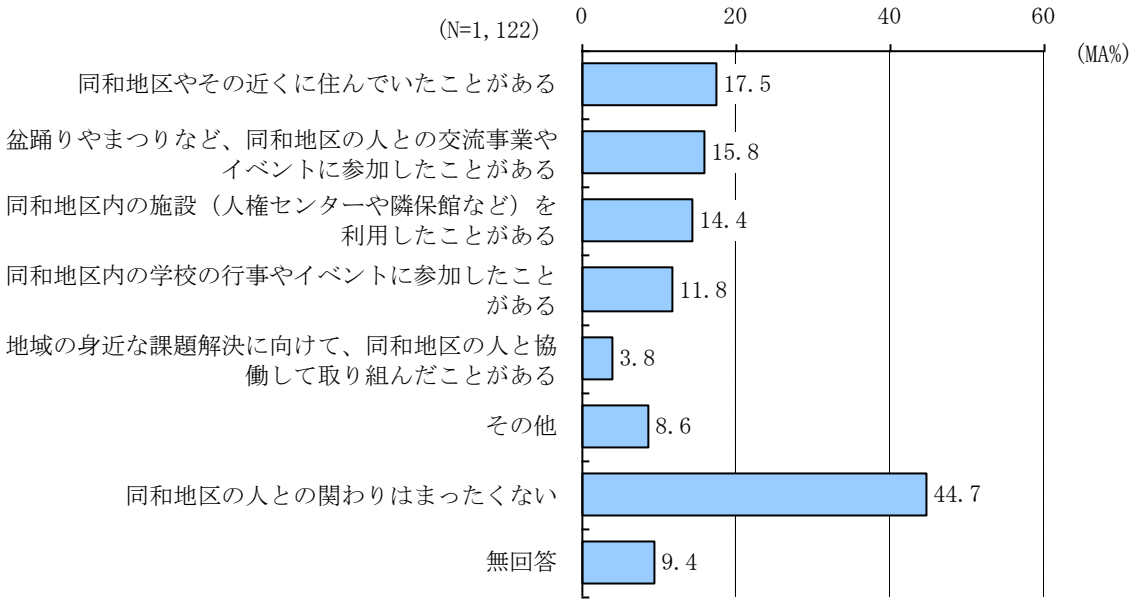
【図表７－７－２　年代別　同和地区出身の友人や知人の有無】



（８）同和地区やその住民との関わり

問 18　あなたは、同和地区とどの程度関わりがありますか。（○はいくつでも）

【図表７－８　同和地区やその住民との関わり】



＜全体＞

「同和地区の人との関わりはまったくない」が全体の 44.7%を占めている。

一方、何らかの関わりがある人は 45.9%で、「同和地区やその近くに住んでいたことがある」が 17.5%で最も高い。以下、「盆踊りやまつりなど、同和地区との交流事業やイベントに参加したことがある」(15.8%)、「同和地区内の施設（人権センターや隣保館など）を利用したことがある」(14.4%）の順で高くなっている。(図表７－８）

＜性別＞

同和地区と何らかの関わりがあると回答した人では、男女とも「同和地区やその近くにすんでいたことがある」の割合が最も高く、男女間の差はほとんどない。(図表７－８－１）

＜年代別＞

「同和地区やその近くに住んでいたことがある」や「同和地区内の施設（人権センターや隣保館など）を利用したことがある」は 40 歳代が２割台で最も高い。「盆踊りやまつりなど、同和地区の人との交流事業やイベントに参加したことがある」は 60 歳代（21.3%）が、「同和地区内の学校の行事やイベントに参加したことがある」は 50 歳代（16.8%）が、それぞれ他の年代と比べ高くなっている。(図表７－８－１）

【図表７－８－１　性別・年代別　同和地区やその住民との関わり】

（上段：人、下段：％）

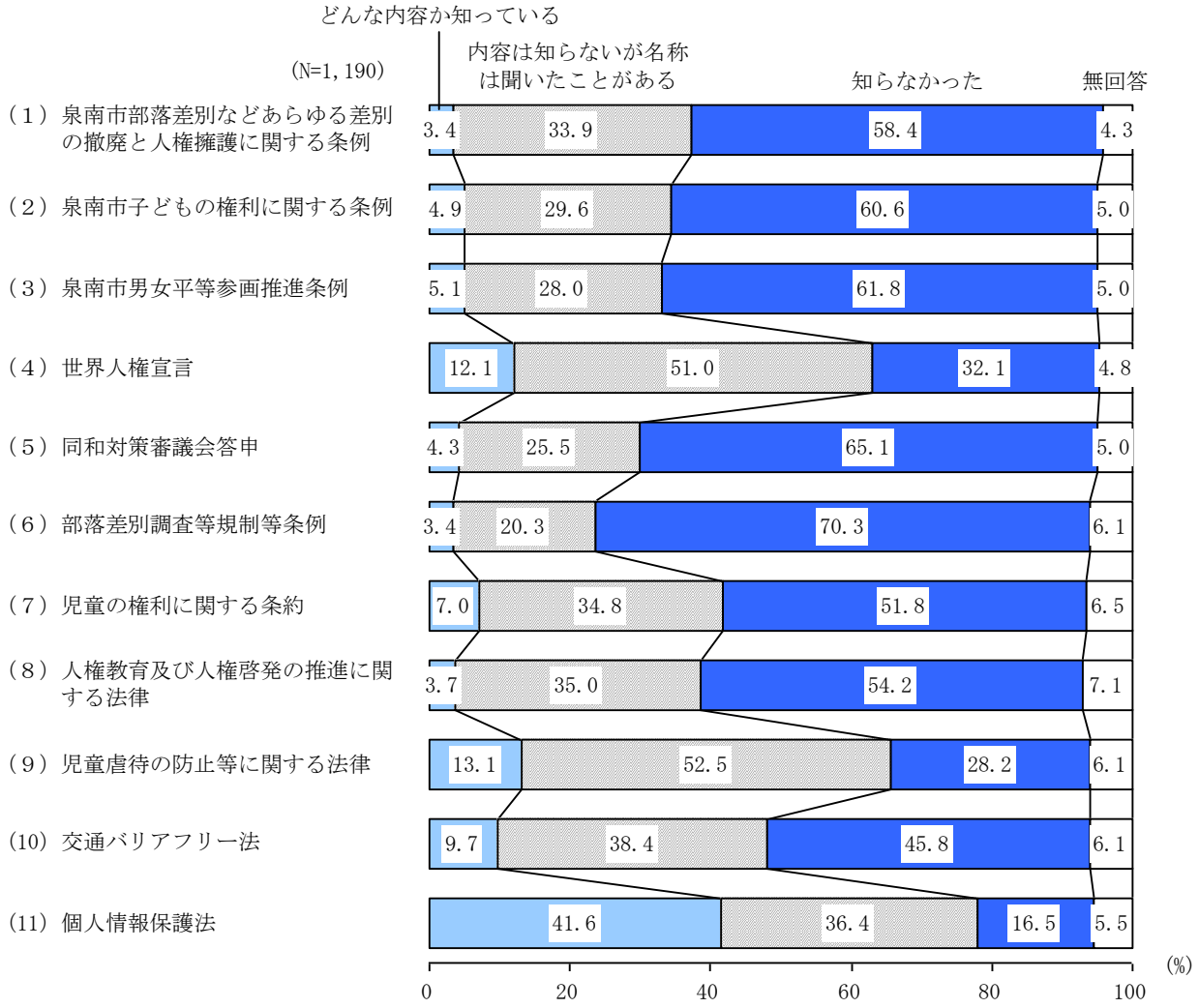
		調査数（N）	同和地区やその近くに住んでいたことがある	同和地区内の施設（人権センターや隣保館など）を利用したことがある	盆踊りやまつりなど、同和地区の人との交流事業やイベントに参加したことがある	同和地区内の学校の行事やイベントに参加したことがある	地域の身近な課題解決に向けて、同和地区の人と協働して取り組んだことがある	その他	同和地区の人との関わりはまったくない	無回答
性別	男性	497	86	75	83	59	24	43	216	38
		100.0	17.3	15.1	16.7	11.9	4.8	8.7	43.5	7.6
	女性	588	105	84	90	71	17	50	270	60
		100.0	17.9	14.3	15.3	12.1	2.9	8.5	45.9	10.2
年代別	16～19歳	58	6	4	4	7	－	7	34	3
		100.0	10.3	6.9	6.9	12.1	－	12.1	58.6	5.2
	20歳代	101	18	9	12	9	3	9	54	6
		100.0	17.8	8.9	11.9	8.9	3.0	8.9	53.5	5.9
	30歳代	150	27	24	27	18	2	10	78	12
		100.0	18.0	16.0	18.0	12.0	1.3	6.7	52.0	8.0
	40歳代	165	42	36	24	18	4	18	57	18
		100.0	25.5	21.8	14.5	10.9	2.4	10.9	34.5	10.9
	50歳代	167	33	28	28	28	7	19	66	7
		100.0	19.8	16.8	16.8	16.8	4.2	11.4	39.5	4.2
	60歳代	253	40	38	54	34	15	20	112	24
		100.0	15.8	15.0	21.3	13.4	5.9	7.9	44.3	9.5
	70歳代	184	28	19	29	19	12	14	70	25
		100.0	15.2	10.3	15.8	10.3	6.5	7.6	38.0	13.6
	80歳以上	49	2	5	2	1	－	3	34	6
		100.0	4.1	10.2	4.1	2.0	－	6.1	69.4	12.2

８．人権に関する言葉や施設など認知状況等について

（１）人権に関する宣言や条例などの認知状況

問 19　あなたは、次の人権に関する宣言や条例などについてどの程度ご存知ですか。（１）～（11）すべてについてお答えください。（それぞれ１つに○）

【図表８－１　人権に関する宣言や条例などの認知度】



＜全体＞

「どんな内容か知っている」割合は、〔(11) 個人情報保護法〕(41.6%) が 11 項目中、最も高くなっている。(図表８－１)

また、「どんな内容か知っている」と「内容は知らないが名称は聞いたことがある」を合わせた認知率では、〔(４) 世界人権宣言〕と〔(９) 児童虐待の防止等に関する法律〕が６割台、〔(10) 交通バリアフリー法〕は約５割を占めている。(図表８－１)

一方、これら以外の項目では「知らなかった」の割合が５割を超えている。(図表８－１)

＜性別＞

〔（１）泉南市部落差別などあらゆる差別の撤廃と人権擁護に関する条例〕、〔（４）世界人権宣言〕、〔（５）同和対策審議会答申〕は、女性に比べて男性の認知率が高くなっている。（図表８－１－１）

＜年代別＞

認知率は、80 歳以上ではいずれの項目も低いが、〔（１）泉南市部落差別などあらゆる差別の撤廃と人権擁護に関する条例〕や〔（５）同和対策審議会答申〕、〔（６）部落差別調査等規制等条例〕は 50 歳以上の高年層で高くなっている。（図表８－１－１）

また、〔（９）児童虐待の防止等に関する法律〕は 30～60 歳代の認知率が７割前後を占め、特に 50 歳代は 79.0％と高くなっている。（図表８－１－１）

【図表８－１－１　性別・年代別　人権に関する宣言や条例などの認知度①】

（上段：人、下段：％）

（１）泉南市部落差別などあらゆる差別の撤廃と人権擁護に関する条例

		調査数（N）	どんな内容か知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らなかった	無回答
性別	男性	529	23	198	296	12
		100.0	4.3	37.4	56.0	2.3
	女性	616	16	191	383	26
		100.0	2.6	31.0	62.2	4.2
年代別	16～19歳	70	1	9	59	1
		100.0	1.4	12.9	84.3	1.4
	20歳代	112	－	16	95	1
		100.0	－	14.3	84.8	0.9
	30歳代	152	1	36	112	3
		100.0	0.7	23.7	73.7	2.0
	40歳代	167	4	37	118	8
		100.0	2.4	22.2	70.7	4.8
	50歳代	171	8	63	96	4
		100.0	4.7	36.8	56.1	2.3
	60歳代	268	14	119	127	8
		100.0	5.2	44.4	47.4	3.0
	70歳代	197	11	97	80	9
		100.0	5.6	49.2	40.6	4.6
	80歳以上	57	1	19	31	6
		100.0	1.8	33.3	54.4	10.5

（２）泉南市子どもの権利に関する条例

		調査数（N）	どんな内容か知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らなかった	無回答
性別	男性	529	21	154	338	16
		100.0	4.0	29.1	63.9	3.0
	女性	616	36	188	362	30
		100.0	5.8	30.5	58.8	4.9
年代別	16～19歳	70	2	20	47	1
		100.0	2.9	28.6	67.1	1.4
	20歳代	112	3	18	90	1
		100.0	2.7	16.1	80.4	0.9
	30歳代	152	12	38	99	3
		100.0	7.9	25.0	65.1	2.0
	40歳代	167	9	50	100	8
		100.0	5.4	29.9	59.9	4.8
	50歳代	171	7	68	92	4
		100.0	4.1	39.8	53.8	2.3
	60歳代	268	18	93	150	7
		100.0	6.7	34.7	56.0	2.6
	70歳代	197	6	61	113	17
		100.0	3.0	31.0	57.4	8.6
	80歳以上	57	2	8	40	7
		100.0	3.5	14.0	70.2	12.3

（３）泉南市男女平等参画推進条例

		調査数（N）	どんな内容か知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らなかった	無回答
性別	男性	529	29	144	340	16
		100.0	5.5	27.2	64.3	3.0
	女性	616	32	179	375	30
		100.0	5.2	29.1	60.9	4.9
年代別	16～19歳	70	5	10	54	1
		100.0	7.1	14.3	77.1	1.4
	20歳代	112	5	20	86	1
		100.0	4.5	17.9	76.8	0.9
	30歳代	152	4	39	105	4
		100.0	2.6	25.7	69.1	2.6
	40歳代	167	8	37	114	8
		100.0	4.8	22.2	68.3	4.8
	50歳代	171	9	61	98	3
		100.0	5.3	35.7	57.3	1.8
	60歳代	268	23	94	144	7
		100.0	8.6	35.1	53.7	2.6
	70歳代	197	10	62	109	16
		100.0	5.1	31.5	55.3	8.1
	80歳以上	57	－	10	39	8
		100.0	－	17.5	68.4	14.0

（４）世界人権宣言

		調査数（N）	どんな内容か知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らなかった	無回答
性別	男性	529	69	290	155	15
		100.0	13.0	54.8	29.3	2.8
	女性	616	71	301	215	29
		100.0	11.5	48.9	34.9	4.7
年代別	16～19歳	70	14	36	19	1
		100.0	20.0	51.4	27.1	1.4
	20歳代	112	18	52	41	1
		100.0	16.1	46.4	36.6	0.9
	30歳代	152	24	76	49	3
		100.0	15.8	50.0	32.2	2.0
	40歳代	167	17	86	56	8
		100.0	10.2	51.5	33.5	4.8
	50歳代	171	25	99	44	3
		100.0	14.6	57.9	25.7	1.8
	60歳代	268	33	151	77	7
		100.0	12.3	56.3	28.7	2.6
	70歳代	197	15	99	67	16
		100.0	7.6	50.3	34.0	8.1
	80歳以上	57	2	20	28	7
		100.0	3.5	35.1	49.1	12.3

（５）同和対策審議会答申

		調査数（N）	どんな内容か知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らなかった	無回答
性別	男性	529	31	159	323	16
		100.0	5.9	30.1	61.1	3.0
	女性	616	19	137	430	30
		100.0	3.1	22.2	69.8	4.9
年代別	16～19歳	70	3	6	60	1
		100.0	4.3	8.6	85.7	1.4
	20歳代	112	1	13	97	1
		100.0	0.9	11.6	86.6	0.9
	30歳代	152	7	26	116	3
		100.0	4.6	17.1	76.3	2.0
	40歳代	167	4	32	123	8
		100.0	2.4	19.2	73.7	4.8
	50歳代	171	10	52	105	4
		100.0	5.8	30.4	61.4	2.3
	60歳代	268	15	97	148	8
		100.0	5.6	36.2	55.2	3.0
	70歳代	197	11	63	107	16
		100.0	5.6	32.0	54.3	8.1
	80歳以上	57	－	12	38	7
		100.0	－	21.1	66.7	12.3

（６）部落差別調査等規制等条例

		調査数（N）	どんな内容か知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らなかった	無回答
性別	男性	529	29	116	370	14
		100.0	5.5	21.9	69.9	2.6
	女性	616	11	124	461	20
		100.0	1.8	20.1	74.8	3.2
年代別	16～19歳	70	1	7	61	1
		100.0	1.4	10.0	87.1	1.4
	20歳代	112	2	9	101	－
		100.0	1.8	8.0	90.2	－
	30歳代	152	5	20	125	2
		100.0	3.3	13.2	82.2	1.3
	40歳代	167	4	31	129	3
		100.0	2.4	18.6	77.2	1.8
	50歳代	171	8	37	125	1
		100.0	4.7	21.6	73.1	0.6
	60歳代	268	10	73	175	10
		100.0	3.7	27.2	65.3	3.7
	70歳代	197	8	59	117	13
		100.0	4.1	29.9	59.4	6.6
	80歳以上	57	3	7	41	6
		100.0	5.3	12.3	71.9	10.5

【図表８－１－１　性別・年代別　人権に関する宣言や条例などの認知度②】

（上段：人、下段：％）

（７）児童の権利に関する条約

		調査数（N）	どんな内容か知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らなかった	無回答
性別	男性	529	32	185	294	18
		100.0	6.0	35.0	55.6	3.4
	女性	616	50	224	321	21
		100.0	8.1	36.4	52.1	3.4
年代別	16～19歳	70	10	25	33	2
		100.0	14.3	35.7	47.1	2.9
	20歳代	112	13	39	60	－
		100.0	11.6	34.8	53.6	－
	30歳代	152	15	50	85	2
		100.0	9.9	32.9	55.9	1.3
	40歳代	167	8	64	92	3
		100.0	4.8	38.3	55.1	1.8
	50歳代	171	14	74	82	1
		100.0	8.2	43.3	48.0	0.6
	60歳代	268	16	107	134	11
		100.0	6.0	39.9	50.0	4.1
	70歳代	197	9	59	112	17
		100.0	4.6	29.9	56.9	8.6
	80歳以上	57	2	9	40	6
		100.0	3.5	15.8	70.2	10.5

（８）人権教育及び人権啓発の推進に関する法律

		調査数（N）	どんな内容か知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らなかった	無回答
性別	男性	529	20	196	295	18
		100.0	3.8	37.1	55.8	3.4
	女性	616	23	218	347	28
		100.0	3.7	35.4	56.3	4.5
年代別	16～19歳	70	3	19	47	1
		100.0	4.3	27.1	67.1	1.4
	20歳代	112	5	22	84	1
		100.0	4.5	19.6	75.0	0.9
	30歳代	152	5	47	95	5
		100.0	3.3	30.9	62.5	3.3
	40歳代	167	6	51	106	4
		100.0	3.6	30.5	63.5	2.4
	50歳代	171	7	78	83	3
		100.0	4.1	45.6	48.5	1.8
	60歳代	268	12	119	128	9
		100.0	4.5	44.4	47.8	3.4
	70歳代	197	7	73	99	18
		100.0	3.6	37.1	50.3	9.1
	80歳以上	57	1	16	33	7
		100.0	1.8	28.1	57.9	12.3

（９）児童虐待の防止等に関する法律

		調査数（N）	どんな内容か知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らなかった	無回答
性別	男性	529	57	285	172	15
		100.0	10.8	53.9	32.5	2.8
	女性	616	98	335	163	20
		100.0	15.9	54.4	26.5	3.2
年代別	16～19歳	70	9	32	28	1
		100.0	12.9	45.7	40.0	1.4
	20歳代	112	18	53	41	－
		100.0	16.1	47.3	36.6	－
	30歳代	152	17	88	44	3
		100.0	11.2	57.9	28.9	2.0
	40歳代	167	25	93	47	2
		100.0	15.0	55.7	28.1	1.2
	50歳代	171	29	106	32	4
		100.0	17.0	62.0	18.7	2.3
	60歳代	268	40	154	66	8
		100.0	14.9	57.5	24.6	3.0
	70歳代	197	17	97	70	13
		100.0	8.6	49.2	35.5	6.6
	80歳以上	57	6	21	24	6
		100.0	10.5	36.8	42.1	10.5

（10）交通バリアフリー法

		調査数（N）	どんな内容か知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らなかった	無回答
性別	男性	529	56	214	245	14
		100.0	10.6	40.5	46.3	2.6
	女性	616	60	239	297	20
		100.0	9.7	38.8	48.2	3.2
年代別	16～19歳	70	20	20	29	1
		100.0	28.6	28.6	41.4	1.4
	20歳代	112	20	40	52	－
		100.0	17.9	35.7	46.4	－
	30歳代	152	9	61	80	2
		100.0	5.9	40.1	52.6	1.3
	40歳代	167	21	74	70	2
		100.0	12.6	44.3	41.9	1.2
	50歳代	171	15	75	80	1
		100.0	8.8	43.9	46.8	0.6
	60歳代	268	29	109	121	9
		100.0	10.8	40.7	45.1	3.4
	70歳代	197	10	79	93	15
		100.0	5.1	40.1	47.2	7.6
	80歳以上	57	4	11	36	6
		100.0	7.0	19.3	63.2	10.5

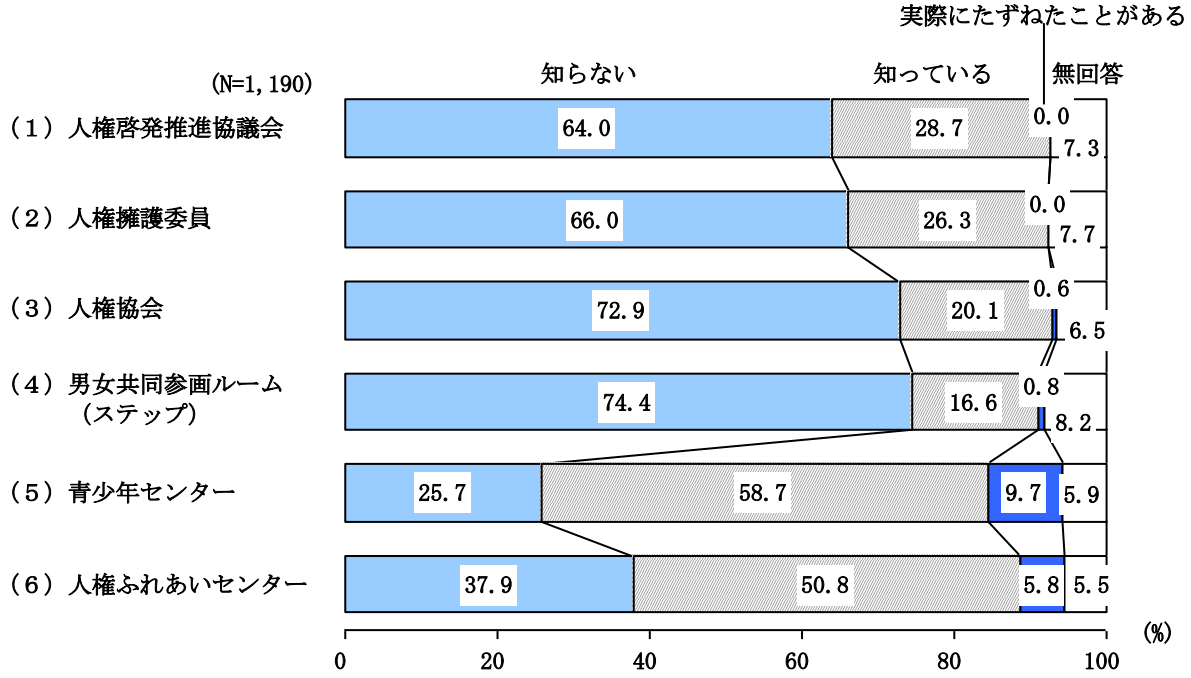
（11）個人情報保護法

		調査数（N）	どんな内容か知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らなかった	無回答
性別	男性	529	221	200	96	12
		100.0	41.8	37.8	18.1	2.3
	女性	616	269	232	99	16
		100.0	43.7	37.7	16.1	2.6
年代別	16～19歳	70	38	20	11	1
		100.0	54.3	28.6	15.7	1.4
	20歳代	112	57	33	22	－
		100.0	50.9	29.5	19.6	－
	30歳代	152	77	49	24	2
		100.0	50.7	32.2	15.8	1.3
	40歳代	167	82	61	22	2
		100.0	49.1	36.5	13.2	1.2
	50歳代	171	83	72	16	－
		100.0	48.5	42.1	9.4	－
	60歳代	268	120	107	35	6
		100.0	44.8	39.9	13.1	2.2
	70歳代	197	50	89	45	13
		100.0	25.4	45.2	22.8	6.6
	80歳以上	57	9	19	23	6
		100.0	15.8	33.3	40.4	10.5

（２）人権について推進している組織や施設の認知状況

問 20　人権について推進している次の組織や施設などをご存知ですか。（１）～（６）すべてについてお答えください。（それぞれ１つに○）

【図表８－２　人権について推進している組織や施設の認知度】



＜全体＞

「知らない」の割合は、〔（４）男女共同参画ルーム（ステップ）〕が 74.4%で最も高く、次いで〔（３）人権協会〕(72.9%)、〔（２）人権擁護委員〕(66.0%)、〔（１）人権啓発推進協議会〕(64.0%) となっている。(図表８－２)

一方、「実際にたずねたことがある」割合は、〔（５）青少年センター〕が 9.7%、〔（６）人権ふれあいセンター〕は 5.8%で、どちらとも「知っている」を合わせた認知率では５割を超えている。(図表８－２)

＜性別＞

「実際にたずねたことがある」割合は、〔（４）男女共同参画ルーム（ステップ）〕や〔（５）青少年センター〕、〔（６）人権ふれあいセンター〕では、男性に比べ女性のほうが高くなっている。(図表８－２－１)

＜年代別＞

認知率は、80 歳以上ではいずれの項目も低いが、〔（１）人権啓発推進協議会〕や〔（２）人権擁護委員〕、〔（３）人権教会〕の各割合は、年代が上がるほど高くなっている。

また、「実際にたずねたことがある」割合は、16～19 歳で〔（５）青少年センター〕が 25.7%と高くなっている。(図表８－２－１)

【図表８－２－１　性別・年代別　人権について推進している組織や施設の認知度】

（上段：人、下段：%）

（1）人権啓発推進協議会

		調査数（N）	知らない	知っている	実際にたずねたことがある	無回答
性別	男性	529	339	172	－	18
		100.0	64.1	32.5	－	3.4
	女性	616	420	166	－	30
		100.0	68.2	26.9	－	4.9
年代別	16～19歳	70	66	2	－	2
		100.0	94.3	2.9	－	2.9
	20歳代	112	102	9	－	1
		100.0	91.1	8.0	－	0.9
	30歳代	152	116	32	－	4
		100.0	76.3	21.1	－	2.6
	40歳代	167	120	42	－	5
		100.0	71.9	25.1	－	3.0
	50歳代	171	107	62	－	2
		100.0	62.6	36.3	－	1.2
	60歳代	268	153	102	－	13
		100.0	57.1	38.1	－	4.9
	70歳代	197	104	75	－	18
		100.0	52.8	38.1	－	9.1
	80歳以上	57	36	15	－	6
		100.0	63.2	26.3	－	10.5

（2）人権擁護委員

		調査数（N）	知らない	知っている	実際にたずねたことがある	無回答
性別	男性	529	336	172	－	21
		100.0	63.5	32.5	－	4.0
	女性	616	445	138	－	33
		100.0	72.2	22.4	－	5.4
年代別	16～19歳	70	66	2	－	2
		100.0	94.3	2.9	－	2.9
	20歳代	112	104	7	－	1
		100.0	92.9	6.3	－	0.9
	30歳代	152	120	27	－	5
		100.0	78.9	17.8	－	3.3
	40歳代	167	130	32	－	5
		100.0	77.8	19.2	－	3.0
	50歳代	171	115	54	－	2
		100.0	67.3	31.6	－	1.2
	60歳代	268	152	103	－	13
		100.0	56.7	38.4	－	4.9
	70歳代	197	105	71	－	21
		100.0	53.3	36.0	－	10.7
	80歳以上	57	34	16	－	7
		100.0	59.6	28.1	－	12.3

（3）人権協会

		調査数（N）	知らない	知っている	実際にたずねたことがある	無回答
性別	男性	529	377	134	4	14
		100.0	71.3	25.3	0.8	2.6
	女性	616	487	102	3	24
		100.0	79.1	16.6	0.5	3.9
年代別	16～19歳	70	63	6	－	1
		100.0	90.0	8.6	－	1.4
	20歳代	112	104	7	－	1
		100.0	92.9	6.3	－	0.9
	30歳代	152	124	24	1	3
		100.0	81.6	15.8	0.7	2.0
	40歳代	167	134	29	1	3
		100.0	80.2	17.4	0.6	1.8
	50歳代	171	134	35	1	1
		100.0	78.4	20.5	0.6	0.6
	60歳代	268	195	65	3	5
		100.0	72.8	24.3	1.1	1.9
	70歳代	197	114	60	1	22
		100.0	57.9	30.5	0.5	11.2
	80歳以上	57	39	13	－	5
		100.0	68.4	22.8	－	8.8

（上段：人、下段：%）

（4）男女共同参画ルーム（ステップ）

		調査数（N）	知らない	知っている	実際にたずねたことがある	無回答
性別	男性	529	411	95	1	22
		100.0	77.7	18.0	0.2	4.2
	女性	616	469	102	8	37
		100.0	76.1	16.6	1.3	6.0
年代別	16～19歳	70	62	6	－	2
		100.0	88.6	8.6	－	2.9
	20歳代	112	97	13	－	2
		100.0	86.6	11.6	－	1.8
	30歳代	152	122	24	2	4
		100.0	80.3	15.8	1.3	2.6
	40歳代	167	132	28	2	5
		100.0	79.0	16.8	1.2	3.0
	50歳代	171	129	33	2	7
		100.0	75.4	19.3	1.2	4.1
	60歳代	268	210	45	2	11
		100.0	78.4	16.8	0.7	4.1
	70歳代	197	128	44	1	24
		100.0	65.0	22.3	0.5	12.2
	80歳以上	57	41	9	－	7
		100.0	71.9	15.8	－	12.3

（5）青少年センター

		調査数（N）	知らない	知っている	実際にたずねたことがある	無回答
性別	男性	529	146	327	45	11
		100.0	27.6	61.8	8.5	2.1
	女性	616	159	365	71	21
		100.0	25.8	59.3	11.5	3.4
年代別	16～19歳	70	10	40	18	2
		100.0	14.3	57.1	25.7	2.9
	20歳代	112	34	59	19	－
		100.0	30.4	52.7	17.0	－
	30歳代	152	34	89	27	2
		100.0	22.4	58.6	17.8	1.3
	40歳代	167	32	107	25	3
		100.0	19.2	64.1	15.0	1.8
	50歳代	171	41	113	17	－
		100.0	24.0	66.1	9.9	－
	60歳代	268	71	180	13	4
		100.0	26.5	67.2	4.9	1.5
	70歳代	197	64	109	6	18
		100.0	32.5	55.3	3.0	9.1
	80歳以上	57	30	18	3	6
		100.0	52.6	31.6	5.3	10.5

（6）人権ふれあいセンター

		調査数（N）	知らない	知っている	実際にたずねたことがある	無回答
性別	男性	529	214	287	18	10
		100.0	40.5	54.3	3.4	1.9
	女性	616	233	315	51	17
		100.0	37.8	51.1	8.3	2.8
年代別	16～19歳	70	36	27	6	1
		100.0	51.4	38.6	8.6	1.4
	20歳代	112	42	63	7	－
		100.0	37.5	56.3	6.3	－
	30歳代	152	65	72	12	3
		100.0	42.8	47.4	7.9	2.0
	40歳代	167	60	89	15	3
		100.0	35.9	53.3	9.0	1.8
	50歳代	171	65	93	13	－
		100.0	38.0	54.4	7.6	－
	60歳代	268	95	159	11	3
		100.0	35.4	59.3	4.1	1.1
	70歳代	197	73	102	7	15
		100.0	37.1	51.8	3.6	7.6
	80歳以上	57	34	17	2	4
		100.0	59.6	29.8	3.5	7.0

９．人権問題や人権教育・啓発に対する意見・要望（自由記述）

問 27　同和問題をはじめとする人権問題や今後の人権教育・啓発について、国や大阪府、泉南市に対して、なにかご意見、ご要望があれば、下記の欄に自由にお書きください。

人権問題について、市に対して意見・要望を自由に記述してもらったところ、回答者総数 1,190 人のうち 307 人（25.8%）から、延べ総数 395 件の意見が寄せられた。

意見内容の要旨は次のとおりである。

意　見　要　旨	件数
市の同和、人権問題等についての取り組み	38
同和地区への優遇、保護を見直す	36
市政への要望	28
逆差別を感じる	24
差別を無くす	23
人はみな平等に対応するべき、不公平をなくしてほしい	19
同和、人権問題を問題にする事がおかしい、あるいは余計問題を大きくしている	14
同和問題や差別を知らない、あるいは興味が無い	14
問題にしない方が知らなくてすむ、知らない子供達に教えない方が良い	14
学校、職場、家庭などで人権教育を充実させる	13
差別、同和と意識しすぎ、言い過ぎ	12
生活保護について	11
いじめ、虐待について	9
差別されるのは差別される側にも問題がある	7
高齢者や大人の意識改革が必要	4
同和問題のマスメディアでの取り上げられ方	4
人権問題、差別はなくならないと思う	3
その他　人権問題や啓発について	32
その他　同和問題や同和地区について	31
人権問題以外の行政について	18
アンケートについて	29
その他	12
計	395